

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日

九州運輸局

評価対象事業名：陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
糸島市地域公共交通会議	昭和自動車株式会社	コミュニティバスの運行(白系線)	交通計画策定に伴う市民アンケートの結果等を活用し、バス路線を維持していくため、沿線住民への情報提供や利用啓発、ダイヤなどの見直しを必要に応じて実施する。	B	B	令和4年10月のダイヤ改正において、路線の見直しを実施。交通計画策定に伴う市民アンケートの結果等を活用し、沿線住民への情報提供や利用啓発、ダイヤなどの見直し、適宜必要に応じて実施することにより、収支の改善を図る。	評価の指標は、路線別の収支率。公共交通マップのHPでの更新情報の提供や、市民アンケートの実施、路線の見直しなど、路線の維持にかかる様々な取り組みが行われていることを評価します。 一部目標を達成できていない系統もありますが、全体的に回復傾向にあります。令和4年に策定された地域公共交通計画の施策を着実に実施していただくとともに、更なる利用促進の取組を実施されることで、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。	
		コミュニティバスの運行(雷山線)	同路線は、曾根線[有田経由]が一部重複したバス路線を形成しているため、曾根線におけるオンデマンドバスの利用状況を踏まえながら、日中のオンデマンド化も含めダイヤや路線などの見直すことにより、利便性の向上につなげる。	A	A	曾根線等におけるオンデマンドバスの利用状況を踏まえながら日中のオンデマンド化と、運動公園へのアクセス確保を含めダイヤや路線などの見直すことにより、利便性の向上につなげ、収支の改善を図る。		
		コミュニティバスの運行(曾根線波多江経由)	同路線は、井原山線が一部重複したバス路線を形成し、利便性向上を図るために、曾根線の平日日中の運行をオンデマンドバスの本格運行を実施。利用状況を踏まえながら、問題点の改善を図り、更なる利便性の向上につなげる。	A	A	令和4年10月のダイヤ改正において、オンデマンドバスの運行時間を拡大し、同路線との空白時間を縮小した。オンデマンドバス運行時間帯以外の運行については、利用状況を踏まえながら、問題点の改善(ダイヤ改正等)を図り、更なる利便性の向上と収支の改善を図る。		
		コミュニティバスの運行(曾根線有田経由)	同路線は、雷山線が一部重複したバス路線を形成し、利便性向上を図るために、曾根線の平日日中の運行をオンデマンドバスの本格運行を実施。利用状況を踏まえながら、問題点の改善を図り、更なる利便性の向上につなげる。	A	B	令和4年10月のダイヤ改正において、オンデマンドバスの運行時間を拡大し、同路線との空白時間を縮小した。オンデマンドバス運行時間帯以外の運行については、利用状況を踏まえながらダイヤ改正等により、更なる利便性の向上と収支の改善を図る。		
		コミュニティバスの運行(井原山線)	同路線は、曾根線[波多江経由]が一部重複したバス路線を形成しているため、曾根線におけるオンデマンドバスの利用状況を踏まえながら、日中のオンデマンド化も含めダイヤや路線などの見直すことにより、利便性の向上につなげる。	A	A	令和4年10月のダイヤ改正において、同路線の平日日中の運行をオンデマンド化した。オンデマンドバスは、自治会等と協力して、会員登録と利用を促進し、オンデマンドバス運行時間帯以外の運行については、利用状況を踏まえながらダイヤ改正等により、更なる利便性の向上と収支の改善を図る。		
		コミュニティバスの運行(川原線)	交通計画策定に伴う市民アンケートの結果等を活用し、バス路線を維持していくため、沿線住民への情報提供や利用啓発、ダイヤなどの見直しを必要に応じて実施する。	B	B	令和4年10月のダイヤ改正において、路線の見直しを実施した。交通計画策定に伴う市民アンケートの結果等を活用し、沿線住民への情報提供や利用啓発と共に、ダイヤなどの見直しを適宜必要に応じて実施することにより、収支の改善を図る。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日

九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
糸島市地域公共交通会議	昭和自動車株式会社	コミュニティバスの運行(前原北原線)	沿線住民への情報提供や利用啓発を行う。また、路線短縮に伴う利用状況を検証し、ダイヤの見直しなどを検討する。	B	A	令和4年10月のダイヤ改正において、路線の見直しを実施した。交通計画策定に伴う市民アンケートの結果等を活用し、沿線住民への情報提供や利用啓発と共に、ダイヤなどの見直しを適宜必要に応じて実施することにより、収支の改善を図る。		
		コミュニティバスの運行 (九大線泊・油比経由) ※車両減価償却費等国庫補助あり	公共交通マップ等情報提供による啓発等を事業として利便性利用率向上を目指し、国際村構想の進捗等を踏まえ、便数や路線の検討を行い、収支改善を目指す。	B	A	新型コロナウイルスによる影響からの利用者の回復状況を踏まえ、運行車両の最大値を上げる。また、引き続き九大関係者や国際村構想の状況を踏まえながら、便数や路線の検討を行い、収支改善を目指す。		
		コミュニティバスの運行 (初深江線)	公共交通マップ等情報提供による啓発等を事業として利便性利用率向上を目指した。	B	A	交通計画策定に伴う市民アンケートの結果等を活用し、沿線住民への情報提供や利用啓発、ダイヤなどの見直しを、適宜必要に応じて実施することにより、収支の改善を図る。		
		コミュニティバスの運行(市街地循環線)	交通計画策定に伴う市民アンケートの結果等を活用し、オンデマンドバス活用の可能性等を検討するとともに、沿線住民への情報提供や利用啓発、ダイヤなどの見直しを必要に応じて実施する	B	C	利便性及び収支率の向上を図るために、令和4年10月からオンデマンド化に移した。 (定時定路線を廃止)		
		オンデマンドバスの運行 (チョイソコよかまちみらい号)	コミュニティバス(曾根線)の平日日中の運行をオンデマンドバスの本格運行を実施。利用状況を踏まえながら、問題点の改善を図り、更なる利便性の向上につなげる。	A	C	令和4年10月のダイヤ改正において、運行エリアを拡大。利用者の声を踏まえながら課題等を改善するとともに、拡大エリアを中心に、自治会等と協力して、会員登録と利用を確保する。また、乗合率を高めることにより、効率的な運行につなげ、収支の改善を図る。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名: 路上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
朝倉市地域公共交通活性化協議会 (交通会議)	ひまわりタクシー(4条) →あいのりタクシー黒川線	○運行区間 黒川地区～久喜宮・志波地区経由～杷木地区	利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動を行った。	A	C	路線毎に沿線コミュニティ組織と運行事業者、市(行政)の三者が一体となって利用者推移を注視しながら、目標値達成のために、朝倉市地域公共交通網形成計画の施策でもある以下の取組(事業改善)を推進する。 ・コミュニティバス運行に関する認知度の向上及び住民意識の醸成。(出前講座等) ・多様な媒体を活用した広報活動(HP、市報等) ・災害の復旧状況を見極めながら、コースの再編	評価の指標は、路線毎の利用者数。昨年度と同様、沿線コミュニティへの定期的な利用状況報告や広報活動等利用促進に取り組みされていることを評価します。目標を達成した系統がある一方で、目標に大きく届かなかった系統もあります。その原因とされている定期券利用者の利用回数の減少について、さらに詳しく分析されることをご検討いただくとともに、その他に原因がないかどうかについても、改めて分析することをご検討ください。また、次年度からは、目標を達成できた系統についても、その要因について分析し、評価書に記載していただくようお願いいたします。豪雨災害からの復興途中という状況ですが、協議会が今後の改善点として挙げられている取組が着実に実施され、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。	
	ひまわりタクシー(4条) →あいのりタクシー杷木東部線	○運行区間 松末地区～杷木地域中心部、杷木地区内	利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動を行った。	A	A	・運行サービス水準の統一基準に基づき、運行便数等の見直し(便数、時間帯、運行日等)		
	市(78条) →あいのりスクールバス高木地域(佐田コース)	○運行区間 佐田地区～矢野竹経由～十文字	利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動を行った。	A	A	・利用促進及び運行内容の改善に関する三者協議(地域、運行事業者、市)の場を必要に応じ設ける。		
	市(78条) →あいのりスクールバス高木地域(黒川コース)	○運行区間 黒川地区～矢野竹経由～十文字	利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動を行った。	A	A			
	甘木観光バス(4条) →あいのりタクシー馬田線	○運行区間 馬田地区～甘木市街地	利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動を行った。	A	B			
	甘木観光バス(4条) →あいのりタクシー福城線	○運行区間 蟻城地区～福田地区～甘木市街地	利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動を行った。	A	B			

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	
朝倉市地域公共交通活性化協議会 (交通会議)	甘木観光バス(4条) →あいのりタクシー-矢野竹線	○運行区間 矢野竹～十文字～甘木市街地	利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動を行った。	A	B		
	甘木観光バス(4条) →あいのりタクシー-美奈宜の社線	○運行区間 矢野竹～美奈宜の社地区～甘木市街地	利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動を行った。	A	B		
	矢野タクシー(4条) →あいのりタクシー-長瀬線	○運行区間 大福地区～金川地区～甘木市街地	利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動を行った。	A	B		
	矢野タクシー(4条) →あいのりタクシー-上秋月・安川線	○運行区間 上秋月地区～安川地区～甘木市街地	利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動を行った。	A	B		
	矢野タクシー(4条) →朝倉地域コミュニティバス	○運行区間 朝倉・宮野・大庭・福成地区～朝倉地域中心部	利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動を行った。	A	A		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日

九州運輸局

評価対象事業名: 地上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フリーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
大牟田市地域公共交通活性化協議会	西鉄バス大牟田(株)	米の山・黒崎団地線(18番系統) 西鉄大牟田営業所～大牟田駅前～黒崎団地前	交通計画策定に伴い実施した市民アンケートや座談会、交通事業者等ヒアリングの結果等を踏まえ、コロナ禍前より全年齢的な外出率の低下や人口減少と合わせて利用対象者が減っていることが分かった。このことから、外出機会の創出や公共交通に乗る楽しみを感じてもらうための事業を以下のとおり実施した。 ・路線バスを含む公共交通デジタルスタンプラリーを実施した。 ・バスを身近に感じてもらう取組の一環として、小学校の低学年を対象にしたバスの乗り方教室を実施した。 ・石炭産業科学館でバス運転手体験会とバス乗車体験を実施した。 ・イオンにて荒尾市と合同で利用促進チラシ等の配布を行った。 ・おおむた大蛇山まつり100円バスを実施した。 ・クリスマス限定バス写真撮影会を実施した。	A	C	利用者ニーズの把握を行い、自家用車利用から公共交通への転換を図るような施策(広報、PR活動)の検討・実施など、効果的な取組みを実施し利用者増を目指したい。	評価の指標は、系統別の利用者数。公共交通計画策定に伴い実施した調査結果を踏まえ、外出機会の創出や公共交通に乗る楽しみを感じてもらうための各種取組を実施されたことを評価します。 全体的に目標を下回る結果となっていますが、その要因が新型コロナウイルス感染症の影響以外にないかどうかについても分析をお願いします。 引き続き、利便性向上や利用促進に取り組んでいただくとともに、地域公共交通計画の施策を着実に実施していただくことにより、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。	
		米の山・黒崎団地線(18番系統) 大牟田駅前～新栄町～黒崎団地前		A	C			
		米の山・黒崎団地線(18番系統) 新栄町～手鎌～黒崎団地前		A	C			
		米の山・黒崎団地線(10番系統) 西鉄大牟田営業所～市立病院～普光寺	A	C				
		米の山・黒崎団地線(10番系統) 西鉄大牟田営業所～大牟田駅～米の山	A	C				
		米の山・黒崎団地線(10番系統) 大牟田駅～普光寺	A	C				
		米の山・黒崎団地線(10番系統) 大牟田駅～米の山	A	C				
		米の山・黒崎団地線(10番系統) 西鉄大牟田営業所～大牟田駅～普光寺	A	C				

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名: 地上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フリーダイヤル系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
大牟田市地域公共交通活性化協議会	西鉄バス大牟田(株)	上官線(16番系統) ゆめタウン大牟田～笹林～倉掛	交通計画策定に伴い実施した市民アンケートや座談会、交通事業者等ヒアリングの結果等を踏まえ、コロナ禍前より全年齢的な外出率の低下や人口減少と合わせて利用対象者が減っていることが分かった。このことから、外出機会の創出や公共交通に乗る楽しみを感じてもらうための事業を以下のとおり実施した。 ・路線バスを含む公共交通デジタルスタンプラリーを実施した。 ・バスを身近に感じてもらう取組の一環として、小学校の低学年を対象にしたバスの乗り方教室を実施した。 ・石炭産業科学館でバス運転手体験会とバス乗車体験を実施した。 ・イオンにて荒尾市と合同で利用促進チラシ等の配布を行った。 ・おおむた大蛇山まつり100円バスを実施した。 ・クリスマス限定バス写真撮影会を実施した。	A	C			
大牟田市地域公共交通活性化協議会	西鉄バス大牟田(株)	上官線(16番系統) ゆめタウン大牟田～笹林～万田坑	交通計画策定に伴い実施した市民アンケートや座談会、交通事業者等ヒアリングの結果等を踏まえ、コロナ禍前より全年齢的な外出率の低下や人口減少と合わせて利用対象者が減っていることが分かった。このことから、外出機会の創出や公共交通に乗る楽しみを感じてもらうための事業を以下のとおり実施した。 ・路線バスを含む公共交通デジタルスタンプラリーを実施した。 ・バスを身近に感じてもらう取組の一環として、小学校の低学年を対象にしたバスの乗り方教室を実施した。 ・石炭産業科学館でバス運転手体験会とバス乗車体験を実施した。 ・イオンにて荒尾市と合同で利用促進チラシ等の配布を行った。 ・おおむた大蛇山まつり100円バスを実施した。 ・クリスマス限定バス写真撮影会を実施した。	A	C			
		上官線(16番系統) 大牟田駅～笹林～倉掛	交通計画策定に伴い実施した市民アンケートや座談会、交通事業者等ヒアリングの結果等を踏まえ、コロナ禍前より全年齢的な外出率の低下や人口減少と合わせて利用対象者が減っていることが分かった。このことから、外出機会の創出や公共交通に乗る楽しみを感じてもらうための事業を以下のとおり実施した。 ・路線バスを含む公共交通デジタルスタンプラリーを実施した。 ・バスを身近に感じてもらう取組の一環として、小学校の低学年を対象にしたバスの乗り方教室を実施した。 ・石炭産業科学館でバス運転手体験会とバス乗車体験を実施した。 ・イオンにて荒尾市と合同で利用促進チラシ等の配布を行った。 ・おおむた大蛇山まつり100円バスを実施した。 ・クリスマス限定バス写真撮影会を実施した。	A	C			
		大牟田市内線(1番系統) 西鉄大牟田営業所～大牟田駅～三池中町	交通計画策定に伴い実施した市民アンケートや座談会、交通事業者等ヒアリングの結果等を踏まえ、コロナ禍前より全年齢的な外出率の低下や人口減少と合わせて利用対象者が減っていることが分かった。このことから、外出機会の創出や公共交通に乗る楽しみを感じてもらうための事業を以下のとおり実施した。 ・路線バスを含む公共交通デジタルスタンプラリーを実施した。 ・バスを身近に感じてもらう取組の一環として、小学校の低学年を対象にしたバスの乗り方教室を実施した。 ・石炭産業科学館でバス運転手体験会とバス乗車体験を実施した。 ・イオンにて荒尾市と合同で利用促進チラシ等の配布を行った。 ・おおむた大蛇山まつり100円バスを実施した。 ・クリスマス限定バス写真撮影会を実施した。	A	C			
		大牟田市内線(1番系統) 西鉄大牟田営業所～大牟田駅～久福木団地	交通計画策定に伴い実施した市民アンケートや座談会、交通事業者等ヒアリングの結果等を踏まえ、コロナ禍前より全年齢的な外出率の低下や人口減少と合わせて利用対象者が減っていることが分かった。このことから、外出機会の創出や公共交通に乗る楽しみを感じてもらうための事業を以下のとおり実施した。 ・路線バスを含む公共交通デジタルスタンプラリーを実施した。 ・バスを身近に感じてもらう取組の一環として、小学校の低学年を対象にしたバスの乗り方教室を実施した。 ・石炭産業科学館でバス運転手体験会とバス乗車体験を実施した。 ・イオンにて荒尾市と合同で利用促進チラシ等の配布を行った。 ・おおむた大蛇山まつり100円バスを実施した。 ・クリスマス限定バス写真撮影会を実施した。	A	C			

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日

九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考	
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点		評価結果
柳川市地域公共交通協議会	柳川市	大和ひがし地域の運行	・行政区へのチラシ配布を行い、利用促進を図った。 ・随時アルコール消毒・換気、マスク着用の徹底等の 感染防止対策を継続し、安心して利用いただける環境 づくりに努めた。	A	B	新型コロナウイルスの影響により利用者が令和2年度から大幅に減少し、その影響が令和3年度、令和4年度にも継続した。新たに策定する地域公共交通計画に基づき、利用者の利便性向上や利用促進、移動需要の創出を行い、利用者の増加を図る。特に、市街循環線については想定より利用者が少ないが、徐々に利用者は増えている状況である。そのため、今後も継続して周知を図り、利用者の増加を図る。 また、随時アルコール消毒・換気、マスク着用の徹底等の感染防止対策を継続し、安心して乗ってもらえる環境づくりに努める。	評価の指標は、1便当たりの利用者数。チラシ配布による利用促進や、新型コロナウイルス感染症対策を実施することによる安心して利用できる環境づくりを実施されたことを評価します。目標を達成できた系統と達成できていない系統がありますが、それぞれの要因について詳しく分析し、改善の取組につなげてください。分析された要因については、評価書に記載するようお願いいたします。 協議会が今後の改善点として挙げている取組や、地域公共交通計画の施策が着実に実施されることにより、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。	
		大和みなみ地域の運行	・行政区へのチラシ配布を行い、利用促進を図った。 ・随時アルコール消毒・換気、マスク着用の徹底等の 感染防止対策を継続し、安心して利用いただける環境 づくりに努めた。	A	B			
		大和にし地域の運行	・行政区へのチラシ配布を行い、利用促進を図った。 ・随時アルコール消毒・換気、マスク着用の徹底等の 感染防止対策を継続し、安心して利用いただける環境 づくりに努めた。	A	A			
		三橋地域の運行	・行政区へのチラシ配布を行い、利用促進を図った。 ・随時アルコール消毒・換気、マスク着用の徹底等の 感染防止対策を継続し、安心して利用いただける環境 づくりに努めた。	A	B			
		市街地の運行	・行政区へのチラシ配布を行い、利用促進を図った。 ・随時アルコール消毒・換気、マスク着用の徹底等の 感染防止対策を継続し、安心して利用いただける環境 づくりに努めた。	A	C			

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日

九州運輸局

評価対象事業名: 路上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
久山町地域公共交通活性化協議会	新宮タクシー(株)	<p><久原先行便> レスポアル～上久原～東久原～役場～下久原～レスポアル～上山田南～古賀橋トリアス前～下山田～大谷～草場～猪野～上山田南～レスポアルの運行</p> <p><猪野経由便> トリアス久山～下山田～猪野～山の神～久原療育園前～久山温泉前～大浦～篠栗駅前前の運行</p>	<p><取組み内容> ・計画どおりの運行を実施し、路線の維持・存続を図るとともに利用者のニーズにあわせてイコバスの系統別の運行本数の変更等を行い、利便性向上を行った(令和4年3月～)。 ・イコバス及び西鉄バス、JR九州バス、JR九州の、総合的な公共交通マップの改訂版を作成するとともに、乗継ぎ情報等も掲載し、公共交通の利用促進に努めた。</p> <p><変更した主な事業概要と検討手順> ・猪野方面の運行間隔が空いている時間帯を中心に、直行便を猪野複乗便に振り替え ・西鉄バスとイコバスの接続改善のため、町内巡回のダイヤを一部変更<地域住民の意見反映> ・町役場への意見を随時受付。そのうち変更対応可能なものについて検討し、上記の通り実施。</p>	A	B	<p>・イコバス幹線系統と町内巡回の異なる利用ニーズへの対応を図るために、幹線系統のダイヤ調整や、町内巡回の再編が求められる。 ・イコバス及び西鉄バス、JR九州バス、JR九州(鉄道)を一体的に捉え、町内外交通体系の整備を継続的に行うことが求められる。</p>	<p>評価の指標は、利用者数と利用者満足度。利用者ニーズに合わせた運行便数の変更・ダイヤの変更による利便性の向上や、総合的な公共交通マップの改定による利用促進の取組を実施されたことを評価します。 引き続き、目標の達成状況に関する要因を分析し、改善の取組につなげていただくとともに、地域公共交通計画の施策が着実に実施されることにより、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日

九州運輸局

評価対象事業名: 路上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
鞍手町地域公共交通会議	MGタクシー株式会社	長谷線 (神田公民館～鞍手駅)	利用促進を図るために町内の公共施設、病院、銀行等にバスガイドの配布などを行った。 バス利用促進の啓発グッズを庁舎内に配置した。	A	A	もやいタクシーにおいては、町内の交通空白地域における重要な公共交通であるため、町内の主要な施設や広域交通の接続拠点へのアクセス性の向上などの利便性の向上を図っていく必要がある。	評価の指標は、系統毎の利用者数。 バスガイドの配布や、啓発グッズの庁舎内配置などの利用促進に取り組まれていること、目標の達成状況についてその要因をしっかりと分析されていることを評価します。 引き続き、目標の達成状況に関する要因を分析し、改善の取組につなげていただくとともに、利便性の向上や利用促進の取組により、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。	
		古月線 (古門栄町～くらじの郷)	利用促進を図るために町内の公共施設、病院、銀行等にバスガイドの配布などを行った。 バス利用促進の啓発グッズを庁舎内に配置した。	A	B	もやいタクシーにおいては、町内の交通空白地域における重要な公共交通であるため、町内の主要な施設や広域交通の接続拠点へのアクセス性の向上などの利便性の向上を図っていく必要がある。		
		泉水線 (永谷公民館～鞍手駅)	利用促進を図るために町内の公共施設、病院、銀行等にバスガイドの配布などを行った。 バス利用促進の啓発グッズを庁舎内に配置した。	A	A	もやいタクシーにおいては、町内の交通空白地域における重要な公共交通であるため、町内の主要な施設や広域交通の接続拠点へのアクセス性の向上などの利便性の向上を図っていく必要がある。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名: 路上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
那珂川市地域公共交通活性化 協議会	西鉄バス二日市(株)	かわせみ南畑線 ※【令和2年3月】 ノンステップバス (ボンチョ) 運行開始	利用者からの要望・意見を考慮しつつ、かわせみバスとJR博多南線が接続しやすいダイヤを目標とし、令和4年3月12日のJR博多南線ダイヤ改正に合わせて、同日にかわせみバスダイヤを改正した。 また利用促進を図るために、「バスの日(9/20)」に合わせて「バスの日記念イベント」を実施するために、運行事業者等と共同で企画・準備等を行った。 ※「バスの日記念イベント」自体は、悪天候のため開催中止	A	C	JR博多南線のダイヤ改正に合わせてかわせみバスのダイヤ改正を実施することで接続を確保したことにより、南畑線・通勤かわせみ共に昨年度から利用者が増加しており、特に南畑線においては前年度比133%と大きく回復することができた。しかし、コロナ禍前の水準まで回復するには至っておらず、通勤かわせみの利用者数、及び南畑線において目標を達成することができなかった。 今後は、JR博多南線への接続を第一に考えダイヤを見直すことで利用者数の増加を図っていくに加え、利用状況に応じた経路や便数の見直し等も視野に入れることで、運行の効率化についても検討していく必要がある。また「バスの日」記念イベントの実施など情報発信の場を設けることで、さらなる利用促進を図っていく。	評価の指標は、系統毎の採算性及び利用者数。利用者の要望・意見を考慮したダイヤ改正や、利用促進イベントの実施に向けた関係者との取組を実施されたことを評価します。 目標を達成できていない要因について詳しく分析し、改善の取組につなげてください。分析された要因については、評価書に記載するようお願いいたします。 協議会が今後の改善点として挙げた取組や地域公共交通計画の施策が着実に実施されることにより、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。	
		通勤かわせみ ※【令和2年3月】 ノンステップバス (ボンチョ) 一部路線で運行開始		A	B			

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日

九州運輸局

評価対象事業名: 路上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
飯塚市地域公共交通協議会	(有)Shona観光 飯塚東地区	飯塚東地区内及び越智外科胃腸科医院・ハローデイ柏の森店・上の谷バス停・飯塚記念病院入口への運行	利用ガイドの全戸配布・市報による利用促進の呼びかけ等の広報活動を行うことで、住民に対する周知については一定の効果が出ている。 利用者を含めた住民からの要望等については、電話や窓口での聞き取りやまちづくり協議会、自治会長会等の各種団体からの意見を反映し、運行改善を行っている。	A	B	コミュニティ交通全体(予約乗合タクシー、コミュニティバス)の利用者数合計の目標87,600人に対して実績は77,826人で、達成率は88.8%であった。 ※令和4年4月にコミュニティバスを4路線から1路線へ再編したため(目標は4路線での数値) 予約乗合タクシーのみでは、利用者数の目標46,900人に対して実績は44,309人で、達成率94.5%であった。 ※昨年度の実績43,489人からは約2%程増加したものの、新型コロナウイルス感染症の影響下からの回復が見込みより少なかったことが考えられる。	評価の指標は、利用者数。 利用ガイドの全戸配布・市報による利用促進の取組や、利用者意見を反映した運行改善を実施されたことを評価します。 目標が未達成ですが、その要因について詳しく分析していただき、改善の取組につなげてください。 分析された要因については、評価書に記載するようお願いいたします。 協議会が今後の改善点として挙げている取組や、地域公共交通計画の施策が着実に実施されることにより、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。	
	(有)Shona観光 庄内地区	庄内地区内及び筑豊緑地・トライアル上三緒店への運行						
	(有)Shona観光 鎮西地区 (八木山地区以外)	鎮西地区(八木山地区以外)内及び飯塚市立病院・せき損センター・ミスターマックス花瀬店への運行						
	(有)Shona観光 筑穂地区	筑穂地区内及び済生会病院・青山医院・JR桂川駅への運行						
	穂波タクシー(株) 穂波地区	穂波地区内及びJR筑前大分駅への運行						
	安全タクシー(有) 頼田・鯉田地区	頼田・鯉田地区内及び筑豊緑地への運行						
	総合交通(株) 鎮西地区 (主に八木山地区)	鎮西地区(主に八木山地区)内及び飯塚市立病院・せき損センター・ミスターマックス飯塚花瀬店への運行						
	総合交通(株) 二瀬地区	二瀬地区内及びせき損センター・イオン穂波店への運行						
(有)幸袋タクシー 幸袋地区	幸袋地区内及びJR鯉田駅・川倉鯉田店・ハローデイ九工大前店・頼田病院への運行							

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日

九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
川崎町地域公共交通会議	川崎町	安宅コースの運行	車内の換気や乗降口にアルコール消毒液を設置するなど感染症対策を徹底。停留所看板の更新や新規車両の導入により利便性を向上させた。	A	B	引き続き感染症対策を徹底し、広報誌等を用いた周知活動を行い利用者の増加を計る。また、地域公共交通計画等の作成に併せ住民のニーズを調査し商業施設への接続など、利便性向上に努める。	評価の指標は、系統毎の利用者数。感染症対策の実施による安心して乗車できる架橋づくりや、利便性の向上の取組を実施されたことを評価します。 目標を達成できた系統と未達成の系統がありますが、それぞれの要因について詳しく分析し、改善の取組につなげてください。分析された要因については、評価書に記載するようお願いいたします。 協議会が今後の改善点に挙げた取組が着実に実施されることにより、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。	
		木城・荒平コースの運行	車内の換気や乗降口にアルコール消毒液を設置するなど感染症対策を徹底。停留所看板の更新や新規車両の導入により利便性を向上させた。	A	B	引き続き感染症対策を徹底し、広報誌等を用いた周知活動を行い利用者の増加を計る。また、地域公共交通計画等の作成に併せ住民のニーズを調査し商業施設への接続など、利便性向上に努める。		
		上真崎・永井コースの運行	車内の換気や乗降口にアルコール消毒液を設置するなど感染症対策を徹底。停留所看板の更新や新規車両の導入により利便性を向上させた。	A	A	引き続き感染症対策を徹底し、広報誌等を用いた周知活動を行い利用者の増加を計る。また、利用者の大半を通学で利用する学生が占めていることから、その他の利用を促進するため、地域公共交通計画等の作成に併せ時刻表の変更や新規停留所設置等を検討する。		
		池尻・田原コースの運行	車内の換気や乗降口にアルコール消毒液を設置するなど感染症対策を徹底。停留所看板の更新や新規車両の導入により利便性を向上させた。	A	A	引き続き感染症対策を徹底し、広報誌等を用いた周知活動を行い利用者の増加を計る。また、池尻地区は商業施設等が多く存在するため、地域公共交通計画等の作成に併せ各コースからの接続を充実させ利便性の向上及び利用者の増加を図る。		
		三井・大峰コースの運行	車内の換気や乗降口にアルコール消毒液を設置するなど感染症対策を徹底。停留所看板の更新や新規車両の導入により利便性を向上させた。	A	C	引き続き感染症対策を徹底し、広報誌等を用いた周知活動を行い利用者の増加を計る。また、本コースは町営団地等の集合住宅地を経由するため、地域公共交通計画等の作成に併せ、買い物等の利用を促進するため、商業施設への接続を充実させ利便性向上に努める。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持改善国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考	
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点		評価結果
岡垣町地域公共交通協議会	(株)西部遠賀交通	<p>R4.9.22まで ○フィーダー対象 [4路線20系統運行] 糠塚・元松原循環線(7系統) 海老津駅前・龍王団地線 (8系統)※1系統のみなし運行 高橋団地循環線(5系統) 上船・上高倉・戸切デマンド (1系統)</p> <p>○フィーダー対象外 [1路線8系統運行] 波津線波津系統(6系統) 波津線松ヶ台循環(2系統)</p> <p>R4.9.23から ○フィーダー対象 [2路線12系統運行] 岡垣循環線(11系統) 乗合タクシー(1系統)</p> <p>○フィーダー対象外 [1路線4系統運行] 波津線波津系統(4系統) 波津線松ヶ台循環(2系統)</p>	<p>【利便性の向上】 ①海老津駅との乗り継ぎを考慮した運行ダイヤの設定 ②時刻表に、乗り継ぎ可能な便を記載し、利便性の向上を図った。 ③バスの行先表示を変更し、利便性の向上を図った</p> <p>【利用促進】 ①住民向け利用促進講座の開催と講座受講者に対する無料乗車券の配布</p>	A	B	<p>岡垣町地域公共交通計画を基に利用量に見合った、持続可能な運行計画を策定する。</p>	<p>評価の指標は、網形成計画策定時の利用者数の確保。 乗継を考慮した運行ダイヤの設定、乗継ダイヤの時刻表への記載等の利便性向上につながる取組だけでなく、利用促進の取組を実施されたことを評価します。 目標を達成できていない要因について、新型コロナウイルス感染症の影響以外の要因がないのかについても詳しく分析し、改善の取組につなげてください。分析された要因については、評価書に記載するようお願いいたします。 地域公共交通計画の施策が着実に実施されることにより、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
須恵町地域公共交通協議会	須恵町	<p>■コミュニティバス事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一番田～上須恵線 ・佐谷～建正寺線 ・平原～大間線 	<p>【R3評価結果】</p> <p>利用者の生活行動の分析やニーズの把握が行われたことを期待します。</p> <p>今後、新たに策定する地域公共交通計画に基づき、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。</p> <p>【R4目標設定および対応策】</p> <p>(目標)</p> <p>乗降者数前年度比100%を確保する(対応策)</p> <p>①料金減免証発行促進 ②ば指定情報等オープンデータ化 ③大学との連携事業</p> <p>◆利用者同行モニタリング実施 ◆バスー情報発信 ④小学校区バスルート実施 ⑤一部ルート変更による、より安全な運行の実施</p>	A	B	<p>①地域公共交通計画を作成。次回の公共交通協議会に諮り、審議いただいた後、令和5年度より地域公共交通計画の策定を行う。</p> <p>②コミュニティバスのパンフレットを作成し、町HPや広報等と合わせた利用促進を行う。</p>	<p>評価の指標は、系統毎の利用者数。利用者動向モニタリング調査を実施することにより、行動分析やニーズ把握が行われたことを評価します。</p> <p>フィーダー対象系統に限ると利用者が減少していることから、利用者数の推移を注視していただくとともに、新型コロナウイルス感染症の影響以外の要因がないかについても分析し、改善の取組につなげてください。</p> <p>来年度予定されている地域公共交通計画を策定とその施策の実施により、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日

九州運輸局

評価対象事業名: 路上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
八女市地域公共交通協議会	八女市地域公共交通協議会	大丸タクシー(株) 八女エリア	・ふれあいサロンや広報・HPIによる利用促進に努めた。	A	A	目標には及ばなかったものの、昨年より利用実績は増加した。商業施設や病院への利用回数がコロナ禍前の数値に戻ってきている。幹線系路線バスとの乗継ぎ利便性の向上や、お試し乗車券の配布等、利用者増加策を検討する。併せて、サロンや老人クラブでの利用説明会の実施や広報等周知活動を行っていく。	評価の指標は、系統毎の利用者数。ふれあいサロンや広報・HPIによる利用促進に取り組まれたことを評価します。目標の達成状況の評価については、引き続き、利用者の増加・減少の要因を詳しく分析し、改善の取組につなげてください。分析された要因については、評価書に記載するようお願いいたします。協議会が今後の改善点に挙げた取組や地域公共交通計画の施策が着実に実施されることにより、持続可能な持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。	
		大丸タクシー(株) 迎春エリア	・ふれあいサロンや広報・HPIによる利用促進に努めた。	A	C	他の地区とは異なり、コロナによる減少以降の利用者の戻りが少ない。幹線系路線バスとの乗継ぎ利便性の向上や、お試し乗車券の配布等、利用者増加策を検討する。併せて、サロンやシニアクラブでの利用説明会の実施や広報等周知活動を行い、利用が戻らない原因について調査していきたい。		
		大丸タクシー(株)、堀川バス(株) 白木エリア	・ふれあいサロンや広報・HPIによる利用促進に努めた。	A	C	他の地区とは異なり、コロナによる減少以降の利用者の戻りが少ない。幹線系路線バスとの乗継ぎ利便性の向上や、お試し乗車券の配布等、利用者増加策を検討する。併せて、サロンやシニアクラブでの利用説明会の実施や広報等周知活動を行い、利用が戻らない原因について調査していきたい。		
		堀川バス(株)、(有)川島タクシー 矢部エリア	・ふれあいサロンや広報・HPIによる利用促進に努めた。	A	B	新型コロナウイルス感染症の影響による利用の減少だけでなく、人口減少に伴う利用者減少が原因と考えられる。幹線系路線バスとの乗継ぎ利便性の向上や、お試し乗車券の配布等、利用者増加策を検討する。併せて、サロンや老人クラブでの利用説明会の実施や広報等周知活動を行っていく。		
		(有)八女観光バス 上隅エリア	・ふれあいサロンや広報・HPIによる利用促進に努めた。また、路線バスとの乗継ぎ利便性の向上のため、北川内バス停に上屋を設置した。	A	A	新型コロナウイルス感染症の影響による利用の減少だけでなく、人口減少に伴う利用者減少が原因と考えられる。幹線系路線バスとの乗継ぎ利便性の向上や、お試し乗車券の配布等、利用者増加策を検討する。併せて、サロンや老人クラブでの利用説明会の実施や広報等周知活動を行っていく。		
		堀川バス(株)、(有)川島タクシー、(株)くろき 旧黒木町エリア	・ふれあいサロンや広報・HPIによる利用促進に努めた。	A	A	目標には及ばなかったものの、昨年より利用実績は増加した。商業施設や病院への利用回数がコロナ禍前の数値に戻ってきている。幹線系路線バスとの乗継ぎ利便性の向上や、お試し乗車券の配布等、利用者増加策を検討する。併せて、サロンや老人クラブでの利用説明会の実施や広報等周知活動を行っていく。		
		星野タクシー(有) 星野エリア	・ふれあいサロンや広報・HPIによる利用促進に努めた。	A	A	サロンでの周知を行い、実際にサロンまでの行き帰りにご利用いただいたことが増加に繋がったと考えられる。引き続きサロンや老人クラブでの利用説明会や広報等周知活動を行う。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
田川市地域公共交通会議	田川構内自動車(株)	まちなか循環線 社会保険田川病院～上ノ山団地の運行	収支率の維持・向上を目標に、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進。	A	A	新規利用者獲得のためチラシ、広報紙等による利用促進、時刻表の配布を行う。 利便性向上のため、デジタル乗車券を活用したお得なチケットの発行等を行う。	評価の指標は、系統毎の輸送人員。 鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成による収支率の維持・向上、広報紙等による利用促進に取り組みられていることを評価します。 目標を達成できた系統についても、その要因について分析していただき、評価書に記載するようお願いいたします。 協議会が今後の改善点として挙げた取組が着実に実施されることにより、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。	
		坂谷線 坂谷～社会保険田川病院の運行	収支率の維持・向上を目標に、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進。	A	C	コミュニティバス利用が定着するように鉄道・バスとの接続強化。 新規利用者獲得のためチラシ、広報紙等による利用促進、時刻表の配布を行う。 利便性向上のため、デジタル乗車券を活用したお得なチケットの発行等を行う。		
		伊加利線 田川伊田駅～田川伊田駅の運行	収支率の維持・向上を目標に、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進。	A	A	新規利用者獲得のためチラシ、広報紙等による利用促進、時刻表の配布を行う。 利便性向上のため、デジタル乗車券を活用したお得なチケットの発行等を行う。		
		弓削田・金川・上伊田線 社会保険田川病院～社会保険田川病院の運行	収支率の維持・向上を目標に、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進。	A	A	新規利用者獲得のためチラシ、広報紙等による利用促進、時刻表の配布を行う。 利便性向上のため、デジタル乗車券を活用したお得なチケットの発行等を行う。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日

九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
遠賀町地域公共交通会議	遠賀町	<p>・遠賀町コミュニティバス 田園・松の本快速線(1)時計回り(遠賀川駅(北口)～松の本～遠賀川駅(北口))の運行</p> <p>・遠賀町コミュニティバス 田園・松の本快速線(2)反時計回り(遠賀川駅(北口)～松の本～遠賀川駅(北口))の運行</p>	<p>町の広報紙に、バスのお得情報や新型コロナウイルス対策の取り組みを掲載した。 また、体験乗車や出前講座の募集を行うなど、利用促進の取り組みを行った。</p>	A	A	<p>前年度に比べ、利用者が729人増加している。 田園団地を中心に、駅への通勤・通学目的の利用者が回復してきていると考えられる。 利用者数に回復傾向がみられるため、引き続き広報紙へのバスの利便性や新型コロナウイルス感染症対策等の掲載、体験乗車の募集などの利用促進をはじめ、遠賀町地域公共交通網形成計画及び令和5年3月策定予定の遠賀町地域公共交通計画に記載した利用促進事業に取り組むことで遠賀町コミュニティバスの利用促進を図っていく。</p>	<p>評価の指標は、系統毎の利用者数。 バスのお得情報や新型コロナウイルス対策の取組の広報誌への掲載や、体験乗車や出前講座の募集を行うなど利用促進につながる取組を実施されたことを評価します。 引き続き、目標の達成状況について詳しい分析を行っていただき、改善の取組につなげてください。 協議会が今後の改善点として挙げた取組や、地域公共交通計画の施策が着実に実施されることにより、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。</p>	
		<p>・遠賀町コミュニティバス 虫生津・浅木快速線(1)反時計回り(遠賀川駅南口～蓮角～遠賀川駅南口)の運行</p> <p>・遠賀町コミュニティバス 田園・松の本快速線(2)反時計回り(遠賀川駅(北口)～蓮角～遠賀川駅南口)の運行</p>	<p>町の広報紙に、バスのお得情報や新型コロナウイルス対策の取り組みを掲載した。 また、体験乗車や出前講座の募集を行うなど、利用促進の取り組みを行った。</p>	A	A	<p>年間利用目標値に達していなかったものの、前年度に比べると、利用者が694人増加している。 町内外への利用者数が回復していると考えられる。 通勤・通学での新規利用者の確保のためにも、引き続き広報紙へのバスの利便性や新型コロナウイルス感染症対策等の掲載、体験乗車の募集などの利用促進をはじめ、遠賀町地域公共交通網形成計画及び令和5年3月策定予定の遠賀町地域公共交通計画に記載した利用促進事業に取り組むことで遠賀町コミュニティバスの利用促進を図っていく。</p>		
		<p>・遠賀町コミュニティバス 田園・松の本線(1)時計回り(遠賀川駅(北口)～松の本～遠賀川駅(北口))の運行</p> <p>・遠賀町コミュニティバス 田園・松の本線(2)反時計回り(遠賀川駅(北口)～松の本～遠賀川駅(北口))の運行</p>	<p>町の広報紙に、バスのお得情報や新型コロナウイルス対策の取り組みを掲載した。 また、体験乗車や出前講座の募集を行うなど、利用促進の取り組みを行った。</p>	A	A	<p>前年度に比べ、利用者が2191人増加している。 各団地からの駅の利用や買い物目的の利用が回復してきたことが大きな理由と考えられる。 各団地からの利用者が増加傾向にあるので、引き続き広報紙による利用促進や新型コロナウイルス感染症対策等の周知をはじめ、体験乗車や出前講座を募集するなど、遠賀町地域公共交通網形成計画及び令和5年3月策定予定の遠賀町地域公共交通計画に記載した利用促進事業に取り組むことで遠賀町コミュニティバスの利用促進を図っていく。</p>		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持改善国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
遠賀町地域公共交通会議	遠賀町	<ul style="list-style-type: none"> ・遠賀町コミュニティバス 虫生津・浅木線(1)反時計回り(遠賀川駅(北口)～遠賀高校～遠賀川駅(北口))の運行 ・遠賀町コミュニティバス 虫生津・浅木線(2)時計回り(遠賀川駅(北口)～遠賀高校～遠賀川駅(北口))の運行 ・遠賀町コミュニティバス 虫生津・浅木線(3)反時計回り(遠賀川駅(北口)～ふれあいの里～遠賀川駅(北口))の運行 ・遠賀町コミュニティバス 虫生津・浅木線(4)時計回り(遠賀川駅(北口)～ふれあいの里～遠賀川駅(北口))の運行 	<p>町の広報紙に、バスのお得情報や新型コロナウイルス対策の取り組みを掲載した。 また、体験乗車や出前講座の募集を行うなど、利用促進の取り組みを行った。</p>	A	A	<p>前年度に比べ、利用者が1,497人増加している。 公共施設や遠賀高校への利用者が増加し、買い物目的の利用者や町内外への利用者が増加傾向にあることが考えられる。 遠賀高校に通う利用者を維持するとともに、買い物目的の利用者が増加していると考えられることから、広報紙による利用促進をはじめ、体験乗車や出前講座の募集を継続するなど、遠賀町地域公共交通網形成計画及び令和5年3月策定予定の遠賀町地域公共交通計画に記載した利用促進事業に取り組みことで遠賀町コミュニティバスの利用促進を図っていく。</p>		
		<ul style="list-style-type: none"> ・遠賀町コミュニティバス 島津・尾崎線(1)反時計回り(遠賀川駅(北口)～尾崎～遠賀川駅(北口))の運行 ・遠賀町コミュニティバス 島津・尾崎線(2)時計回り(遠賀川駅(北口)～尾崎～遠賀川駅(北口))の運行 	<p>町の広報紙に新車購入に関する記事の掲載だけでなく、バスのお得情報や新型コロナウイルス対策の取り組みも掲載した。 また、体験乗車や出前講座の募集を行うなど、利用促進の取り組みを行った。</p>	A	A	<p>前年度に比べ、利用者が861人増加している。 各地区から町内外への利用者が回復していることが考えられる。 各地区からの利用者が増加傾向にあるので、引き続き広報紙による利用促進や新型コロナウイルス感染症対策等の周知をはじめ、体験乗車や出前講座を募集するなど、遠賀町地域公共交通網形成計画及び令和5年3月策定予定の遠賀町地域公共交通計画に記載した利用促進事業に取り組みことで遠賀町コミュニティバスの利用促進を図っていく。</p>		
		<ul style="list-style-type: none"> ・遠賀町コミュニティバス 老良・広渡線(1)時計回り(遠賀川駅(北口)～ふれあいの里～遠賀川駅(北口))の運行 ・遠賀町コミュニティバス 老良・広渡線(2)反時計回り(遠賀川駅(北口)～ふれあいの里～遠賀川駅(北口))の運行 	<p>町の広報紙に、バスのお得情報や新型コロナウイルス対策の取り組みを掲載した。 また、体験乗車や出前講座の募集を行うなど、利用促進の取り組みを行った。</p>	A	A	<p>年間利用目標値に達していなかったものの、前年度に比べると、利用者が555人増加している。 遠賀川駅、ふれあいの里、各地区で増加となっており、町内外への移動の機会が増えてきたことが考えられる。 遠賀川駅、ふれあいの里、各地区で増加となっており、町内外への移動の機会が増えてきたことが考えられる。 引き続き広報紙へのバスの利便性や利用者数に回復傾向がみられるため、引き続き広報紙へのバスの利便性や新型コロナウイルス感染症対策等の掲載、体験乗車の募集などの利用促進をはじめ、遠賀町地域公共交通網形成計画及び令和5年3月策定予定の遠賀町地域公共交通計画に記載した利用促進事業に取り組みことで遠賀町コミュニティバスの利用促進を図っていく。</p>		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
芦屋町地域公共交通会議	芦屋町	芦屋タウンバス 中央病院・遠賀川駅線	バス路線・便数の維持確保を行ったほか、JR九州のダイヤ改正に合わせて、時刻表改正を行った。	A	B	芦屋町地域公共交通計画に基づき、減少した利用者の回復を図る。	評価の指標は、路線毎の利用者数。目標の達成状況の評価については、利用者の増加・減少の要因を詳しく分析し、改善の取組につなげてください。分析された要因については、評価書に記載するようお願いいたします。協議会が今後の改善点として挙げた取組や、地域公共交通計画の施策が着実に実施されることにより、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。	
		芦屋タウンバス はまゆう・遠賀川駅線	バス路線・便数の維持確保を行ったほか、JR九州のダイヤ改正に合わせて、時刻表改正を行った。	A	A	生活交通確保維持改善計画に定める利用者目標は達成したが、芦屋町地域公共交通計画に定める全体での利用者目標は未だ達成していないため、引き続き利用者の回復を図る。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日

九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
広川町地域公共交通協議会	(有)蒲池自動車・ 堀川バス(株)	ふれあいタクシー (町内全域の運行)	自治会や社会福祉協議会等が主催する会合・健康教室に参加し、意見・要望を聴取した。要望が多かった、スーパー等での待合場所は設置できたが、区域外乗り入れについては、他市関係者との協議継続と回答した。	A	B	利用状況の把握、利用者の意見聴取を行い、利用促進に向けた取組を実施する。	<p>評価の指標は、年間利用者数。 自治会等が主催する会合等に参加し意見・要望の聴取を行い、住民のニーズ把握に努められていることについて評価します。 目標の達成状況の評価については、利用者減少の要因について、新型コロナウイルス感染症の影響以外の要因がないかについても分析し、改善の取組につなげてください。 また、利用者が増加した場合においても、その分析と評価書への記載をお願いします。 協議会が今後の改善点として挙げた取組や、作成を予定されている地域公共交通計画の施策が着実に実施されることにより、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日

九州運輸局

評価対象事業名: 地上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
直方市地域公共交通会議	MGタクシー株式会社	コミュニティバス上頓野線の運行 (直方駅～会下団地～竜王峽)	・庁舎、その他公共施設及びホームページに時刻表及び路線図を配架するほか、市報に折り込みを行った。 ・各路線代表者、直方市シニアクラブ連合会の代表者と直方市による意見交換会を実施し、意見、課題等を聴取。今後の利用者増に向け利便性向上を図る。	A	A	・路線変更による利用者増に繋がっているが、1運行あたりの距離(時間)が長くなり、1日の運行本数の減少や一部利用者離れの傾向がある。 ・運転免許を持たない高齢者の生活に欠かせない交通手段であるため、トリガー制度(1運行平均4名目標)により利用状況を参考に、効果的な運行を検討していく。 ・また、他のコミュニティバスや路線バスとの接続を考慮した運行となるよう検討していく。	評価の指標は、系統毎の一運行平均の利用者数、関係施設への時刻表・路線図の配架のほか、住民代表との意見交換を実施されるなど、利便性の向上や利用促進につながる取組が行われていることを評価します。 引き続き、利用者の増加・減少の要因を詳しく分析し、改善の取組につなげてください。 協議会が今後の改善点として挙げた取組や、作成を予定されている地域公共交通計画の施策が着実に実施されることにより、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。	
	MGタクシー株式会社	コミュニティバス武谷線の運行 (直方駅～ハローデイ前～ゴルフ場)	・庁舎、その他公共施設及びホームページに時刻表及び路線図を配架するほか、市報に折り込みを行った。 ・各路線代表者、直方市シニアクラブ連合会の代表者と直方市による意見交換会を実施し、意見、課題等を聴取。今後の利用者増に向け利便性向上を図る。	A	B	・利用者は減少傾向にあるが、運転免許を持たない高齢者の生活に欠かせない交通手段であるため、トリガー制度(1運行平均4名目標)により利用状況を参考に、効果的な運行を検討していく。 ・また、他のコミュニティバスや路線バスとの接続を考慮した運行となるよう検討していく。		
	筑豊タクシー株式会社	コミュニティバス鴨生田団地線の運行 (直方駅～鴨生田団地～サンリブのおがた店)	・庁舎、その他公共施設及びホームページに時刻表及び路線図を配架するほか、市報に折り込みを行った。 ・各路線代表者、直方市シニアクラブ連合会の代表者と直方市による意見交換会を実施し、意見、課題等を聴取。今後の利用者増に向け利便性向上を図る。	A	B	・利用者は減少傾向にあるが、R4年10月より新たな交通空白地域を運行することで利用者増を図る。 ・運転免許を持たない高齢者の生活に欠かせない交通手段であるため、トリガー制度(1運行平均4名目標)により利用状況を参考に、効果的な運行を検討していく。 ・また、他のコミュニティバスや路線バスとの接続を考慮した運行となるよう検討していく。		
	直方タクシー有限公司	コミュニティバス榎木線の運行 (直方駅～下新入～下町公民館)	・R3年10月より新たな交通空白地域をカバーするため路線を延長したが、新規バス停での乗降者が想定より少ないこと、また、既存バス停の利用者が減少しており、ルート変更、ダイヤ改正に伴った利用者離れの可能性も高い。 ・庁舎、その他公共施設及びホームページに時刻表及び路線図を配架するほか、市報に折り込みを行った。 ・各路線代表者、直方市シニアクラブ連合会の代表者と直方市による意見交換会を実施し、意見、課題等を聴取。今後の利用者増に向け利便性向上を図る。	A	B	・路線変更後に利用者数の減少となったことから、路線全体における利用減少傾向にあるため、トリガー制度(1運行平均4名目標)により利用状況を参考に、効果的な運行を再度、検討していく。 ・また、他のコミュニティバスや路線バスとの接続を考慮した運行となるよう検討していく。		
	MGタクシー株式会社	コミュニティバス感田線の運行 (直方駅～東和苑北～行常集会所)	・庁舎、その他公共施設及びホームページに時刻表及び路線図を配架するほか、市報に折り込みを行った。 ・各路線代表者、直方市シニアクラブ連合会の代表者と直方市による意見交換会を実施し、意見、課題等を聴取。今後の利用者増に向け利便性向上を図る。	A	A	・運転免許を持たない高齢者の生活に欠かせない交通手段であるため、トリガー制度(1運行平均4名目標)により利用状況を参考に、効果的な運行を検討していく。 ・また、他のコミュニティバスや路線バスとの接続を考慮した運行となるよう検討していく。		
	直方タクシー有限公司	コミュニティバス赤地新入線の運行 (緑光苑～直方駅～サンリブのおがた店)	・庁舎、その他公共施設及びホームページに時刻表及び路線図を配架するほか、市報に折り込みを行った。 ・各路線代表者、直方市シニアクラブ連合会の代表者と直方市による意見交換会を実施し、意見、課題等を聴取。今後の利用者増に向け利便性向上を図る。 ・R2年10月からの新規路線であるため対象地区への周知が行き届いていない可能性も高い。	A	B	・目標に届いていないが、運転免許を持たない高齢者の生活に欠かせない交通手段であるため、トリガー制度(1運行平均4名目標)により利用状況を参考に、効果的な運行を検討していく。 ・また、他のコミュニティバスや路線バスとの接続を考慮した運行となるよう検討していく。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
久留米市地域公共交通会議	久留米市地域公共交通会議	北野地域よりみちバス運行 A日程(月・水・金)17便 B日程(火・木・土)17便	依然として新型コロナウイルスの影響を受ける中、地域住民の生活や経済の安定確保に不可欠な地域公共交通の確保・維持のため、引き続き十分な感染拡大防止策を講じながら、生活支援交通の運行継続に努めた。	B	B	新型コロナウイルス感染症拡大前までの利用者数の増加にけん引され、目標1は達成したが、現在は利用者が低迷状況にあるため、今後も地域の意見・要望を反映した運行ルート・ダイヤの改善を行い、利用促進を図る。また、事業の継続性に配慮し、収支状況を意識した事業の改善を図る。	評価の指標は、系統毎の日利用者数と公共交通満足度。 目標の達成状況の評価について、その要因を詳しく分析されることにより、今後の改善の取組につなげていることについて評価します。 引き続き、利用者の増加・減少の要因を詳しく分析し、改善の取組につなげてほしい。 協議会が今後の改善点として挙げた取組や、地域公共交通計画の施策が着実に実施されることにより、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。	
		城島地域よりみちバス運行 A日程(月・水・土)17便 B日程(火・木・金)16便	依然として新型コロナウイルスの影響を受ける中、地域住民の生活や経済の安定確保に不可欠な地域公共交通の確保・維持のため、引き続き十分な感染拡大防止策を講じながら、生活支援交通の運行継続に努めた。	B	B	新型コロナウイルス感染症拡大前日の日利用者は27人と増加傾向にあったため、今後も地域の意見・要望を反映した運行ルート・ダイヤの改善を行い、利用促進を図る。また、事業の継続性に配慮し、収支状況を意識した事業の改善を図る。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日

九州運輸局

評価対象事業名: 地上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
中間市地域公共交通会議	ひかり第一交通株式会社 産業タクシー株式会社	太賀・朝霧系統	路線の一部廃止により、運行経費の補填額が減少した事業者の負担を軽減するため、ダイヤの見直しを行った。見直しに際しては、待機時間の不均衡を解消し、利用者が多い時間帯に運行本数を集中させ、利便性が向上するよう努めた。	A	C	イオンなかま店の閉店に伴い利用者が減少し、特に太賀地区においては利用者数(乗車・降車の平均値)が年間で59人と大幅に落ち込んでいる。収支率も他の系統に比べて極端に低いことから、運行形態を変更するなど、抜本的な収支率の改善策を検討する。	評価の指標は、系統毎の利用者数及び収支率。ダイヤの見直しに当たり、待機時間の不均衡の解消や利用者が多い時間帯への運行本数の集中など、利便性が向上する改定が行われたことを評価します。引き続き、利用者の増加・減少の要因を詳しく分析し、改善の取組につなげてください。協議会が今後の改善点として挙げた取組や、作成を予定されている地域公共交通計画の施策が着実に実施されることにより、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。	
	有限会社ことぶきタクシー	通谷・桜台系統	路線の一部廃止により、運行経費の補填額が減少した事業者の負担を軽減するため、ダイヤの見直しを行った。見直しに際しては、待機時間の不均衡を解消し、利用者が多い時間帯に運行本数を集中させ、利便性が向上するよう努めた。	A	B	収支率は目標値を上回っており、運行状況は良好であるが、利用者が目標値に達していないことから、効果的な周知方法等を検討し、利用者の獲得に努める。		
	有限会社ことぶきタクシー	垣生・下大隈系統	運行が開始されて以降、ダイヤの大幅な改定がなかったため、見直しを検討した。乗降データを分析したところ、利用時間帯が分散しており、現時点では見直しの必要はないと判断した。	A	C	デマンド運行のため、収支率は落ち込んでいないものの、路線の一部廃止に伴って利用者数が大きく減少しており、目標値にも届いていないため、効果的な周知方法等を検討し、利用者の獲得に努める。		
	ひかり第一交通株式会社	砂山・底井野系統	運行が開始されて以降、ダイヤの大幅な改定がなかったため、見直しを検討した。乗降データを分析したところ、利用時間帯が分散しており、現時点では見直しの必要はないと判断した。	A	C	デマンド運行のため、収支率は落ち込んでいないものの、路線の一部廃止に伴って利用者数が減少しており、目標値にも届いていないため、効果的な周知方法等を検討し、利用者の獲得に努める。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点		
みやま市地域公共交通活性化協議会	みやま市 清水・上庄線	瀬高町の水上～清水～上庄～本郷地域を運行	・市報、HP、SNSでの情報発信を実施した。 ・利用者の声を受けて分かりやすい時刻表を作成し全戸配布を行った。	A	B	・新たに作成する地域公共交通計画の方針に基づき、鉄道や路線バスとの乗り継ぎ利便性を意識した運行ダイヤの検討及び利用者・運行事業者等の意見や要望を反映した運行ルート等の見直しを行い、利用者の利便性の向上につなげる。	評価の指標は、系統毎の1便あたりの利用者数。市報・HP・SNSでの情報発信や利用者の声を反映した時刻表の作成・全戸配布等、利用促進に取り組まれていることを評価します。目標の達成状況の評価に当たっては、利用者の増加・減少の要因を詳しく分析し、改善の取組につなげてください。分析された要因については、評価書に記載するようお願いいたします。協議会が今後の改善点として挙げた取組や、地域公共交通計画の施策が着実に実施されることにより、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。	
	みやま市 瀬高・高田線 (太神・岩田経由)	瀬高町～高田町を太神・岩田地域を経由して運行	・市報、HP、SNSでの情報発信を実施した。 ・利用者の声を受けて分かりやすい時刻表を作成し全戸配布を行った。 ・令和4年5月1日より運行ルート及びダイヤの一部見直しを実施した。	A	B	・新たに作成する地域公共交通計画の方針に基づき、鉄道や路線バスとの乗り継ぎ利便性を意識した運行ダイヤの検討及び利用者・運行事業者等の意見や要望を反映した運行ルート等の見直しを行い、利用者の利便性の向上につなげる。		
	みやま市 高田・瀬高線 (江浦・浜田・大江経由)①	高田町～瀬高町を江浦・浜田・大江地域を経由して運行 【車両減価償却費等国庫補助金交付対象】	・市報、HP、SNSでの情報発信を実施した。 ・利用者の声を受けて分かりやすい時刻表を作成し全戸配布を行った。 ・令和4年5月1日より運行ダイヤの一部見直しを実施した。	A	A	・新たに作成する地域公共交通計画の方針に基づき、鉄道や路線バスとの乗り継ぎ利便性を意識した運行ダイヤの検討及び利用者・運行事業者等の意見や要望を反映した運行ルート等の見直しを行い、利用者の利便性の向上につなげる。 ・新型コロナウイルスの感染状況に留意しつつ、引き続き現在の利用状況を維持できるよう、コミュニティバス運行に関する周知や広報に取り組み、利用促進に努める。		
	みやま市 高田・瀬高線 (江浦・浜田・大江経由)②	高田町～瀬高町を江浦・浜田・大江地域を経由して運行 【車両減価償却費等国庫補助金交付対象】	・市報、HP、SNSでの情報発信を実施した。 ・利用者の声を受けて分かりやすい時刻表を作成し全戸配布を行った。 ・令和4年5月1日より運行ダイヤの一部見直しを実施した。	A	B	・新たに作成する地域公共交通計画の方針に基づき、鉄道や路線バスとの乗り継ぎ利便性を意識した運行ダイヤの検討及び利用者・運行事業者等の意見や要望を反映した運行ルート等の見直しを行い、利用者の利便性の向上につなげる。		
	みやま市 高田・瀬高線 (国道209号経由)①	高田町～瀬高町を国道209号を経由して運行	・市報、HP、SNSでの情報発信を実施した。 ・利用者の声を受けて分かりやすい時刻表を作成し全戸配布を行った。 ・令和4年5月1日より運行ダイヤの一部見直しを実施した。	A	B	・新たに作成する地域公共交通計画の方針に基づき、鉄道や路線バスとの乗り継ぎ利便性を意識した運行ダイヤの検討及び利用者・運行事業者等の意見や要望を反映した運行ルート等の見直しを行い、利用者の利便性の向上につなげる。		
	みやま市 高田・瀬高線 (国道209号経由)②	新船小屋からJR瀬高駅間を運行	・市報、HP、SNSでの情報発信を実施した。 ・利用者の声を受けて分かりやすい時刻表を作成し全戸配布を行った。	A	C	・新船小屋からJR瀬高駅間を山川・瀬高線③に接続するための回送的な運行のため、利用者が限られている。 ・運行ダイヤ、運行ルートについては見直しを検討する。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日

九州運輸局

評価対象事業名: 地上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	
みやま市地域公共交通活性化協議会	みやま市 山川・瀬高線①	山川町の真弓公民館～瀬高町の市立図書館を国道443号線を経由して運行	・市報、HP、SNSでの情報発信を実施した。 ・利用者の声を受けて分かりやすい時刻表を作成し全戸配布を行った。 ・令和4年5月1日より運行ダイヤの一部見直しを実施した。	A	B	・新たに作成する地域公共交通計画の方針に基づき、鉄道や路線バスとの乗り継ぎ利便性を意識した運行ダイヤの検討及び利用者・運行事業者等の意見や要望を反映した運行ルート等の見直しを行い、利用者の利便性の向上につなげる。	
	みやま市 山川・瀬高線②	山川町のバイオマセンター～瀬高町の市立図書館を国道443号線を経由して運行	・市報、HP、SNSでの情報発信を実施した。 ・利用者の声を受けて分かりやすい時刻表を作成し全戸配布を行った。 ・令和4年5月1日より運行ダイヤの一部見直しを実施した。	A	A	・新たに作成する地域公共交通計画の方針に基づき、鉄道や路線バスとの乗り継ぎ利便性を意識した運行ダイヤの検討及び利用者・運行事業者等の意見や要望を反映した運行ルート等の見直しを行い、利用者の利便性の向上につなげる。 ・新型コロナウイルスの感染状況に留意しつつ、引き続き現在の利用状況を維持できるよう、コミュニティバスに関する周知や広報に取り組み、利用促進に努める。	
	みやま市 山川・瀬高線③	瀬高町のJR瀬高駅～山川町の真弓公民館を国道443号線を経由して運行	・市報、HP、SNSでの情報発信を実施した。 ・利用者の声を受けて分かりやすい時刻表を作成し全戸配布を行った。 ・令和4年5月1日より運行ダイヤの一部見直しを実施した。	A	C	・JR利用者が山川方面へ帰宅するために必要な系統である。利用者の利便性の向上を図るため、JR瀬高駅以降は降車のみとしている。	
	みやま市 高田南部・西部線 (循環)	高田町のあたご苑～高田町の西鉄駅を循環して運行	・市報、HP、SNSでの情報発信を実施した。 ・利用者の声を受けて分かりやすい時刻表を作成し全戸配布を行った。	A	B	・1便当たりの利用者数は増加しているが、目標達成に至らなかった。 ・新たに作成する地域公共交通計画の方針に基づき、鉄道との乗り継ぎ利便性を意識した運行ダイヤの検討及び利用者・運行事業者等の意見や要望を反映した運行ルート等の見直しを行い、利用者の利便性の向上につなげる。	
	みやま市 山川・高田線 (亀谷・竹飯経由)	高田町の南部及び西部地域をJR瀬高駅からあたご苑、西竹飯を経由して山川げんきかんまで運行	・市報、HP、SNSでの情報発信を実施した。 ・利用者の声を受けて分かりやすい時刻表を作成し全戸配布を行った。 ・令和4年5月1日より運行ダイヤの一部見直しを実施した。	A	B	・新たに作成する地域公共交通計画の方針に基づき、鉄道との乗り継ぎ利便性を意識した運行ダイヤの検討及び利用者・運行事業者等の意見や要望を反映した運行ルート等の見直しを行い、利用者の利便性の向上につなげる。	
	みやま市 山川・高田線 (田浦・田尻経由)①	高田町の南部及び西部地域をJR瀬高駅からあたご苑を経由して山川げんきかんまで運行	・市報、HP、SNSでの情報発信を実施した。 ・利用者の声を受けて分かりやすい時刻表を作成し全戸配布を行った。 ・令和4年5月1日より運行ルート及びダイヤの一部見直しを実施した。	A	B	・山間部を通る系統であるため、コミュニティバスが必要な地域である。 ・新たに作成する地域公共交通計画の方針に基づき、鉄道との乗り継ぎ利便性を意識した運行ダイヤの検討及び利用者・運行事業者等の意見や要望を反映した運行ルート等の見直しを行い、利用者の利便性の向上につなげる。	
	みやま市 山川・高田線 (田浦・田尻経由)②	高田町の南部及び西部地域を山川げんきかんからあたご苑を経由しヨコクラ病院前まで運行	・市報、HP、SNSでの情報発信を実施した。 ・利用者の声を受けて分かりやすい時刻表を作成し全戸配布を行った。 ・令和4年5月1日より運行ルート及びダイヤの一部見直しを実施した。	A	C	・山間部を通る系統であるため、コミュニティバスが必要な地域である。 ・新たに作成する地域公共交通計画の方針に基づき、鉄道との乗り継ぎ利便性を意識した運行ダイヤの検討及び利用者・運行事業者等の意見や要望を反映した運行ルート等の見直しを行い、利用者の利便性の向上につなげる。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日

九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
宮若市地域公共交通会議	有限会社松川タクシー MGタクシー株式会社	宮田・小竹線	市ホームページでの周知やバス利用促進の啓発物品の配布等を行い、新規利用者の拡大を目指した	A	C	目標値を大きく下回っており、利用者数・収支率も昨年より減少している。新型コロナウイルス感染症の影響もあるが、住宅が集中している地域での利用者が少ないことも考えられる。利用者の少ない時間帯に関しては運行経路や運行本数の見直しにより収支の改善を図る。	<p>評価の指標は、年間利用者数。新規利用者の拡大のため、HPでの周知やバス利用促進の啓発物品の配布を行われたことを評価します。</p> <p>目標の達成状況の評価については、目標を達成できていない要因を詳しく分析していただいておりますが、来年度、地域公共交通計画を策定されるための調査事業の実施を予定されていますので、利用者の意見、ニーズをしっかりと把握していただき、今後の改善の取組につなげてください。</p> <p>協議会が今後の改善点として挙げた取組や、作成を予定されている地域公共交通計画の施策が着実に実施されることにより、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日

九州運輸局

評価対象事業名: 地上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	
嘉麻市地域公共交通会議	嘉穂観光有限公司	稲葉桂川線 (市役所・稲葉病院経由)	日中の移動ニーズに合わせた便の追加や、早朝や夜間に利用の少ないバス停を経由しない等の部分的な修正、効率的な運行を目的とした全体的なダイヤの見直しを実施しました。 また、改定に伴い、利用者への周知として、嘉麻市総合時刻表の全戸配布や市内外主要施設への設置、広報誌への定期掲載、また、市内在住の学生に向けた通学定期券の補助制度を継続して実施し、バスの利用呼びかけを行いました。	A	A	適宜利用者からの要望や意見を精査し、ダイヤや路線の見直しを実施してきました。 今回は、目標としていた収支率20%に到達し、前年度と比較すると7.8%上昇しており、現在も利用者数も増加傾向にあります。 今後はより効率的な運行を目指すために、意見や要望の検証をしながら適宜見直しをかけていくとともに、市バス自体の周知や現在公共交通を利用していない層にも視野を向け、利用しやすい、わかりやすい市バスを目指した事業等を実施予定です。	評価の指標は、系統毎の収支率。利用実態に合わせた便の追加や経路変更等、効率的なダイヤの見直しを実施されたこと、利用促進のための各種取組を実施されたことで目標を達成されたことを評価します。 目標を達成されているのは、これまでの取組の効果であると思いますが、引き続き、利用者の増加・減少の要因を詳しく分析し、改善の取組につなげてください。 協議会が今後の改善点として挙げた取組や、地域公共交通計画の施策が着実に実施されることにより、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。
		稲葉桂川線 (東岩崎・嘉穂総合高校経由)		A	A		
		稲葉桂川線 (なつきが丘・嘉麻市役所・稲葉病院経由)		A	A		
		稲葉桂川線 (嘉麻市役所経由)		A	A		
		稲葉桂川線 (なつきが丘・嘉麻市役所経由)		A	A		
		稲葉桂川線 (山野社宅～稲葉病院)		A	A		
	株式会社ひまわり観光	市内循環線 (東回り 山田方面)	稲葉桂川線同様に、市民からの要望を基に、早朝や土日祝日などの特定の時間に乗降りがないバス停を経由しない系統の部分的な修正等、効率的な運行を目的とした全体的なダイヤの見直しを実施しました。また、稲葉桂川線と同様の広報活動を実施し、路線の周知に努めました。	A	A	稲葉桂川線同様に、令和2年に大幅な見直しをかけた後も継続して利用者の要望や意見を検証し適宜見直しを実施してきました。 今回は、目標としていた収支率20%に到達し、前年度と比較すると4.2%上昇しています。 今後も更なる利便性向上、効率的な運行のため、適宜路線ダイヤの見直しを実施しながら、市バス自体の周知や現在公共交通を利用していない層にも視野を向け、利用しやすい、わかりやすい市バスを目指した事業等を実施予定です。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
香春町地域公共交通会議	香春町	採銅所コース(往路・復路) 「香春町役場・香泉荘・道の駅・ドラッグコーエイ・す ずかけ病院」及び採銅所地区への運行	今年度初事業	A	B	利用者の利便性を向上し、今後、広報紙などでの周知により免許返納を避 ける世代を中心とした新規利用者の獲得を目指す。 また、利便性のよい運行体制などの検討を行う。	評価の指標は、1日あたりの利用者数と新たな公 共交通の認知度。 利用促進のため、コミュニティバスに関する記事を 複数回広報紙に掲載されたことについて評価しま す。 目標の達成状況の評価に当たっては、利用者の増 加・減少の要因を詳しく分析し、評価書に記載す るようお願いします。利用者減少の要因について、新 型コロナウイルス感染症の影響以外の要因がない かについても分析してください。 協議会が今後の改善点として挙げた取組や、地域 公共交通計画の施策が着実に実施されることによ り、持続可能な公共交通体系が構築されることを期 待します。	
		鏡山コース(往路・復路) 「香春町役場・香泉荘・道の駅・ドラッグコーエイ・す ずかけ病院」及び鏡山地区への運行		A	B			
		柿下・中津原コース(往路・復路) 「香春町役場・香泉荘・道の駅・ドラッグコーエイ・す ずかけ病院」及び柿下・中津原地区への運行		A	B			
		下香春コース(往路・復路) 「香春町役場・香泉荘・道の駅・ドラッグコーエイ・す ずかけ病院」及び下香春地区への運行		A	B			
		紫竹原コース(往路・復路) 「香春町役場・香泉荘・道の駅・ドラッグコーエイ・す ずかけ病院」及び紫竹原地区への運行		A	B			
		一本松コース(往路・復路) 「香春町役場・香泉荘・道の駅・ドラッグコーエイ・す ずかけ病院」及び一本松地区への運行		A	B			

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日

九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
鳥栖市地域公共交通会議	西鉄バス佐賀㈱	弥生が丘循環線	利用促進のため、バスマップの配布及びバスの日イベント等を実施し、運行の基礎的な情報の提供(ルート及びダイヤなど)に努めた。	B	B	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に配慮しながら、引き続き利用促進に向けた、沿線住民等への運行の基礎的な情報の提供(ルート及びダイヤなど)を行っていく必要がある。	評価の指標は年間収支率(市内線全体)。利用促進のための継続的な取組を評価します。目標は未達成ですが、前年度より利用者数が増加し収支率も向上していますので、引き続き高齢者福祉乗車券の販売促進を含む利用促進策に事業者と連携して取り組まれ、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。	
	㈱鳥栖構内タクシー	鳥栖地区循環線	利用促進のため、バスマップの配布及びバスの日イベント等を実施し、運行の基礎的な情報の提供(ルート及びダイヤなど)に努めた。	A	B	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に配慮しながら、引き続き利用促進に向けた、沿線住民等への運行の基礎的な情報の提供(ルート及びダイヤなど)を行っていく必要がある。また、ルートの変更を行っていない基里地区循環線は利用者が減少傾向にあるため、見直しの検討が必要。	評価の指標は、ミニバス1便あたりの利用者数。平成21年の運行開始移行、継続的に利用促進に取り組まれ、市民の移動手段として定着していることを評価します。目標達成度が低い路線について、利用者ニーズの適切な把握に留意しながら、ルート見直し等により改善が図られることを期待します。	
	㈱鳥栖構内タクシー	田代地区循環線	利用促進のため、バスマップの配布及びバスの日イベント等を実施し、運行の基礎的な情報の提供(ルート及びダイヤなど)に努めた。	A	B			
	久留米西鉄タクシー㈱	基里地区循環線	利用促進のため、バスマップの配布及びバスの日イベント等を実施し、運行の基礎的な情報の提供(ルート及びダイヤなど)に努めた。	A	C			
	久留米西鉄タクシー㈱	旭地区循環線	利用促進のため、バスマップの配布及びバスの日イベント等を実施し、運行の基礎的な情報の提供(ルート及びダイヤなど)に努めた。	A	A			

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日

九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
嬉野市地域公共交通活性化協議会	温泉タクシー㈱ 春日線・大野原線	(春日線) 大野～嬉野医療センター (大野原線) 平重～体育館前	市ホームページに時刻表や公共交通に関するお知らせ等を掲載し、市民や観光客向けに引き続きPRを行った。また、経路検索サイトへ春日線・大野原線ともに継続していることや、更にGTFSを用いてオープンデータ化を果たし、Google Mapで時刻や経路が検索できるようになり、利便性の向上と利用促進を図った。「春日線」については利用者は横ばい、「大野原線」については291人減少した。	A	C	(春日線) R4年度の利用者状況はR3年度比で僅かに減少(▲24人)し、収支状況は横ばいであった。固定の利用者に引き続き利用して貰える環境を整えたい。 (大野原線) 収支状況は利用者の大幅な減少(▲291人)に伴い、悪化した。昨年度に続き、高齢化に伴う特定利用者の需要がなくなったことが要因と分析する。 (全体) 沿線住民や地元の地域コミュニティに対し利用促進を図ると同時に、広報誌や市ホームページを通じて、より積極的に市民や観光客等へ情報発信を行っていく。令和3年度に策定した地域公共交通計画に基づき、利便性と財政面の両方に配慮しつつ、地域公共交通網の適正化を進めたい。	評価の指標は一人あたりの運行コスト。利用者減により運行コストが大幅に上昇している路線については、活性化協議会関係者と連携し利用者のニーズの把握に努め、利用者増に向けた取組をご検討願います。 R4.3に策定された地域公共交通計画に基づき、西九州新幹線駅開業の影響等にも留意した地域交通の確保・維持、利便性向上の取組が進められることを期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名: 地上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点		
小城市地域公共交通活性化協議会	小城市 晴田線(小城市巡回バス)	小城市の晴田地区内における巡回バスの運行	(1)運転免許証自主返納者に対する巡回バスの運賃割引制度を引き続き行った。 (2)老朽化したバス停の更新、バス停時刻表の更新を行った。 (3)広報誌にコミュニティバス運行情報等の掲載や出前講座実施により利用促進と周知に取り組んだ。上記の活動により、更なる利用促進と新たな需要の掘り起こしに取り組んだ。	A	C	目標達成できなかった要因としては新型コロナの影響によりバスの利用を控えられたことが考えられる。 市民からは運行本数や運行便数、バス停までの距離、運行情報の提供について改善すべきとの意見がある。利用が少ない路線については地域公共交通計画に沿ってデマンドタクシー導入に向けた事業者との協議や山間部等の区間については、フリー乗降区間設定に向けた事業者との協議を進めていき利便性の向上に努める。また、市報・ホームページ、出前講座等で運行情報の提供に努め、運転免許証自主返納者への割引制度継続等を行い利用促進を図っていく。	評価の指標は各系統別の1便あたりの利用者数利用促進のため、運転免許返納者向け運賃割引を初めとする取組を継続され、日常生活の移動手段として定着していることを評価します。 路線ごとに利用者のニーズ、改善要望を把握・整理されていますので、今後、協議会関係者が連携し着実に改善が図られ、巡回バスの利便性向上と利用者増につながることを期待します。	
	小城市 岩松線(小城市巡回バス)	小城市の岩松地区内における巡回バスの運行		A	C			
	小城市 三里線(小城市巡回バス)	小城市の三里地区内における巡回バスの運行		A	C			
	小城市 北回りコース(三日月町巡回バス)	三日月町の北部地区及び小城市の一部における巡回バスの運行		A	A			
	小城市 南回りコース(三日月町巡回バス)	三日月町の南部地区における巡回バスの運行		A	C			
	小城市 勝・柿樋瀬線(牛津町巡回バス)	牛津町の勝・柿樋瀬地区における巡回バスの運行		A	C			
	小城市 砥川線(牛津町巡回バス)	牛津町の砥川地区における巡回バスの運行		A	C			
	小城市 天満町・芦刈町線(牛津町巡回バス)	牛津町の日満町地区及び芦刈町の一部(北部)における巡回バスの運行		A	C			
	小城市 広域線(広域循環バス)	市内の主要公共施設等を回る循環バスの運行		A	C			
	小城市 あしま〜る線 (芦刈町乗合タクシー)	芦刈町の南部地区における乗合タクシーの運行		A	A			
	小城市 やまびこ線 (小城市やまびこタクシー)	小城市巡回バスの運行エリアではない中山間地区における乗合タクシーの運行		A	A			
	小城市 江里山・石休線 (小城市やまびこタクシー)	小城市巡回バスの運行エリアではない中山間地区における乗合タクシーの運行		A	A			

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日

九州運輸局

評価対象事業名: 地上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考		
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果			
神崎市地域公共交通活性化協議会	㈱ジョイックス交通	(1) 北部コース西 神埼駅を起終点とし尾崎等を経由する	市HPや市報等における広報活動によるバス利用の周知活動や定期的な利用促進のための乗車回数券販売増加の取り組みとして事業者による利用者への声かけや積極的なコミュニケーション等を実施した。	A	B	これまでの利用実績や利用者アンケートを基に協議会で議論を行い、運行形態の再編に取り組んだものの、巡回バス全体の1運行当たりの利用者数について目標を達成できなかった。 上記を踏まえ、既存バス路線の維持・確保を図るとともに、利用促進に向けた情報発信等に引き続き努めることとした。	評価の指標は巡回バス各ルートの1運行あたり利用者数。 新型コロナウイルス感染症の影響等により目標未達成であるものの、R4年度事業より巡回バスの再編(エリア分け・コース細分化)実施により利便性向上を図り、様々な利用促進策を講じられたことを評価します。 利用状況の実態やニーズの把握利用者の実態を把握し、利用促進の議論を進められることを期待します。			
		(1) 北部コース東 神埼駅を起終点とし馬郡等を経由する								
		(1) 中部コース西 神埼駅を起終点とし姉川等を経由する								
		(1) 中部コース東 神埼駅を起終点とし駅ヶ里等を経由する								
		(1) 南部コース西 千代田支所～ジョイックス営業所を起終点とし柴尾等を経由する								
神崎市地域公共交通活性化協議会	㈱ジョイックス交通	(1) 南部コース東 千代田支所～ジョイックス営業所を起終点とし仲田町等を経由する	市HPや市報等における広報活動によるバス利用の周知活動や定期的な利用促進のための乗車回数券販売増加の取り組みとして事業者による利用者への声かけや積極的なコミュニケーション等を実施した。	A	B	これまでの利用実績や利用者アンケートを基に協議会で議論を行い、運行形態の再編に取り組んだものの、巡回バス全体の1運行当たりの利用者数について目標を達成できなかった。 上記を踏まえ、既存バス路線の維持・確保を図るとともに、利用促進に向けた情報発信等に引き続き努めることとした。				
		(1) 神埼～千代田線 神埼駅～千代田支所を起終点とし詫田バス停等を経由する 13.8km								
		(1) 北部デマンド 神崎市神埼町内を区域とする					新規路線	A	A	評価の指標は稼働率。 R4年度事業からの巡回バス再編に伴い予約型乗合タクシーを導入し、公共交通の利便性向上に取り組まれ、目標を達成されたことを評価します。 引き続き利用者のニーズや利用実態を把握した上で、継続的な利用促進の取組と協議を進められることを期待します。
		(1) 中部デマンド 神崎市神埼町、千代田町内を区域とする					新規路線	A	A	
(1) 南部デマンド 神崎市神埼町、千代田町内を区域とする	新規路線	A	A							

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日

九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
鹿島市地域公共交通活性化協議会	祐徳自動車線 市内循環バス	市内循環バスの運行	令和4年度においても計画どおりの運行を実施した。運行内容等については、地区回覧、市報、市ホームページなどにおいて広報活動を随時行い、合わせて利用促進や利用へのきっかけ作りのために無料運行イベントを実施した。	A	A	利用者のニーズ等を適切に把握し、運行内容の見直しについて必要に応じ実施していく。また、他路線との乗継PRや学生・高齢者・障がい者・運転免許証自主返納者を対象とする無料運行イベント等を継続的に実施することで、新たな利用者の発掘を行い、更なる利用者増加に繋げる。	評価の指標は1便あたりの利用者数。広報活動の随時実施や無料運行イベント等の使用促進策にも取り組み、目標を達成されたことを評価します。引き続き利用者ニーズや利用実態を把握し、さらなる利用促進に努められ持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。	
	南再耕庵タクシー 高津原のりあいタクシー	高津原のりあいタクシーの運行	令和4年度においても計画どおりの運行を実施した。運行内容等については、地区回覧、市報、市ホームページなどにおいて広報活動を随時行い、合わせて利用促進や利用へのきっかけ作りのために無料運行イベントを実施した。	A	A	利用者のニーズ等を適切に把握し、運行内容の見直しについて必要に応じ実施していく。また、他路線との乗継PRや学生・高齢者・障がい者・運転免許証自主返納者を対象とする無料運行イベント等を継続的に実施することで、新たな利用者の発掘を行い、更なる利用者増加に繋げる。		
	南再耕庵タクシー 予約型のりあいタクシー	予約型のりあいタクシー(能古見線)の運行	令和4年度においても計画どおりの運行を実施した。運行内容等については、地区回覧、市報、市ホームページにおいて広報活動を随時行い、合わせて利用促進や利用へのきっかけ作りのために無料運行イベントを実施した。無料運行イベントに合わせ、予約型のりあいタクシー登録者へ運行内容をまとめたパンフレットやイベントチラシのDMを郵送し、再周知を図った。	A	B	利用者のニーズ等を適切に把握し運行内容の見直しについて必要に応じ実施していく。また、他路線との乗継PRや無料運行イベント等の実施、対象地域への登録・利用方法の事前講座を実施することで、新たな登録者を発掘するため周知活動の強化を行い、利用者増に繋げる。	評価の指標は稼働率。広報活動の随時実施や無料運行イベント等の使用促進策にも取り組まれていることを評価します。利用者増の取組強化に加え、利便性向上と運営の効率化のため、令和4年3月に策定した地域公共交通計画に基づき利用者ニーズの適切な把握に留意しながら運行エリアの拡大やAI活用の検討を進められることを期待します。	
	南再耕庵タクシー 予約型のりあいタクシー	予約型のりあいタクシー(北鹿島線)の運行	令和4年度においても計画どおりの運行を実施した。運行内容等については、地区回覧、市報、市ホームページにおいて広報活動を随時行い、合わせて利用促進や利用へのきっかけ作りのために無料運行イベントを実施した。無料運行イベントに合わせ、予約型のりあいタクシー登録者へ運行内容をまとめたパンフレットやイベントチラシのDMを郵送し、再周知を図った。	A	B	利用者のニーズ等を適切に把握し運行内容の見直しについて必要に応じ実施していく。また、他路線との乗継PRや無料運行イベント等の実施、対象地域への登録・利用方法の事前講座を実施することで、新たな登録者を発掘するため周知活動の強化を行い、利用者増に繋げる。		
	南再耕庵タクシー 予約型のりあいタクシー	予約型のりあいタクシー(古枝線)の運行	令和4年度においても計画どおりの運行を実施した。運行内容等については、地区回覧、市報、市ホームページにおいて広報活動を随時行い、合わせて利用促進や利用へのきっかけ作りのために無料運行イベントを実施した。無料運行イベントに合わせ、予約型のりあいタクシー登録者へ運行内容をまとめたパンフレットやイベントチラシのDMを郵送し、再周知を図った。	A	B	利用者のニーズ等を適切に把握し運行内容の見直しについて必要に応じ実施していく。また、他路線との乗継PRや無料運行イベント等の実施、対象地域への登録・利用方法の事前講座を実施することで、新たな登録者を発掘するため周知活動の強化を行い、利用者増に繋げる。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名: 地上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
みやき町地域公共交通確保維持改善協議会	㈱鳥栖構内タクシー	<p>〈みやき中央線〉 大島病院～斎藤整形外科の運行</p> <p>〈三根東線〉 斎藤整形外科～土井外公民館～坂口公民館～斎藤整形外科の循環運行</p> <p>〈中原線〉 大島病院～板部～香田～大島病院の循環運行</p> <p>〈三根西線〉 斎藤整形外科～三根庁舎前～梅野医院前～斎藤整形外科の循環運行</p> <p>〈北茂安線〉 大島病院～豆津～みやき庁舎～大島病院の循環運行</p>	町内の公共施設等に、路線図及び時刻表を配布し、周知を図った。	A	B	<p>町の主要施設を結ぶみやき中央線が最も利用者が大きいため、今後も中央線をメインとした形態で利用者の増加を図っていききたい。</p> <p>また、北茂安線については、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた中で、前年度と比較し、利用者が増加となっているため、新型コロナウイルス感染症対策を行った上で、継続して利用周知を図っていききたい。</p> <p>三根西線については、1日の平均利用者が2人を割り込んでいるため、集中的な対策が求められる路線ということが判明したため、今後特に利用周知を図っていききたい。</p> <p>中原線、三根東線については、減少傾向にあるため、新型コロナウイルス感染症対策を行った上で、継続して利用周知を図っていききたい。</p> <p>現在、コミュニティバスを運行して10年が経過しているため、利用者や住民の意見等をもとに、再編等も視野に入れて、検討していく。</p>	<p>評価の指標は一般利用者数。</p> <p>5路線全体としては利用者数が前年度をやや下回ったものの、利用者増加となった路線もあるため、増減要因の分析を踏まえ今後の利用促進策を検討願います。</p> <p>令和5年4月に策定する地域公共交通計画に基づく再編の検討にあたっては、地域との対話等により適切に利用者ニーズを把握するようお願いいたします。より柔軟で利便性の高い公共交通の利用促進に取り組み、利用者増につながることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名: 地上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
伊万里市民と考える地域交通会議	西肥自動車線	●バス名 いまりんバス郊外線 ●系統名 ①牧島～立花線 ②臨田～古賀線 ③屋敷野～南ヶ丘線 ※各線(コース)週2日、1日4回(循環)運行	・市内の病院、店舗や公共施設への時刻表の設置、市ホームページへの掲載により情報提供を行い、公共交通に対する認知向上と利用促進に取り組んだ。	A	C	・①～③いずれの系統も市街地と住宅地を結ぶ路線であることから、今後も運行経路等の周知による利用促進を継続する。	評価の指標は系統ごとの一般利用者数。系統ごとに道路事情に合わせた車両を使用するなど利用者ニーズを捉え利便性を高めながら、継続的に利用促進に取り組まれていることを評価します。 令和4年度事業より、運行便数の充実やダイヤ・路線変更によりさらなる利便性の向上を図られていますので、利用状況の分析とともにさらなる利用促進を図られ、目標が達成されることを期待します。	
	特定非営利活動法人 まちづくり波多津	●バス名 波多津ふれあい号 ●系統名 ①循環線A ②循環線B ※月～土、1日5回運行 ③波多津小下校便 ※登校日、1日1回運行	R3.10から、運行区域を2分割隔日運行とし、運行便数を充実させることで利便性向上を図っていることから、区長会を通じて運行実績の報告を行うなどして、地区単位や老人会等での利用呼びかけを依頼した。	A	B	・R3.10から、運行区域を2分割隔日運行とし、運行便数を充実させることで利便性向上を図っていることから、利便性向上に係るPRを通じてさらに積極利用を呼び掛けている。		
	大川町コミュニティ 運営協議会	●バス名 コミュニティすこやかバス ●系統名 ①Aコース ※月～金、1日1回運行 ②Bコース ※月～金、1日2回運行 ③短絡Bコース ※月～金、1日1回運行	・R3.10から一部ダイヤ改正と路線変更を行い利便性向上を図っており区長会を通じて運行実績の報告を行うなどして、地区単位や老人会等での利用呼びかけを依頼した。	A	B	・R3.10から一部ダイヤ改正と路線変更を行い利便性向上を図っており、利便性向上に係るPRを通じて積極利用を呼び掛けている。		
	黒川町まちづくり運営協議会	●バス名 町内巡回バスくろがわ号 ●系統名 ①黒川循環線1便 ※月～金、1日1回運行 ②黒川循環線2、3便 ※月～金、1日2回運行 ③中心部線1便 ※月～金、1日1回運行 ④中心部線2便 ※月～金、1日1回運行	区長会を通じて運行実績の報告を行うなどして、地区単位や老人会等での利用呼びかけを依頼した。	A	B	・区長会等への利用実績報告を通じ、地区住民への周知を行う。		
	西肥亀の井タクシー線	●名称 松浦町デマンドタクシー ●系統名 ①市街地 1日6便 ②黒川駅前便 1日4便 ③金石原駅 1日5便 ※運行日:月・水・金 ※運行形態:予約制乗合タクシー	区長会を通じて運行実績の報告を行うなどして、地区単位や老人会等での利用呼びかけを依頼した。	A	C	・区長会等への利用実績報告を通じ、地区住民への周知を行う。		
	西肥亀の井タクシー線	●名称 二里町デマンドタクシー ●系統名 ①伊万里駅 1日5便 ②共立病院 1日2便 ③金武乗継 1日5便 ※運行日:月・水・金 ※運行形態:予約制乗合タクシー	区長会を通じて運行実績の報告を行うなどして、地区単位や老人会等での利用呼びかけを依頼した。	A	C	・区長会等への利用実績報告を通じ、地区住民への周知を行う。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
佐賀市地域公共交通会議	㈱松原タクシー	・大和町松梅地区デマンドタクシーの運行 ・富士町コミュニティバスの運行 ・三瀬地区コミュニティバスの運行	(松梅)利用者数の増加を図るべく、自治会を通じて「べんりカー松梅号だより」を全戸配布し、利用を呼びかけた。 (富士)地域の実情に応じた運行のため、中学校の冬時間に合わせたダイヤ改正を行い、利便性を向上させた。協議の内容は、「検討会議だより」を全戸配布して周知し、利用を呼び掛けた。 また、バス待合環境改善のため、ベンチを設置した。 (三瀬)利用者数の増加を図るべく、自治会を通じて「三瀬地区コミュニティバスだより」を全戸周知し、利用を呼びかけた。	A	B	(松梅)松梅地区デマンドタクシーだよりを全戸配布し、安心して乗車してもらえるよう、感染症対策をアピールするなど、利用者数の回復を図る。 (富士)引き続き「富士町公共交通検討会議」において、利用実績に基づいた改善案を協議する。協議の内容は、「検討会議だより」を全戸配布して周知し、利用を呼び掛ける。 (三瀬)新高校1年生向けに資料配布を行い、通学手段として村外系統の利用を呼びかけるとともに、三瀬地区コミュニティバスだよりを全戸配布し、安心して乗車してもらえるよう感染症対策をアピールするなど、利用者数の増加・回復を図る。	評価の指標は年間利用者数・利用者増のための周知のほか、ダイヤ改正、モデルコースの提案、バス待合環境改善など多岐にわたる利用促進策に取り組み、新型コロナウイルスの影響下においてもおおむね目標を達成されたことを評価します。 令和5年3月に策定予定の地域公共交通計画に基づく取組により、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。	
	㈱佐賀タクシー	・富士町コミュニティバスの運行	「検討会議だより」で利用状況を全戸に周知し、モデルコースの提案等利用促進を図った。 また、バス待合環境改善のため、ベンチを設置した。	A	A	引き続き「富士町公共交通検討会議」において、利用実績に基づいた改善案を協議する。協議の内容は、「検討会議だより」を全戸配布して周知し、利用を呼び掛ける。		
	中央タクシー㈱	・富士町コミュニティバスの運行	「検討会議だより」で利用状況を全戸に周知し、モデルコースの提案等利用促進を図った。	A	A	引き続き「富士町公共交通検討会議」において、利用実績に基づいた改善案を協議する。協議の内容は、「検討会議だより」を全戸配布して周知し、利用を呼び掛ける。		
	ロイヤル観光㈱	・富士町コミュニティバスの運行	「検討会議だより」で利用状況を全戸に周知し、モデルコースの提案等利用促進を図った。 また、バス待合環境改善のため、ベンチを設置した。	A	B	引き続き「富士町公共交通検討会議」において、利用実績に基づいた改善案を協議する。協議の内容は、「検討会議だより」を全戸配布して周知し、利用を呼び掛ける。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日

九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
多久市地域公共交通会議	多久市	東多立山線 「東多久～立山」間の運行 (多久市自家用有償運送)	令和4年3月末の改正(バス停名変更)の時刻表・路線図をHPへ掲載した。 また、新型コロナウイルス感染症の対策として、バス車内に飛沫防止フィルムを設置し、運転者・利用者が安全に利用できるよう努めた。	A	B	新型コロナウイルス感染症による外出自粛の影響が続き、目標利用者数に達しなかった。 HPへの情報の掲載やダイヤ・路線等の改正などを状況に応じて随時検討し、利用者にとって便利なバスを目指すとともに、利用者の増加に努める。	評価の指標は1日の平均利用者数 継続的な利用促進、利便性向上の取組により、ふれあいバス3路線のいずれも市民の移動手段として定着しており、令和4年度は目標未達成であるものの感染症対策など安心して利用出来るよう努められたことを評価します。 令和4年3月に策定された地域公共交通計画に基づく取組が進められ、令和7年度に予定されている市民病院の移転等を見据え、最速で持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。	
	多久市	西多久納所線 「西多久～納所」間の運行 車両減価償却費等国庫補助金 (多久市自家用有償運送)	令和4年3月末の改正(バス停名変更)の時刻表・路線図をHPへ掲載した。 また、新型コロナウイルス感染症の対策として、バス車内に飛沫防止フィルムを設置し、運転者・利用者が安全に利用できるよう努めた。	A	C	新型コロナウイルス感染症による外出自粛の影響が続き、目標利用者数に達しなかった。 HPへの情報の掲載やダイヤ・路線等の改正などを状況に応じて随時検討し、利用者にとって便利なバスを目指すとともに、利用者の増加に努める。		
	多久市	南多久岸川線 「南多久～岸川」間の運行 車両減価償却費等国庫補助金 (多久市自家用有償運送)	令和4年3月末の改正(バス停名変更)の時刻表・路線図をHPへ掲載した。 また、新型コロナウイルス感染症の対策として、バス車内に飛沫防止フィルムを設置し、運転者・利用者が安全に利用できるよう努めた。	A	B	新型コロナウイルス感染症による外出自粛の影響が続き、目標利用者数に達しなかった。 HPへの情報の掲載やダイヤ・路線等の改正などを状況に応じて随時検討し、利用者にとって便利なバスを目指すとともに、利用者の増加に努める。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日

九州運輸局

評価対象事業名：路上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費用国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	二次評価結果	
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車線	(1)波戸岬 【呼子～名護屋浜・名護屋城～波戸岬国民宿舎】	運行情報オープンデータ化により利便性を向上した昨年に続き、R4年度はさらなる利用促進策として、佐賀県が主導のもと路線バス無料デーの開催や夏休み小学生100円キャンペーン、バスの乗り方教室を開催した。 経費削減策として省燃費運動の励行、自主路線の運行本数適正化などを実施した。	A	C	新型コロナウイルス感染症の影響による利用の減少は今後完全に回復することは考えにくく、さらには運転士不足の問題や運転士改善基準の改正対応、整備員不足による外注修繕費用の増加、燃料価格の高止まりなどバス事業を取り巻く環境は深刻なものとなっている。解決策としては地域公共交通計画に基づいた抜本的な路線網の見直し(フィーダー路線についてはモード転換がメイン)と併せ、バス利用を促すイベントやデジタルチケットの開発・普及活動など利用促進策と利便性向上策を総合的かつ積極的に進めていく必要があると考えている。	評価の指標は路線ごとの経常収支率及び輸送人員、R4年度は県主導の路線バス無料デーへの参加や夏休み小学生100円キャンペーン、バスの乗り方教室など、将来を見据えた需要拡大に取り組み、全体として前年度よりも目標達成状況が改善されたことを評価します。 今後、令和4年3月に策定された地域公共交通計画に基づき見直し(モード転換等)、バス利用促進イベントやデジタルチケットの開発・普及活動等による利用促進策等の展開や、R5.3策定予定の利便性向上策の推進により課題解決が図られ、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。	
	昭和自動車線	(2)加部島 【呼子～加部島杉村】	運行情報オープンデータ化により利便性を向上した昨年に続き、R4年度はさらなる利用促進策として、佐賀県が主導のもと路線バス無料デーの開催や夏休み小学生100円キャンペーン、バスの乗り方教室を開催した。 経費削減策として省燃費運動の励行、自主路線の運行本数適正化などを実施した。	A	B	新型コロナウイルス感染症の影響による利用の減少は今後完全に回復することは考えにくく、さらには運転士不足の問題や運転士改善基準の改正対応、整備員不足による外注修繕費用の増加、燃料価格の高止まりなどバス事業を取り巻く環境は深刻なものとなっている。解決策としては地域公共交通計画に基づいた抜本的な路線網の見直し(フィーダー路線についてはモード転換がメイン)と併せ、バス利用を促すイベントやデジタルチケットの開発・普及活動など利用促進策と利便性向上策を総合的かつ積極的に進めていく必要があると考えている。		
	昭和自動車線	(3)呼子台場 【呼子～呼子台場みなとプラザ】	運行情報オープンデータ化により利便性を向上した昨年に続き、R4年度はさらなる利用促進策として、佐賀県が主導のもと路線バス無料デーの開催や夏休み小学生100円キャンペーン、バスの乗り方教室を開催した。 経費削減策として省燃費運動の励行、自主路線の運行本数適正化などを実施した。	A	B	新型コロナウイルス感染症の影響による利用の減少は今後完全に回復することは考えにくく、さらには運転士不足の問題や運転士改善基準の改正対応、整備員不足による外注修繕費用の増加、燃料価格の高止まりなどバス事業を取り巻く環境は深刻なものとなっている。解決策としては地域公共交通計画に基づいた抜本的な路線網の見直し(フィーダー路線についてはモード転換がメイン)と併せ、バス利用を促すイベントやデジタルチケットの開発・普及活動など利用促進策と利便性向上策を総合的かつ積極的に進めていく必要があると考えている。		
	昭和自動車線	(4)呼子・名護屋浜 (小友・名護屋浜) 【呼子～小友・名護屋浜～呼子】	運行情報オープンデータ化により利便性を向上した昨年に続き、R4年度はさらなる利用促進策として、佐賀県が主導のもと路線バス無料デーの開催や夏休み小学生100円キャンペーン、バスの乗り方教室を開催した。 経費削減策として省燃費運動の励行、自主路線の運行本数適正化などを実施した。	A	A	新型コロナウイルス感染症の影響による利用の減少は今後完全に回復することは考えにくく、さらには運転士不足の問題や運転士改善基準の改正対応、整備員不足による外注修繕費用の増加、燃料価格の高止まりなどバス事業を取り巻く環境は深刻なものとなっている。解決策としては地域公共交通計画に基づいた抜本的な路線網の見直し(フィーダー路線についてはモード転換がメイン)と併せ、バス利用を促すイベントやデジタルチケットの開発・普及活動など利用促進策と利便性向上策を総合的かつ積極的に進めていく必要があると考えている。		
	昭和自動車線	(5)呼子・加部島 【呼子～加部島杉村～呼子】	運行情報オープンデータ化により利便性を向上した昨年に続き、R4年度はさらなる利用促進策として、佐賀県が主導のもと路線バス無料デーの開催や夏休み小学生100円キャンペーン、バスの乗り方教室を開催した。 経費削減策として省燃費運動の励行、自主路線の運行本数適正化などを実施した。	A	B	新型コロナウイルス感染症の影響による利用の減少は今後完全に回復することは考えにくく、さらには運転士不足の問題や運転士改善基準の改正対応、整備員不足による外注修繕費用の増加、燃料価格の高止まりなどバス事業を取り巻く環境は深刻なものとなっている。解決策としては地域公共交通計画に基づいた抜本的な路線網の見直し(フィーダー路線についてはモード転換がメイン)と併せ、バス利用を促すイベントやデジタルチケットの開発・普及活動など利用促進策と利便性向上策を総合的かつ積極的に進めていく必要があると考えている。		
	昭和自動車線	(6)呼子・波戸岬 【呼子～名護屋城址～波戸岬国民宿舎】	運行情報オープンデータ化により利便性を向上した昨年に続き、R4年度はさらなる利用促進策として、佐賀県が主導のもと路線バス無料デーの開催や夏休み小学生100円キャンペーン、バスの乗り方教室を開催した。 経費削減策として省燃費運動の励行、自主路線の運行本数適正化などを実施した。	A	A	新型コロナウイルス感染症の影響による利用の減少は今後完全に回復することは考えにくく、さらには運転士不足の問題や運転士改善基準の改正対応、整備員不足による外注修繕費用の増加、燃料価格の高止まりなどバス事業を取り巻く環境は深刻なものとなっている。解決策としては地域公共交通計画に基づいた抜本的な路線網の見直し(フィーダー路線についてはモード転換がメイン)と併せ、バス利用を促すイベントやデジタルチケットの開発・普及活動など利用促進策と利便性向上策を総合的かつ積極的に進めていく必要があると考えている。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名: 路上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車線	(7)星賀 【入野～星賀】	運行情報オープンデータ化により利便性を向上した昨年に続き、R4年度はさらなる利用促進策として、佐賀県が主導のもと路線バス無料デーの開催や夏休み小学生100円キャンペーン、バスの乗り方教室を開催した。 経費削減策として省燃費運動の励行、自主路線の運行本数適正化などを実施した。	A	B	新型コロナウイルス感染症の影響による利用の減少は今後完全に回復することは考えにくく、さらには運転士不足の問題や運転士改善基準の改正対応、整備員不足による外注修繕費用の増加、燃料価格の高止まりなどバス事業を取り巻く環境は深刻なものとなっている。解決策としては地域公共交通計画に基づいた抜本的な路線網の見直し(フィーダー路線についてはモード転換がメイン)と併せ、バス利用を促すイベントやデジタルチケットの開発・普及活動など利用促進策と利便性向上策を総合的かつ積極的に進めていく必要があると考えている。		
	昭和自動車線	(8)納所 【入野～納所】	運行情報オープンデータ化により利便性を向上した昨年に続き、R4年度はさらなる利用促進策として、佐賀県が主導のもと路線バス無料デーの開催や夏休み小学生100円キャンペーン、バスの乗り方教室を開催した。 経費削減策として省燃費運動の励行、自主路線の運行本数適正化などを実施した。	A	A	新型コロナウイルス感染症の影響による利用の減少は今後完全に回復することは考えにくく、さらには運転士不足の問題や運転士改善基準の改正対応、整備員不足による外注修繕費用の増加、燃料価格の高止まりなどバス事業を取り巻く環境は深刻なものとなっている。解決策としては地域公共交通計画に基づいた抜本的な路線網の見直し(フィーダー路線についてはモード転換がメイン)と併せ、バス利用を促すイベントやデジタルチケットの開発・普及活動など利用促進策と利便性向上策を総合的かつ積極的に進めていく必要があると考えている。		
	昭和自動車線	(9)高串 【入野～高串】	運行情報オープンデータ化により利便性を向上した昨年に続き、R4年度はさらなる利用促進策として、佐賀県が主導のもと路線バス無料デーの開催や夏休み小学生100円キャンペーン、バスの乗り方教室を開催した。 経費削減策として省燃費運動の励行、自主路線の運行本数適正化などを実施した。	A	A	新型コロナウイルス感染症の影響による利用の減少は今後完全に回復することは考えにくく、さらには運転士不足の問題や運転士改善基準の改正対応、整備員不足による外注修繕費用の増加、燃料価格の高止まりなどバス事業を取り巻く環境は深刻なものとなっている。解決策としては地域公共交通計画に基づいた抜本的な路線網の見直し(フィーダー路線についてはモード転換がメイン)と併せ、バス利用を促すイベントやデジタルチケットの開発・普及活動など利用促進策と利便性向上策を総合的かつ積極的に進めていく必要があると考えている。		
	昭和自動車線	(10)京泊・納所(ジャンボ)(火・木・土) 【京泊～納所・入野～高串福祉センター前】	運行情報オープンデータ化により利便性を向上した昨年に続き、R4年度はさらなる利用促進策として、佐賀県が主導のもと路線バス無料デーの開催や夏休み小学生100円キャンペーン、バスの乗り方教室を開催した。 経費削減策として省燃費運動の励行、自主路線の運行本数適正化などを実施した。	A	A	新型コロナウイルス感染症の影響による利用の減少は今後完全に回復することは考えにくく、さらには運転士不足の問題や運転士改善基準の改正対応、整備員不足による外注修繕費用の増加、燃料価格の高止まりなどバス事業を取り巻く環境は深刻なものとなっている。解決策としては地域公共交通計画に基づいた抜本的な路線網の見直し(フィーダー路線についてはモード転換がメイン)と併せ、バス利用を促すイベントやデジタルチケットの開発・普及活動など利用促進策と利便性向上策を総合的かつ積極的に進めていく必要があると考えている。		
	昭和自動車線	(11)瓜ヶ坂・高串(ジャンボ)(火・木・土) 【入野～高串福祉センター前～黒崎】	運行情報オープンデータ化により利便性を向上した昨年に続き、R4年度はさらなる利用促進策として、佐賀県が主導のもと路線バス無料デーの開催や夏休み小学生100円キャンペーン、バスの乗り方教室を開催した。 経費削減策として省燃費運動の励行、自主路線の運行本数適正化などを実施した。	A	A	新型コロナウイルス感染症の影響による利用の減少は今後完全に回復することは考えにくく、さらには運転士不足の問題や運転士改善基準の改正対応、整備員不足による外注修繕費用の増加、燃料価格の高止まりなどバス事業を取り巻く環境は深刻なものとなっている。解決策としては地域公共交通計画に基づいた抜本的な路線網の見直し(フィーダー路線についてはモード転換がメイン)と併せ、バス利用を促すイベントやデジタルチケットの開発・普及活動など利用促進策と利便性向上策を総合的かつ積極的に進めていく必要があると考えている。		
	昭和自動車線	(12)駄竹・星賀(ジャンボ)(月・水・金) 【駄竹～星賀～入野】	運行情報オープンデータ化により利便性を向上した昨年に続き、R4年度はさらなる利用促進策として、佐賀県が主導のもと路線バス無料デーの開催や夏休み小学生100円キャンペーン、バスの乗り方教室を開催した。 経費削減策として省燃費運動の励行、自主路線の運行本数適正化などを実施した。	A	A	新型コロナウイルス感染症の影響による利用の減少は今後完全に回復することは考えにくく、さらには運転士不足の問題や運転士改善基準の改正対応、整備員不足による外注修繕費用の増加、燃料価格の高止まりなどバス事業を取り巻く環境は深刻なものとなっている。解決策としては地域公共交通計画に基づいた抜本的な路線網の見直し(フィーダー路線についてはモード転換がメイン)と併せ、バス利用を促すイベントやデジタルチケットの開発・普及活動など利用促進策と利便性向上策を総合的かつ積極的に進めていく必要があると考えている。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名: 路上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における	備考	
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点		二次評価結果
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車線	(13)市内東 【唐津駅～シーサイド前～唐津駅】	運行情報オープンデータ化により利便性を向上した昨年に続き、R4年度はさらなる利用促進策として、佐賀県が主導のもと路線バス無料デーの開催や夏休み小学生100円キャンペーン、バスの乗り方教室を開催した。 経費削減策として省燃費運動の励行、自主路線の運行本数適正化などを実施した。	A	A	新型コロナウイルス感染症の影響による利用の減少は今後完全に回復することは考えにくく、さらには運転士不足の問題や運転士改善基準の改正対応、整備員不足による外注修繕費用の増加、燃料価格の高止まりなどバス事業を取り巻く環境は深刻なものとなっている。解決策としては地域公共交通計画に基づいた抜本的な路線網の見直し(フィーダー路線についてはモード転換がメイン)と併せ、バス利用を促すイベントやデジタルチケットの開発・普及活動など利用促進策と利便性向上策を総合的かつ積極的に進めていく必要があると考えている。		
	昭和自動車線	(14)市内西 【大手口～りふれ・済生会病院前～唐津駅】	運行情報オープンデータ化により利便性を向上した昨年に続き、R4年度はさらなる利用促進策として、佐賀県が主導のもと路線バス無料デーの開催や夏休み小学生100円キャンペーン、バスの乗り方教室を開催した。 経費削減策として省燃費運動の励行、自主路線の運行本数適正化などを実施した。	A	C	新型コロナウイルス感染症の影響による利用の減少は今後完全に回復することは考えにくく、さらには運転士不足の問題や運転士改善基準の改正対応、整備員不足による外注修繕費用の増加、燃料価格の高止まりなどバス事業を取り巻く環境は深刻なものとなっている。解決策としては地域公共交通計画に基づいた抜本的な路線網の見直し(フィーダー路線についてはモード転換がメイン)と併せ、バス利用を促すイベントやデジタルチケットの開発・普及活動など利用促進策と利便性向上策を総合的かつ積極的に進めていく必要があると考えている。		
	昭和自動車線	(15)市内南 【大手口～唐津赤十字病院前～唐津駅】	運行情報オープンデータ化により利便性を向上した昨年に続き、R4年度はさらなる利用促進策として、佐賀県が主導のもと路線バス無料デーの開催や夏休み小学生100円キャンペーン、バスの乗り方教室を開催した。 経費削減策として省燃費運動の励行、自主路線の運行本数適正化などを実施した。	A	C	新型コロナウイルス感染症の影響による利用の減少は今後完全に回復することは考えにくく、さらには運転士不足の問題や運転士改善基準の改正対応、整備員不足による外注修繕費用の増加、燃料価格の高止まりなどバス事業を取り巻く環境は深刻なものとなっている。解決策としては地域公共交通計画に基づいた抜本的な路線網の見直し(フィーダー路線についてはモード転換がメイン)と併せ、バス利用を促すイベントやデジタルチケットの開発・普及活動など利用促進策と利便性向上策を総合的かつ積極的に進めていく必要があると考えている。		
	昭和自動車線	(16)市内南 (赤十字病院線) 【大手口～唐津駅・アルビノ～唐津赤十字病院】	運行情報オープンデータ化により利便性を向上した昨年に続き、R4年度はさらなる利用促進策として、佐賀県が主導のもと路線バス無料デーの開催や夏休み小学生100円キャンペーン、バスの乗り方教室を開催した。 経費削減策として省燃費運動の励行、自主路線の運行本数適正化などを実施した。	A	B	新型コロナウイルス感染症の影響による利用の減少は今後完全に回復することは考えにくく、さらには運転士不足の問題や運転士改善基準の改正対応、整備員不足による外注修繕費用の増加、燃料価格の高止まりなどバス事業を取り巻く環境は深刻なものとなっている。解決策としては地域公共交通計画に基づいた抜本的な路線網の見直し(フィーダー路線についてはモード転換がメイン)と併せ、バス利用を促すイベントやデジタルチケットの開発・普及活動など利用促進策と利便性向上策を総合的かつ積極的に進めていく必要があると考えている。		
	昭和自動車線	(17)イオン 【大手口～用尺南～イオン前】	運行情報オープンデータ化により利便性を向上した昨年に続き、R4年度はさらなる利用促進策として、佐賀県が主導のもと路線バス無料デーの開催や夏休み小学生100円キャンペーン、バスの乗り方教室を開催した。 経費削減策として省燃費運動の励行、自主路線の運行本数適正化などを実施した。	A	B	新型コロナウイルス感染症の影響による利用の減少は今後完全に回復することは考えにくく、さらには運転士不足の問題や運転士改善基準の改正対応、整備員不足による外注修繕費用の増加、燃料価格の高止まりなどバス事業を取り巻く環境は深刻なものとなっている。解決策としては地域公共交通計画に基づいた抜本的な路線網の見直し(フィーダー路線についてはモード転換がメイン)と併せ、バス利用を促すイベントやデジタルチケットの開発・普及活動など利用促進策と利便性向上策を総合的かつ積極的に進めていく必要があると考えている。		
	昭和自動車線	(18)市内 (大手口～大島液化ガス) 【大手口～まいづるCARROT店～大島液化ガス】	運行情報オープンデータ化により利便性を向上した昨年に続き、R4年度はさらなる利用促進策として、佐賀県が主導のもと路線バス無料デーの開催や夏休み小学生100円キャンペーン、バスの乗り方教室を開催した。 経費削減策として省燃費運動の励行、自主路線の運行本数適正化などを実施した。	A	B	新型コロナウイルス感染症の影響による利用の減少は今後完全に回復することは考えにくく、さらには運転士不足の問題や運転士改善基準の改正対応、整備員不足による外注修繕費用の増加、燃料価格の高止まりなどバス事業を取り巻く環境は深刻なものとなっている。解決策としては地域公共交通計画に基づいた抜本的な路線網の見直し(フィーダー路線についてはモード転換がメイン)と併せ、バス利用を促すイベントやデジタルチケットの開発・普及活動など利用促進策と利便性向上策を総合的かつ積極的に進めていく必要があると考えている。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	二次評価結果	
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車線	(19)市内(大島液化ガス～用尺南～市民グラウンド) 【大島液化ガス～用尺南～市民グラウンド】	運行情報オープンデータ化により利便性を向上した昨年に続き、R4年度はさらなる利用促進策として、佐賀県が主導のもと路線バス無料デーの開催や夏休み小学生100円キャンペーン、バスの乗り方教室を開催した。 経費削減策として省燃費運動の励行、自主路線の運行本数適正化などを実施した。	A	B	新型コロナウイルス感染症の影響による利用の減少は今後完全に回復することは考えにくく、さらには運転士不足の問題や運転士改善基準の改正対応、整備員不足による外注修繕費用の増加、燃料価格の高止まりなどバス事業を取り巻く環境は深刻なものとなっている。解決策としては地域公共交通計画に基づいた抜本的な路線網の見直し(フィーダー路線についてはモード転換がメイン)と併せ、バス利用を促すイベントやデジタルチケットの開発・普及活動など利用促進策と利便性向上策を総合的かつ積極的に進めていく必要があると考えている。		
	昭和自動車線	(20)市内(大島液化ガス～百人町～市民グラウンド) 【市民グラウンド～百人町～大島液化ガス】	運行情報オープンデータ化により利便性を向上した昨年に続き、R4年度はさらなる利用促進策として、佐賀県が主導のもと路線バス無料デーの開催や夏休み小学生100円キャンペーン、バスの乗り方教室を開催した。 経費削減策として省燃費運動の励行、自主路線の運行本数適正化などを実施した。	A	B	新型コロナウイルス感染症の影響による利用の減少は今後完全に回復することは考えにくく、さらには運転士不足の問題や運転士改善基準の改正対応、整備員不足による外注修繕費用の増加、燃料価格の高止まりなどバス事業を取り巻く環境は深刻なものとなっている。解決策としては地域公共交通計画に基づいた抜本的な路線網の見直し(フィーダー路線についてはモード転換がメイン)と併せ、バス利用を促すイベントやデジタルチケットの開発・普及活動など利用促進策と利便性向上策を総合的かつ積極的に進めていく必要があると考えている。		
	昭和自動車線	(21)市内(大島液化ガス～唐津東中高前) 【大島液化ガス～大手口～唐津東中高前】	運行情報オープンデータ化により利便性を向上した昨年に続き、R4年度はさらなる利用促進策として、佐賀県が主導のもと路線バス無料デーの開催や夏休み小学生100円キャンペーン、バスの乗り方教室を開催した。 経費削減策として省燃費運動の励行、自主路線の運行本数適正化などを実施した。	A	A	新型コロナウイルス感染症の影響による利用の減少は今後完全に回復することは考えにくく、さらには運転士不足の問題や運転士改善基準の改正対応、整備員不足による外注修繕費用の増加、燃料価格の高止まりなどバス事業を取り巻く環境は深刻なものとなっている。解決策としては地域公共交通計画に基づいた抜本的な路線網の見直し(フィーダー路線についてはモード転換がメイン)と併せ、バス利用を促すイベントやデジタルチケットの開発・普及活動など利用促進策と利便性向上策を総合的かつ積極的に進めていく必要があると考えている。		
	昭和自動車線	(22)市内(唐津フェリーターミナル～大手口) 【唐津フェリーターミナル～西唐津駅前～大手口】	運行情報オープンデータ化により利便性を向上した昨年に続き、R4年度はさらなる利用促進策として、佐賀県が主導のもと路線バス無料デーの開催や夏休み小学生100円キャンペーン、バスの乗り方教室を開催した。 経費削減策として省燃費運動の励行、自主路線の運行本数適正化などを実施した。	A	A	新型コロナウイルス感染症の影響による利用の減少は今後完全に回復することは考えにくく、さらには運転士不足の問題や運転士改善基準の改正対応、整備員不足による外注修繕費用の増加、燃料価格の高止まりなどバス事業を取り巻く環境は深刻なものとなっている。解決策としては地域公共交通計画に基づいた抜本的な路線網の見直し(フィーダー路線についてはモード転換がメイン)と併せ、バス利用を促すイベントやデジタルチケットの開発・普及活動など利用促進策と利便性向上策を総合的かつ積極的に進めていく必要があると考えている。		
	昭和自動車線	(23)志気(市民病院きたはた～志気) 【市民病院きたはた～志気】	運行情報オープンデータ化により利便性を向上した昨年に続き、R4年度はさらなる利用促進策として、佐賀県が主導のもと路線バス無料デーの開催や夏休み小学生100円キャンペーン、バスの乗り方教室を開催した。 経費削減策として省燃費運動の励行、自主路線の運行本数適正化などを実施した。	A	A	新型コロナウイルス感染症の影響による利用の減少は今後完全に回復することは考えにくく、さらには運転士不足の問題や運転士改善基準の改正対応、整備員不足による外注修繕費用の増加、燃料価格の高止まりなどバス事業を取り巻く環境は深刻なものとなっている。解決策としては地域公共交通計画に基づいた抜本的な路線網の見直し(フィーダー路線についてはモード転換がメイン)と併せ、バス利用を促すイベントやデジタルチケットの開発・普及活動など利用促進策と利便性向上策を総合的かつ積極的に進めていく必要があると考えている。		
	昭和自動車線	(24)成瀬(市民病院きたはた～成瀬) 【市民病院きたはた～成瀬上】	運行情報オープンデータ化により利便性を向上した昨年に続き、R4年度はさらなる利用促進策として、佐賀県が主導のもと路線バス無料デーの開催や夏休み小学生100円キャンペーン、バスの乗り方教室を開催した。 経費削減策として省燃費運動の励行、自主路線の運行本数適正化などを実施した。	A	A	新型コロナウイルス感染症の影響による利用の減少は今後完全に回復することは考えにくく、さらには運転士不足の問題や運転士改善基準の改正対応、整備員不足による外注修繕費用の増加、燃料価格の高止まりなどバス事業を取り巻く環境は深刻なものとなっている。解決策としては地域公共交通計画に基づいた抜本的な路線網の見直し(フィーダー路線についてはモード転換がメイン)と併せ、バス利用を促すイベントやデジタルチケットの開発・普及活動など利用促進策と利便性向上策を総合的かつ積極的に進めていく必要があると考えている。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名: 路上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考	
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点		評価結果
基山町地域公共交通活性化協議会	〔南基山タクシー〕	【1号車】基山駅～けやき台～高島団地～憩の家～基山駅系統(4便)	1号車の車両を小型化し、経費の削減を行った。(昨年度より約450万円の削減) ・令和3年10月より、要望の多かった総合公園内駐車場にバス停を設置し、2号車本線線を1便増便し、利便性の向上に努めた。 ・広報やホームページ、コミバス便利帳の全戸配布等により免許証自主返納者の運賃無料化や、フリーバスの販売等の制度周知を図るとともに、無料お試し乗車券の配布を行い利用促進を図った。	A	A	令和4年度の目標値は1日の平均利用者数を82人/日としていたが、実績値としては1日の平均利用者数は85人であり、目標を達成することができた。 本線線の増便や、総合公園内駐車場のバス停の新設の影響により2号車の1日の利用人数は昨年比で増加した。 2号車の利用人数 R3:31人/日→R4:36人/日 総合公園内駐車場の半年間の利用者は (R3.10～R4.3)190人となっている。 新型コロナウイルス感染症の為に控えていた乗り込み調査を再開し、利用者の生の声を聞いてさらに利便性向上に努める。 併せて、福祉課と連携しコミバス乗車体験会や意見交換会を行うことで、コミバス未利用者の意見を聞き、利用促進につなげる。	評価の指標は利用者数(収支率にも注視) 住民要望を踏まえたバス停の設置や増便等による利便性向上、車両の小型化による経費削減に取り組み、目標を達成されたことを評価します。 利用者ニーズの把握や利用促進策の実施により、さらなる利用者の獲得につなげられ、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。	
	〔南基山タクシー〕	【1号車】基山駅～けやき台～高島団地～基山駅系統(1、2便)						
	〔南基山タクシー〕	【1号車】基山駅～けやき台～高島団地～やよいがおか～憩の家～基山駅系統(3便)						
	〔南基山タクシー〕	【1号車】基山駅～けやき台～高島団地～やよいがおか～憩の家～基山駅系統(6、8便)						
	〔南基山タクシー〕	【1号車】基山駅～けやき台～高島団地～やよいがおか～憩の家～基山駅系統(7、9、10便)						
	〔南基山タクシー〕	【1号車】基山駅～けやき台～高島団地～やよいがおか～基山駅系統(5便)						
	〔南基山タクシー〕	【2号車】月水金1便(園部通学便～長野～宮浦～中心部～本桜～園部～中心部)						
	〔南基山タクシー〕	【2号車】月水金2便(宮浦～本桜～園部～本桜～長野～宮浦)						
	〔南基山タクシー〕	【2号車】月水金3便(本桜～長野～中心部～本桜～園部)						
	〔南基山タクシー〕	【2号車】月水金4便(中心部～本桜～長野～中心部～宮浦～園部)						
	〔南基山タクシー〕	【2号車】火木土1便(園部通学～長野～宮浦～中心部～本桜～園部～中心部)						
	〔南基山タクシー〕	【2号車】火木土2便(長野～本桜～園部～宮浦～本桜)						
〔南基山タクシー〕	【2号車】火木土3便(長野～本桜～園部～中心部～本桜～宮浦)							
〔南基山タクシー〕	【2号車】火木土4便(中心部～本桜～園部～中心部～宮浦～長野)							

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名: 路上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フリーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
有田町地域公共交通会議	(有)有田タクシー 西肥亀の井タクシー様	有田町曲川・大山地区における区域運行 登録者住宅～有田町役場等間を1日6便運行	制度定着に向けて広報、周知に取り組み、利用促進を図った。	A	B	(目標) 年間利用者数5,200人以上 (実績)4,912人 (効果)高齢者等の日常生活に必要な不可欠な移動手段が確保された。新型コロナウイルスの影響は未だあるものの、前年に比べ利用者が増加している。しかし目標年間利用者数に届かなかった。 利用者登録数が増加傾向にある。友人に勧められたことがきっかけで利用登録に来庁する高齢者が目立つことから、高齢者サロン等での周知を強化していきたい。	評価の指標は年間利用者数 利用促進のための周知に取り組み、前年度よりも利用者数が増加し、町民の移動手段として定着が図られていることを評価します。 登録者数増加の要因分析結果も踏まえた利用促進の取組とともに、令和5年3月に策定予定の地域公共交通計画に掲げた目標「運行効率向上」のための取組検討がなされ、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
吉野ヶ里町地域公共交通活性化協議会	吉野ヶ里観光タクシー(株)	<p>系統名: 循環線 運行区間: 吉野ヶ里町全域 運行形態: 事前登録制、予約制、乗合により、自宅と指定施設間を運行する、デマンド型乗合タクシー。8時台～16時台の1時間に1便(最大1日9便)、予約のあった場合のみ運行。 運行日: 平日 運休日: 土日祝日、年末年始(12月29日～1月3日)</p>	町広報誌や町ホームページでの周知のほか、利用ガイドの配布を実施。令和3年10月より上峰町内5施設への乗り入れ開始。	A	A	<p>【目標】 交通結節点(東目達原バス停)、JR吉野ヶ里公園駅及び広域路線バス停付近での乗降客数 令和4年度: 5.4人/日以上 (令和2年9月から令和3年5月までの平均乗降客数5.1人/日の105%) 【実績値】 6.6人/日</p> <p>新型コロナウイルス感染症蔓延に伴う行動制限等が緩和されたことと、令和3年10月より上峰町内5施設への乗り入れを開始したこと等により、利用者数は増加傾向にある。今後も、広報、周知に取り組み、町民移動ニーズを把握し、利便性の向上に努め、利用者増を図る。</p>	<p>評価の指標は交通結節点等での乗降客数 広報による周知のほか、利用ガイド配布などに努められ、乗り入れ施設の拡大など利便性向上に努められ、目標を達成されたことを評価します。 引き続き利用者のニーズや利用実態を把握した上で、令和4年3月に策定された地域公共交通計画に基づく取組により、利便性が高く最適な旅客運送サービスが提供されることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名: 路上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
太良町地域公共交通活性化協議会	榊再耕庵タクシー	多良地区:伊福・片峰線 曜日運行(月、水、金) 1日4便(2回)	沿線地区に既存バス停の必要性や位置の変更等について調査を実施。(令和4年10月)変更なし。	A	B	利用者のニーズ等を適切に把握し、路線・時刻の再編について必要に応じ実施し、目標を達成できるよう新たな利用者の発掘を行い、利用者増加につなげる。	評価指標は1日あたり乗車人数 実施アンケート結果を踏まえ、1日あたりの便数の最適化や運行時刻の見直し、バス停位置の変更を実施し利便性の向上を図られ、また、運行系統ごとに異なる目標達成度の要因分析が行われていることを評価します。 全体としては周知やバス停環境などの課題、目標を達成した運行系統においても利用の少ないバス停の存在等の課題を把握されていますので、引き続き利用者のニーズや利用実態を把握した上で、継続的な協議が進められることを期待します。 また、網形成計画を見直し、次年度に地域の公共交通のマスタープランとなる地域公共交通計画を策定され、地域交通の課題や取組、関係者の役割分担等が整理され、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。	
	榊再耕庵タクシー	多良地区:中山線 曜日運行(月、水、金) 1日4便(2回)	沿線地区に既存バス停の必要性や位置の変更等について調査を実施。(令和4年10月)変更なし。	A	B	利用者のニーズ等を適切に把握し、路線・時刻の再編について必要に応じ実施し、目標を達成できるよう新たな利用者の発掘を行い、利用者増加につなげる。		
	榊再耕庵タクシー	多良地区:端月・川北線 曜日運行(月、水、金) 1日4便(2回)	沿線地区に既存バス停の必要性や位置の変更等について調査を実施。(令和4年10月)変更なし。	A	A	利用者のニーズ等を適切に把握し、路線・時刻の再編について必要に応じ実施し、さらなる利用者増加につなげる。		
	榊再耕庵タクシー	多良地区:中尾線 曜日運行(月、水、金) 1日4便(2回)	沿線地区に既存バス停の必要性や位置の変更等について調査を実施。(令和4年10月)変更なし。 ・第4便の出発時間を25分繰り下げ、おさい館での買い物時間を確保。	A	A	利用者のニーズ等を適切に把握し、路線・時刻の再編について必要に応じ実施し、さらなる利用者増加につなげる。		
	榊再耕庵タクシー	大浦地区:広谷・多良線 曜日運行(火、木、土) 1日2便(1回)	沿線地区に既存バス停の必要性や位置の変更等について調査を実施。(令和4年10月)変更なし。	A	B	アンケートや利用者や沿線地域住民の意見を踏まえ、運行内容の改善点の把握に努め、運行便数の見直し等利用促進に係る取り組みを行う。		
	榊再耕庵タクシー	大浦地区:広谷線 曜日運行(火、木、土) ・令和4年3月31日まで 1日5便(2.5回) ・令和4年4月1日から 1日4便(2回)	沿線地区に既存バス停の必要性や位置の変更等について調査を実施。(令和4年10月)変更なし。 ・1日5便を4便に減便し、大浦駅周辺での買い物、通院等の時間を確保。	A	C	アンケートや利用者や沿線地域住民の意見を踏まえ、運行内容の改善点の把握に努め、運行時刻の見直し、住民説明の強化等利用促進に係る取り組みを行う。		
	榊再耕庵タクシー	大浦地区:道越・多良線 曜日運行(火、木、土) 1日2便(1回)	沿線地区に既存バス停の必要性や位置の変更等について調査を実施。(令和4年10月)1箇所不要。	A	C	アンケートや利用者や沿線地域住民の意見を踏まえ、運行内容の改善点の把握に努め、運行便数の見直し等利用促進に係る取り組みを行う。		
	榊再耕庵タクシー	大浦地区:道越巡回線 曜日運行(火、木、土) ・令和4年3月31日まで 1日5便(2.5回) ・令和4年4月1日から 1日4便(2回)	・沿線地区に既存バス停の必要性や位置の変更等について調査を実施。(令和4年10月)1箇所不要。 ・1日5便を4便に減便し、大浦駅周辺での買い物、通院等の時間を確保。	A	C	アンケートや利用者や沿線地域住民の意見を踏まえ、運行内容の改善点の把握に努め、運行時刻の見直し、住民説明の強化等利用促進に係る取り組みを行う。		
	榊再耕庵タクシー	大浦地区:今里・多良線 曜日運行(火、木、土) 1日2便(1回)	沿線地区に既存バス停の必要性や位置の変更等について調査を実施。(令和4年10月)変更なし。1箇所不要	A	C	アンケートや利用者や沿線地域住民の意見を踏まえ、運行内容の改善点の把握に努め、運行便数の見直し等利用促進に係る取り組みを行う。		
榊再耕庵タクシー	大浦地区:今里線 曜日運行(火、木、土) ・令和4年3月31日まで 1日5便(2.5回) ・令和4年4月1日から 1日4便(2回)	・沿線地区に既存バス停の必要性や位置の変更等について調査を実施。(令和4年10月)変更なし。1箇所不要 ・1日5便を4便に減便し、大浦駅周辺での買い物、通院等の時間を確保。	A	C	アンケートや利用者や沿線地域住民の意見を踏まえ、運行内容の改善点の把握に努め、運行時刻の見直し、住民説明の強化等利用促進に係る取り組みを行う。			

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名: 路上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
大町町地域公共交通会議	大町町	大町町コミュニティバス 「まちバス」の運行 【系統名】 南北ルート(不動寺～大町駅～トライアル) 運行回数:1日3回 曜日運行:月・木 使用車両:定員10名(客席9名、乗 務員1名) 事業主体:大町町 運行事業者:㈱大町観光タクシー	令和3年4月1日からコミュニティバス(まちバス、定時 定路線)の実証運行を開始。実証運行は9月30日まで の半年間行い、その結果を踏まえ運行計画の改善を 行い、令和3年10月から本格運行に移行。	A	C	現在、利用者がほとんどないバス停周辺住民への利用を呼びかけるとと もに、より多くの利用可能性が見込める場所へのバス停移設を検討する。 ※利用者からの要望を踏まえ、令和4年10月から大型商業施設『トライ アル』での買い物時間を長くとするよう時刻変更を行った。	評価の指標はルート別の1日あたり乗車人数及び 最寄りバス停の乗車人数 パンフレットの町内全戸配布や主要施設への配 置説明会開催など利用促進に努められ、新型コロナウイルス感染症の影響下において、各目標値の 約7～9割を達成されたことを評価します。 実証運行を経てR4年度事業からの本格運行でし たが、令和4年10月には利用者の要望を踏まえた 時刻変更等を実施されていますが、引き続き利用 者ニーズを踏まえた利便性向上に努められ、利用 が少ないバス停などの課題についても改善策が実 施されることを期待します。	
	大町町	大町町コミュニティバス 「まちバス」の運行 【系統名】 東西ルート(大町町役場～大町駅～トライアル) 運行回数:1日3回 曜日運行:火・水・金 使用車両:定員10名(客席9名、乗 務員1名) 事業主体:大町町 運行事業者:㈱大町観光タクシー	令和3年4月1日からコミュニティバス(まちバス、定時 定路線)の実証運行を開始。実証運行は9月30日まで の半年間行い、その結果を踏まえ運行計画の改善を 行い、令和3年10月から本格運行に移行。	A	C	現在、利用者がほとんどないバス停周辺住民への利用を呼びかけるとと もに、より多くの利用可能性が見込める場所へのバス停移設を検討する。 ※利用者からの要望を踏まえ、令和4年10月から大型商業施設『トライ アル』での買い物時間を長くとするよう時刻の変更と高砂公民館周辺で 一部運行区間を追加した。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日

九州運輸局

評価対象事業名：陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
長崎市地域公共交通会議	株式会社 琴海タクシー	西海町地内の運行	自治会回覧を活用し、運行内容の周知を図るとともに、自治会長との意見交換等により、地域の意見や要望の収集等に努めた。	A	A	路線バスの路線廃止に伴い学生の利用が増えているため、予約状況を注視し、実態に応じた運行内容を検討する	評価の指標は、1便当たりの利用者数。自己評価については、利用者の増加・減少の要員を分析し、そこから対応策につなげていくことを検討願います。今後も令和3年8月に策定した地域公共交通計画に基づき、トリガー方式の採用や運行形態の見直し等、持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。	
	株式会社 琴海タクシー	琴海村松町地内の運行	自治会回覧を活用し、運行内容の周知を図るとともに、自治会長との意見交換等により、地域の意見や要望の収集等に努めた。	A	B	運行内容の周知徹底を行い、積極的な事業の活用と1便あたりの乗り合い人数を増加させる手法を検討する		
	株式会社 琴海タクシー	琴海戸根町・琴海戸根原町地内の運行	自治会回覧を活用し、運行内容の周知を図るとともに、自治会長との意見交換等により、地域の意見や要望の収集等に努めた。	A	B	運行内容の周知徹底を行い、積極的な事業の活用と1便あたりの乗り合い人数を増加させる手法を検討する		
	株式会社 琴海タクシー	長浦町地内の運行	自治会回覧を活用し、運行内容の周知を図るとともに、自治会長との意見交換等により、地域の意見や要望の収集等に努めた。	A	B	運行内容の周知徹底を行い、積極的な事業の活用と1便あたりの乗り合い人数を増加させる手法を検討する		
	株式会社 琴海タクシー	琴海形上町地内の運行	自治会回覧を活用し、運行内容の周知を図るとともに、自治会長との意見交換等により、地域の意見や要望の収集等に努めた。	A	B	運行内容の周知徹底を行い、積極的な事業の活用と1便あたりの乗り合い人数を増加させる手法を検討する		
	株式会社 琴海タクシー	琴海尾戸町・琴海大平町地内の運行	自治会回覧を活用し、運行内容の周知を図るとともに、自治会長との意見交換等により、地域の意見や要望の収集等に努めた。	A	B	運行内容の周知徹底を行い、積極的な事業の活用と1便あたりの乗り合い人数を増加させる手法を検討する		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名: 路上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	
対馬市地域公共交通活性化協議会	●事業者名 厳原タクシー(南) 西北厳原タクシー ホテル対馬株 ◎系統名 権根・厳原線	権根～厳原間予約制乗合タクシーの運行	75歳以上への公共交通利用券(500円×10枚)の配布や免許返納者への優遇制度等の周知を図り利用者の増加を目指した。	A	B	対馬市が実施する75歳以上への公共交通利用券(500円×10枚)の配布や免許返納者への優遇制度等のさらなる周知を図り新たな利用者の増加を目指す。また、仲間と一緒に外出すること等、新たな外出目的を提案し、新たな利用者の増加、1運行あたりの利用者数増加につながる取組を検討する。	評価の指標は、1便当たりの利用者数。目標達成していない系統についても、定時路線から時間帯の運行へ変更するなど利便性向上の取組について評価します。また、75歳以上への公共交通利用券の配布や免許返納者への優遇制度等の利用促進を図っていることを評価します。引き続き利用者のニーズを把握した上で、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることを期待します。
	●事業者名 対馬市 ◎系統名 田ノ浜・檜滝線	田ノ浜～檜滝間コミュニティバスの運行	75歳以上への公共交通利用券(500円×10枚)の配布や免許返納者への優遇制度等の周知を図り利用者の増加を目指した。計画期間終盤に、定時運行から時間帯の運行へ変更し利用者の利便性向上を図った。	A	B	対馬市が実施する75歳以上への公共交通利用券(500円×10枚)の配布や免許返納者への優遇制度等のさらなる周知を図り新たな利用者の増加を目指す。また、診療所の受診日集約の調整などにより、1運行あたりの利用者数増加につながる取組を検討する。	
	●事業者名 対馬市 ◎系統名 田ノ浜・佐賀線	田ノ浜～佐賀間コミュニティバスの運行	75歳以上への公共交通利用券(500円×10枚)の配布や免許返納者への優遇制度等の周知を図り利用者の増加を目指した。	A	A	対馬市が実施する75歳以上への公共交通利用券(500円×10枚)の配布や免許返納者への優遇制度等のさらなる周知を図り新たな利用者の増加を目指す。	
	●事業者名 嵯美津島タクシー ◎系統名 難知・緒方線	難知～緒方間予約制乗合タクシーの運行	地域からの要望に応じ、運行時刻の変更を行った。75歳以上への公共交通利用券(500円×10枚)の配布や免許返納者への優遇制度等の周知を図り利用者の増加を目指した。	A	A	対馬市が実施する75歳以上への公共交通利用券(500円×10枚)の配布や免許返納者への優遇制度等のさらなる周知を図り新たな利用者の増加を目指す。また、仲間と一緒に外出すること等、新たな外出目的を提案し、新たな利用者の増加、1運行あたりの利用者数増加につながる取組を検討する。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
新上五島町交通ネットワーク 促進協議会	西肥自動車株式会社 ①浜串～有川線	有川～浜串間の運行	これまでに作成した交通マップ等の啓発パンフレットの利用促進のために、ニュースレターや、電子書籍化によるインターネットでの周知を行い、利用促進に努めた。	A	B	目標値を下回ったものの地域の実情把握により、更なる利用促進に努める。	評価の指標は、1往復あたりの利用者数。 自己評価については、ニュースレターや電子書籍化によるインターネットでの周知など利用促進についての取組について評価します。 利用者の減少の要因を分析し、そこから対応策につなげていくことを検討願います。 今後も利用状況の把握・分析を行うとともに、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。	
	西肥自動車株式会社 ②浜串～有川線	有川～浜串間の運行	これまでに作成した交通マップ等の啓発パンフレットの利用促進のために、ニュースレターや、電子書籍化によるインターネットでの周知を行い、利用促進に努めた。	A	B	地域の実情把握により、利用促進に努める。		
	西肥自動車株式会社 ③江の浜線1	江の浜～有川間の運行	これまでに作成した交通マップ等の啓発パンフレットの利用促進のために、ニュースレターや、電子書籍化によるインターネットでの周知を行い、利用促進に努めた。	A	B	目標値を下回ったものの地域の実情把握により、更なる利用促進に努める。		
	西肥自動車株式会社 ④江の浜線2	江の浜～有川間の運行	これまでに作成した交通マップ等の啓発パンフレットの利用促進のために、ニュースレターや、電子書籍化によるインターネットでの周知を行い、利用促進に努めた。	A	B	目標値を下回ったものの地域の実情把握により、更なる利用促進に努める。		
	西肥自動車株式会社 ⑤江の浜線3	江の浜～有川間の運行	これまでに作成した交通マップ等の啓発パンフレットの利用促進のために、ニュースレターや、電子書籍化によるインターネットでの周知を行い、利用促進に努めた。	A	B	目標値を下回ったものの地域の実情把握により、更なる利用促進に努める。		
	西肥自動車株式会社 ⑥江の浜線4	江の浜～有川間の運行	これまでに作成した交通マップ等の啓発パンフレットの利用促進のために、ニュースレターや、電子書籍化によるインターネットでの周知を行い、利用促進に努めた。	A	B	目標値を下回ったものの地域の実情把握により、更なる利用促進に努める。		
	西肥自動車株式会社 ⑦神之浦線1	鯛の浦～有川間の運行	これまでに作成した交通マップ等の啓発パンフレットの利用促進のために、ニュースレターや、電子書籍化によるインターネットでの周知を行い、利用促進に努めた。	A	B	目標値を下回ったものの地域の実情把握により、更なる利用促進に努める。		
	西肥自動車株式会社 ⑧神之浦線2	神之浦～有川間の運行	これまでに作成した交通マップ等の啓発パンフレットの利用促進のために、ニュースレターや、電子書籍化によるインターネットでの周知を行い、利用促進に努めた。	A	B	目標値を下回ったものの地域の実情把握により、更なる利用促進に努める。		
	西肥自動車株式会社 ⑨神之浦線3	神之浦～有川間の運行	これまでに作成した交通マップ等の啓発パンフレットの利用促進のために、ニュースレターや、電子書籍化によるインターネットでの周知を行い、利用促進に努めた。	A	B	目標値を下回ったものの地域の実情把握により、更なる利用促進に努める。		
	西肥自動車株式会社 ⑩神之浦線4	神之浦～有川間の運行	これまでに作成した交通マップ等の啓発パンフレットの利用促進のために、ニュースレターや、電子書籍化によるインターネットでの周知を行い、利用促進に努めた。	A	B	目標値を下回ったものの地域の実情把握により、更なる利用促進に努める。		
	西肥自動車株式会社 ⑪神之浦線5	神之浦～有川間の運行	これまでに作成した交通マップ等の啓発パンフレットの利用促進のために、ニュースレターや、電子書籍化によるインターネットでの周知を行い、利用促進に努めた。	A	B	目標値を下回ったものの地域の実情把握により、更なる利用促進に努める。		
	西肥自動車株式会社 ⑫神之浦線6	神之浦～有川間の運行	これまでに作成した交通マップ等の啓発パンフレットの利用促進のために、ニュースレターや、電子書籍化によるインターネットでの周知を行い、利用促進に努めた。	A	B	目標値を下回ったものの地域の実情把握により、更なる利用促進に努める。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フリーゲート系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
佐世保市地域公共交通会議	西肥自動車株式会社	岩下洞穴・瀬戸越団地線	地元住民代表・行政・交通事業者による「交通対策協議会」において、サービス面の見直しなど利便性向上に向けた検討会議を行った。 自治会の会議等で周知するなど、沿線町内会を通じたPR活動や専用回数券の継続利用などで、利用者の維持に努めた。	A	B	今後も利便性向上のため、地元住民代表と交通事業者、行政による「交通対策協議会」を開催し、再度PR活動を行い、利用促進に向けた取り組みを行う。	評価指標は、1回当たりの平均乗客数。 地元住民代表等による交通対策協議会を定期的に開催し、バスの利用状況等の情報共有、改善案を協議されるなど利用促進に取り組まれていることを評価します。 引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることにより、持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名: 路上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
大村市地域公共交通会議	長崎県交通局	地域内フィーダー系統 (乗合バス型運行) 富の原・協和町線 (野岳入口)	事業評価結果を 反映することができた。	A	A	新型コロナウイルス感染症の影響に関わらず一定の利用があることは利用者にとって生活における重要な路線と考える。今後も住民の移動手段の確保維持に努める。	評価の指標は、平均乗車密度。 新型コロナウイルス感染症の影響にかかわらず目標を達成されたことを評価します。 目標達成出来なかった系統についても利用者の動向に合わせたダイヤ設定や新たなルート設定など利用促進に向けた取組について評価します。 引き続き協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることを期待します。	
	長崎県交通局	地域内フィーダー系統 (乗合バス型運行) 富の原・協和町線 (黒丸入口)	事業評価結果を 反映することができた。	A	A	新型コロナウイルス感染症の影響に関わらず一定の利用があることは利用者にとって生活における重要な路線と考える。今後も住民の移動手段の確保維持に努める。		
	長崎県交通局	地域内フィーダー系統 (乗合バス型運行) 南部循環線	事業評価結果を 反映することができた。	A	B	新型コロナウイルス感染症の感染予防に取り組むとともに利用者の動向に合わせたダイヤ設定を行い、利便性向上に努める。		
	長崎県交通局	地域内フィーダー系統 (乗合バス型運行) 小路口・諏訪線	事業評価結果を 反映することができた。	A	B	新型コロナウイルス感染症の感染予防に取り組むとともに利用者の動向に合わせたダイヤ設定を行い、利便性向上に努める。 また、R4.9.23から新大村駅を経由するルートへの変更を行ったところ、従来のルートよりも平均乗車密度が減少していた。今後も、利用実績を検証しつつ、場合によってはルート変更等も検討したい。		
	長崎県交通局	地域内フィーダー系統 (乗合バス型運行) 北部循環線	他の路線の事業評価結果を 参考に反映することができた。	A	B	今後も路線のPRを継続し、利用者の動向に合わせたダイヤ設定を行うこととする。その状況を見ながら、今後の目標数値の設定についても検討を行うこととする。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	
五島市地域公共交通活性化 再生協議会	丸濱産業有限会社 奈留交通有限会社	五島市奈留島内5系統運行	奈留島地区生活交通検討委員会と連携し、利用者が なかった路線の廃止を含めた見直し及び利用促進活 動に取り組んだ。	A	B	利用促進活動に取り組み、路線の維持存続に努める。	評価指標は、奈留島地区は年間運行回数、それ以 外の地区は年間利用者数。 利用者ニーズに合わせた運行の見直しや時刻表 の提示、また利用者アンケートを行い、利便性向上 の取組について評価します。 今後も利用状況の把握・分析を行うことにより、効 率的な利用促進が実施されることを期待します。
	松本 勝久(久賀タクシー)	五島市久賀島内17系統運行	運行事業者が利用者への改善の要望などを聞き取り、 渡船待合所に配布用の時刻表及び運行ルートの パンフレットを置き利用促進を図った。	A	B	利便性の向上を図るため、利用者アンケートを行い、運行内容を検討した 結果、R4.10月から路線および運行曜日を変更した。 今後も利用者数拡大を目指し、運行事業者や地域町内会と連携し利用促 進に取り組む。	
	五島自動車株式会社	五島市福江島内1系統運行 (空港線)	五島つばき空港や福江港ターミナルに時刻表を掲示 するとともに運行事業者のホームページで周知を図っ た。	A	B	五島つばき空港や福江港ターミナルに時刻表を掲示するとともに運行事業 者のホームページで周知を図る。	
	五島自動車株式会社	五島市富江地区1系統運行 (区域運行)	利用者アンケートを行い、利用が多い停留所への予 約専用電話の設置や、web会員登録の導入等、利便 性向上および利用促進を図った。	A	A	広報紙や戸別訪問を行い周知を図るとともに、利用者アンケートを行い、 地域住民の移動に関するニーズや利用満足度等を把握し、よりよい運行 形態となるよう努める。	
	有限会社ばらもんタクシー	五島市岐宿地区1系統運行 (区域運行)	利用者アンケートを行い、他エリアとの接続や、web会 員登録の導入等、利便性向上および利用促進を図っ た。	A	B	広報紙や戸別訪問を行い周知を図るとともに、利用者アンケートを行い、 地域住民の移動に関するニーズや利用満足度等を把握し、よりよい運行 形態となるよう努める。	
	有限会社ばらもんタクシー	五島市福江地区1系統運行 (区域運行)	利用者アンケートを行い、web会員登録の導入や、利 用促進イベントを開催し、利便性向上および利用促進 を図った。	A	B	広報紙や戸別訪問を行い周知を図るとともに、利用者アンケートを行い、 地域住民の移動に関するニーズや利用満足度等を把握し、よりよい運行 形態となるよう努める。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
松浦市地域公共交通活性化協議会	昭和自動車株式会社	路線バスの運行 (鹿島(阿翁浦線))	協議会や分科会等を通じて運行事業者や地域住民と情報交換を行っている。 松浦市地域公共交通計画ではバス利用者数の令和8年度(計画最終年度)の目標値を11,601人に設定しており、利用促進策に係る個別のKPIについては、事業実施段階において協議会において検討する。	A	B	収支率低下の要因は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響に加え、原油高に伴う燃料費の高騰が大きい。	評価の指標は、路線毎の収支率。 自己評価については、新型コロナウイルス感染症の影響や原油価格高騰の影響を踏まえれば、一定の評価が出来ると考えます。 今後令和4年3月に策定した地域公共交通計画に基づき持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。	
	鹿島タクシー	乗合タクシーの運行 (阿翁浦線)	松浦市地域公共交通計画では乗合タクシー利用者数の令和8年度(計画最終年度)の目標値を8,206人に設定しており、利用促進策に係る個別のKPIについては、事業実施段階に協議会において検討する。	A	B	収支率低下の要因は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響に加え、原油高に伴う燃料費の高騰が大きい。 今後は、コロナ収束を見据えた利用促進策の強化が必要である。		
	鹿島タクシー	乗合タクシーの運行 (殿の浦線)	松浦市地域公共交通計画では乗合タクシー利用者数の令和8年度(計画最終年度)の目標値を8,206人に設定しており、利用促進策に係る個別のKPIについては、事業実施段階に協議会において検討する。	A	B	収支率低下の要因は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響に加え、原油高に伴う燃料費の高騰が大きい。 今後は、コロナ収束を見据えた利用促進策の強化が必要である。		
	鹿島タクシー	乗合タクシーの運行 (船唐津線)	松浦市地域公共交通計画では乗合タクシー利用者数の令和8年度(計画最終年度)の目標値を8,206人に設定しており、利用促進策に係る個別のKPIについては、事業実施段階に協議会において検討する。	A	B	収支率低下の要因は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響に加え、原油高に伴う燃料費の高騰が大きい。 今後は、コロナ収束を見据えた利用促進策の強化が必要である。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考	
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点		評価結果
平戸市愛のり交通活性化委員会	平戸市	令和2年10月1日より実施した市内公共交通再編に伴い、既存幹線の再編によるフィーダー系統の整備を行い、平戸市中南部地区住民の交通利便性向上を図ることを目的に、市ふれあいバス(紐差-宮の浦線)の運行を実施する。	※前回の評価結果 ・目標に対する評価① ⇒収支率を前年比1%増加[B] ・目標に対する評価② ⇒利用者を前年比1%増加[B] ・効果に対する評価 ⇒市の補助負担の軽減[A] R4年度についてはR3年度の評価結果を反映し、増便、ダイヤ改正による利便性向上を実施した。	A	B	①引き続き民間事業者や高校、病院等と協議し、利便性の高いダイヤの検討、接続強化を図る。 ②観光客に対する移動手段の可視化や市内住民に対する認知度向上を目的に、市内公共交通マップを作成し、公共施設等に設置することで、質の高い交通サービスを実施する。	評価の指標は、収支率、年間利用者数、市の補助負担の軽減。 目標値である収支率については達成出来なかったものの、前年度の改善点を着実に実施し、利便性向上を図ったことを評価します。 また、関連路線全体について市の補助負担の軽減がなされており目標を達成されたことを評価します。 引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることにより、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
天草市公共交通連携協議会	産交バス(株)	本渡市街地循環線(のっぴゅうかー)の運行	公共交通乗り方教室を開催し、市内の3校で低学年中心に162人参加。バスに関する学習や実車による乗車体験を実施した。 また、公共交通利用促進の動画を制作し、地元ケーブルテレビの市政広報番組「Do!あまくさ☆」にて放映した。併せて、市公式YouTubeチャンネルにも登録している。	A	B	公共交通乗り方教室等の利用促進の取組みを継続的に実施する。	評価の指標は、年間利用者数及び1便当たり利用者数。 市政広報番組での公共交通利用促進の動画の放映や乗り方教室の実施など、公共交通の利用促進の取組みが行われていることを評価します。 協議会が今後の改善点として挙げている取組や、現在策定中の地域公共交通計画の施策が着実に実施されることにより、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。	
	㈱有明タクシー ㈱TaKuRoo ㈱バルタクシー 天草タクシー㈱ ㈱本渡港運送店 ㈱大門港タクシー ㈱絆	有明町楠南線(天草市乗合タクシー)の運行	運行事業者ヒアリングや利用者アンケートを実施。乗降地や運行ダイヤの見直しを行った。	A	C	利用状況を踏まえ、市の公共交通における位置付けの見直しを検討する。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
南阿蘇村公共交通連携協議会	産交バス(株)	・ゆるっとバス白水ルート (白川水源入口・温泉センターウケス経由) 高森駅前～立野駅 (R3.10.1～R4.9.30)	利用者からの要望、意見等を随時受け、ニーズの把握を行うとともに、平成28年熊本地震で被災した道路や公共交通の復旧状況にあわせた運行ルートやダイヤ見直しを適宜行い、公共交通の確保に努めた。	A	A	利便性向上のためのダイヤ改正やルートの見直しを行い、他の交通モードとの接続強化に努めるとともに利用者の促進を図り、より効果的で利便性の高い公共交通体系の構築に取り組む。	評価の指標は、年間利用者数。 新型コロナウイルス感染症の影響の中、目標を達成されていることを評価します。 令和5年7月には南阿蘇鉄道の全線での運転再開も予定されていることから、引き続き利用者のニーズや利用実態を把握した上で、継続的な協議が進められることを期待します。	
	産交バス(株)	・ゆるっとバス白水ルート (白川水源入口経由) 高森駅前～立野駅 (R3.10.1～R4.9.30)		A	A			
	産交バス(株)	・ゆるっとバス久木野ルート (あそ望の郷・温泉センターウケス経由) 高森駅前～立野駅 (R3.10.1～R4.9.30)		A	A			
	産交バス(株)	・ゆるっとバス久木野ルート (あそ望の郷経由) 高森駅前～立野駅 (R3.10.1～R4.9.30)		A	A			
	産交バス(株)	・ゆるっとバス立野循環 (温泉センターウケス・阿蘇ファームランド 経由) 立野駅～立野駅 (R3.10.1～R4.9.30)		A	A			
	南阿蘇観光タクシー 南高森駅前タクシー (共同運行)	・地獄・垂玉線(下田城ふれあい温泉駅～地獄・垂玉温泉間) ・予約制 ・熊本地震の影響により運行休止中(R3.10.1～R4.9.30)	平成28年熊本地震以降、南阿蘇鉄道が復旧のため運行休止となっている。	—	—	南阿蘇鉄道全線復旧に合わせた乗合タクシーの運行について検討を行う。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日

九州運輸局

評価対象事業名: 路上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フリーゲート系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
合志市地域公共交通協議会	熊本電気鉄道(株)	レターバス(北ルート1便目、8便目)	乗降カウントシステムにより、利用状況の把握・分析を行った。利用促進の取り組みとして、地域の高齢者団体へ公共交通の利用案内や、マイ時刻表による乗り換え案内を実施した。	A	C	目標値に対し、結果は下回っている。再編後の路線について、利用者増加のため、引き続き公共交通の周知啓発を図る。 また、交通渋滞による運行の遅延や移動のニーズに対応するため、ダイヤの見直し等、利便性向上の取り組みを実施し、持続可能な公共交通を目指す。	<p>評価の指標は、①市内外の移動での円滑な乗り継ぎに関する市民満足度、②年間利用者数、③公共交通機関利用者の割合、④市民一人当たりの運行委託料。</p> <p>地域の高齢者団体への公共交通の利用案内やマイ時刻表による乗り換え案内など、公共交通の利用促進に関する取り組みを評価します。</p> <p>全ての指標において目標値を下回っているものの、全ての指標において昨年度よりも改善している点は一定の評価ができると考えます。 利用者のニーズの把握に努め、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることを期待します。</p> <p>令和4年10月に開業した新御代志駅を中心とした地域公共交通の活性化への取り組みにも期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日

九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フリーゲート系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
水俣市地域公共交通会議	産交バス(株)	水俣駅・葛彩館線 水俣駅前～水俣市役所・ 渡野～葛彩館	昨年度に引き続き、75歳以上の高齢者と障がい者手 帳所持者(一部)を対象にみなくるバスの無償化を継 続して実施している。	A	A	利用促進策を図っていくため、第2期水俣市地域公共交通網形成計画に 基づくモビリティマネジメント等を実施していく。	評価の指標は、年間利用者数の減少率の抑制。 目標・効果達成状況がAとなった系統については、 新型コロナウイルス感染症の影響の中、目標を達 成されていることを評価します。 引き続き利用者のニーズや利用実態を把握した上 で、継続的な協議が進められることを期待します。 目標・効果達成状況がCとなった系統については、 利用者のニーズの把握に努め、協議会が設定する 今後の改善点が着実に解決されることを期待しま す。 今後も、令和2年3月に策定した地域公共交通計 画(旧・地域公共交通網形成計画)に基づき、持続 可能な旅客運送サービスが提供されることを期待 します。	
	産交バス(株)	水俣駅・大川線 水俣駅前～深川・ 愛林館前～大川		A	A			
	産交バス(株)	流合橋経由招川内・茂道線 招川内～流合橋・ 水俣駅前～茂道漁港		A	A			
	産交バス(株)	頭石経由招川内・茂道線 招川内～頭石・ 水俣駅前～茂道漁港		A	A			
	産交バス(株)	木臼野経由 医療センター・水俣駅線 水俣市役所～梅戸・ 木臼野～水俣駅前		A	C			
	産交バス(株)	水俣市役所・木臼野線 水俣市役所～梅戸・茂川～木臼野上		A	C			

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日

九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
長洲・荒尾地域公共交通活性化協議会	(有)ながすタクシー	長洲町予約型タクシー(きんぎょタクシー)の運行 (長洲町内全域及び荒尾市・玉名市の特定施設)	新型コロナウイルスの感染症対策に取り組みながら運行し、減少した利用客数は、徐々に回復の兆しを見せたが、新型コロナウイルスまん延以前の水準には至らなかった。また、運転免許返納者への無料乗車券交付制度等を活用しながら、利用促進を図った。	A	B	新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数が新型コロナウイルスまん延以前の水準に戻ってはいないが、引き続き感染症対策等に努め、利用実態を把握しながら、効率的な輸送サービスを検討していく。	評価の指標は、年間利用者数及び財政負担額。 目標の一部が未達成であるものの、未達成の年間利用者数についても前年度から増加しており、新型コロナウイルス感染症の影響の中であることを踏まえれば、一定の評価ができると考えます。 引き続き利用者のニーズや利用実態を把握した上で、継続的な協議が進められることを期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
益城町地域公共交通会議	福田地区デマンド型乗合タクシー 熊交観光タクシー(株) (有)光洋タクシー	福田地区～木山産交営業所、木山上町・木山農協前・惣領バス停付近の予約型運行 (1日6便、日曜祝日年末年始は連休)	令和4年3月に現在の利用者に対するヒアリング調査を実施し、運行時間の変更や指定停留所の増加について検討した。 (令和4年10月より運行内容変更)	A	B	令和4年10月より、1日6便から8便、指定停留所数を4か所から13か所に変更。 併せて、地域への説明会等の広報活動を通して事業の周知を行う。広報においては、主な利用者層である高齢者にわかりやすいものを意識する。 また、今回の輸送実績を踏まえ、目標値についても再検討する。	評価の指標は、年間利用者数。 熊本大学の協力も得ながら地域サロンでのヒアリングやマイ時刻表の作成など、地域公共交通の利用促進に取り組まれていることを評価します。	
	木山・広安循環線(左回り・右回り) 産交バス(株)	木山産交～益城病院前～古閑南～木山産交 (1日15便、年末年始は特別ダイヤ)	令和4年8月に、路線バスと自転車の結節機能の充実のため「益城町駐輪場整備計画」を策定した。現在整備を進めている。 広報活動については、新型コロナウイルス等の影響もあり、充分に行うことができなかった。	A	C	引き続き、路線自体の広報活動を進めるとともに、運行内容の変更等について検討する。検討においては、都市計画事業の進捗を見ながら進める。 また、今回の輸送実績を踏まえ、目標値についても再検討する。	実績値が目標値を大きく下回っていることから、協議会が今後の改善点として設定していること、目標値の水準が適切か等の検討が行われることを期待します。 今後も、令和3年3月に策定した地域公共交通計画に基づき、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日

九州運輸局

評価対象事業名: 路上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
宇土市地域公共交通会議	(有)中川タクシー	ミニバス網津線川線の運行	新型コロナウイルス感染症対応として、車内の換気や消毒等を行い、清潔な車内環境づくりに努めた。R4年2月に作成した宇土市地域公共交通マップを全戸配布し、利用促進を行った。	A	C	本系統はコロナ禍で利用者が低迷している中においても他の路線と比較すると利用者が増加傾向にある。そのため、地域公共交通計画との整合性を図りながら、広報紙やSNS等を活用し、積極的な利用啓発に努めていく。	評価の指標は、1日当たりの利用者数。 宇土市コミュニティ交通10周年記念イベント(コミュニティバスの乗車体験と乗り方教室等)の実施など、地域公共交通の利用促進に取り組まれていることを評価します。 全ての系統で目標値を下回っていることから、利用者のニーズの把握に努め、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることを期待します。 今後も、令和4年2月に策定した地域公共交通計画に基づき、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。	
	(有)西田タクシー	ミニバス宇土北部線の運行	新型コロナウイルス感染症対応として、車内の換気や消毒等を行い、清潔な車内環境づくりに努めた。R4年2月に作成した宇土市地域公共交通マップを全戸配布し、利用促進を行った。	A	C	本系統はコロナ禍で利用者が低迷している中において利用者が減少傾向にある。運行エリアが広く、ルートによっては需要の掘り起こしが可能と思われるため、住民ニーズを把握し、利便性向上に努める。		
	宇城タクシー(有)	ミニバス轟線の運行	新型コロナウイルス感染症対応として、車内の換気や消毒等を行い、清潔な車内環境づくりに努めた。R4年2月に作成した宇土市地域公共交通マップを全戸配布し、利用促進を行った。	A	C	本系統は運行エリアが市街地に近く需要の掘り起こしが難しい系統である。そのため、地域公共交通計画との整合性を図りながら、様々な輸送資源を活用した交通体系を検討していく。		
	宇城タクシー(有)	ミニバス花園北部線の運行	新型コロナウイルス感染症対応として、車内の換気や消毒等を行い、清潔な車内環境づくりに努めた。R4年2月に作成した宇土市地域公共交通マップを全戸配布し、利用促進を行った。	A	C	本系統は運行エリアが広く、ルートによっては需要の掘り起こしが可能と思われるため、地域公共交通計画との整合性を図りながら、住民ニーズの把握と、利便性向上に努める。		
	宇城タクシー(有)	ミニバス花園南部線の運行	新型コロナウイルス感染症対応として、車内の換気や消毒等を行い、清潔な車内環境づくりに努めた。R4年2月に作成した宇土市地域公共交通マップを全戸配布し、利用促進を行った。	A	B	本系統は運行エリアが広く、ルートによっては需要の掘り起こしが可能と思われるため、地域公共交通計画との整合性を図りながら、住民ニーズの把握と、利便性向上に努める。		
	産交バス(株)	コミュニティバス(循環線)の運行	新型コロナウイルス感染症対応として、車内の換気や消毒等を行い、清潔な車内環境づくりに努めた。R4年2月に作成した宇土市地域公共交通マップを全戸配布し、利用促進を行った。	A	B	本系統は市街地を循環する系統であり、市街地の視点間の移動を目的としているため、路線バスやJR、ミニバス等の他の交通機関との接続性の向上を検討していく。 また潜在的な利用者が多いことから、広報紙やSNS等を活用し、積極的な利用啓発に努めていく。		
	(有)中川タクシー	デマンドバス(網田地区)の運行	新型コロナウイルス感染症対応として、車内の換気や消毒等を行い、清潔な車内環境づくりに努めた。R4年2月に作成した宇土市地域公共交通マップを全戸配布し、利用促進を行った。	C	C	令和3年10月から本格的に運行を開始し、運行開始当初と比較すると徐々に利用者が増加している。 利用者が固定化しつつあるため、新規の利用登録者獲得に向けた啓発活動を進めながら、利用していない登録者への利用促進と併せて、指定乗降場所の追加など、住民ニーズに基づいた改善に努める。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
阿蘇市地域公共交通会議	(株)TaKuRoo (有)阿蘇エースタクシー	乗合タクシー内牧赤水線	地域住民の利便性の向上及び制度周知のため利用ガイドを配布した。	A	C	事業は適切に実施されているが、目標・効果は達成できなかった。今後も福祉部門と連携し利用促進活動を行うとともに、利用ガイド等を用いた制度の周知を図る。	評価の指標は、年間利用者数。	
	(株)TaKuRoo (有)阿蘇エースタクシー (資)大阿蘇タクシー	乗合タクシー原の口・鷲の石線	地域住民の利便性の向上及び制度周知のため利用ガイドを配布した。	A	C	事業は適切に実施されているが、目標・効果は達成できなかった。今後も利用ガイド等を用いた制度周知を図り、更なる利用者数の増を目指す。	特に原の口・鷲の石線については目標値を大きく下回っていることから、利用者のニーズの把握に努め、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることを期待します。 今後、協議会において市町村等が主体となり、関係者との協議を経つつ、地域の公共交通のマスタープランとして地域公共交通計画を策定されることを期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日

九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
荒尾市地域公共交通活性化協議会	(有)荒尾タクシー、平和タクシー(有)、(有)有明タクシー	荒尾市予約型乗合タクシー(平井地区)の運行	アクティブシニアを対象とし、対象者の行動パターンに合った公共交通利用プランの提案等を行う「モビリティマネジメント」を実施し、利用促進を図った。 また、広報紙や市のホームページ等により情報発信を行った。	A	C	モビリティマネジメントの対象者や手法について検討し、効果的な利用促進策を実施する。また、おもいやりタクシーとの相互利用を推進することで利用促進を図る。	評価の指標は、利便性に関する満足度及び年間利用者数。 アクティブシニアを対象としたモビリティマネジメントの実施など、公共交通の利用促進の取り組みを評価します。	
	(有)荒尾タクシー、平和タクシー(有)、(有)有明タクシー	荒尾市予約型乗合タクシー(府本地区)の運行	アクティブシニアを対象とし、対象者の行動パターンに合った公共交通利用プランの提案等を行う「モビリティマネジメント」を実施し、利用促進を図った。 また、広報紙や市のホームページ等により情報発信を行った。	A	C	モビリティマネジメントの対象者や手法について検討し、効果的な利用促進策を実施する。また、おもいやりタクシーとの相互利用を推進することで利用促進を図る。	全ての系統で目標値を下回っていることから、利用者のニーズの把握に努め、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることを期待します。 現在策定中の地域公共交通計画に基づき、今後も持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。	
	産交バス(株)	住吉線の運行	アクティブシニアを対象とし、対象者の行動パターンに合った公共交通利用プランの提案等を行う「モビリティマネジメント」を実施し、利用促進を図った。 また、未就学児を対象にバス乗り方教室を実施するとともに、保護者向けの無料お試し乗車券を配付し利用促進を図った。	A	C	モビリティマネジメントの対象者や手法について検討し、効果的な利用促進策を実施する。また、おもいやりタクシーとの相互利用を推進することで利用促進を図る。さらに、路線バスを利用する動機付けとして、バス無料の日の設定や商業施設と連携したイベント等の実施を検討する。		
	産交バス(株)	倉掛線の運行	アクティブシニアを対象とし、対象者の行動パターンに合った公共交通利用プランの提案等を行う「モビリティマネジメント」を実施し、利用促進を図った。 また、未就学児を対象にバス乗り方教室を実施するとともに、保護者向けの無料お試し乗車券を配付し利用促進を図った。	A	C	モビリティマネジメントの対象者や手法について検討し、効果的な利用促進策を実施する。また、おもいやりタクシーとの相互利用を推進することで利用促進を図る。さらに、路線バスを利用する動機付けとして、バス無料の日の設定や商業施設と連携したイベント等の実施を検討する。		
	産交バス(株)	八幡台線の運行	アクティブシニアを対象とし、対象者の行動パターンに合った公共交通利用プランの提案等を行う「モビリティマネジメント」を実施し、利用促進を図った。 また、未就学児を対象にバス乗り方教室を実施するとともに、保護者向けの無料お試し乗車券を配付し利用促進を図った。	A	C	モビリティマネジメントの対象者や手法について検討し、効果的な利用促進策を実施する。また、おもいやりタクシーとの相互利用を推進することで利用促進を図る。さらに、路線バスを利用する動機付けとして、バス無料の日の設定や商業施設と連携したイベント等の実施を検討する。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日

九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
玉名市地域公共交通会議	(有)貸洋タクシー 玉名タクシー(有)	(1)滑石・信明地域 予約制乗合タクシー	公共交通マップや広報等で情報提供の充実を図った。 また、運行便や特定乗降場所に対する利用者のニーズの把握のためにアンケートを実施した。	B	B	新しい生活様式によって公共交通の利用そのものが減っており、利用者のニーズや利用実態をもとに運行便・特定乗降場所の変更を検討する。 また、配車システムを導入することによって最適な運行経路を設定し、乗車時間と予約の切時間の短縮を図ることを検討する。	評価の指標は、年間利用者数。 目標・効果達成状況が'Aとなった系統については、新型コロナウイルス感染症の影響の中、目標を達成されていることを評価します。 引き続き利用者のニーズや利用実態を把握した上で、継続的な協議が進められることを期待します。 目標・効果達成状況が'Bとなった系統については、利用者のニーズの把握に努め、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることを期待します。 今後、協議会において市町村等が主体となり、関係者との協議を経つつ、地域の公共交通のマスタープランとして地域公共交通計画を策定されることを期待します。	
	(有)高瀬合同タクシー (有)アトム	(2)大浜・横島地域 予約制乗合タクシー		A	B			
	産交バス(株)	(3)九州看護福祉大学経由玉名 駅・新玉名駅線	公共交通マップや広報等で情報提供の充実を図った。 対象事業(3)の主な利用者である九州看護福祉大学および補助対象事業者と定期的に意見交換を実施し、必要な変更を行った。 また、対象事業(4)の利用促進を図るために各便の発車時刻を統一し、利用実態に応じた減便をR4.4.1から行った。	A	A	新しい生活様式により公共交通の利用そのものが減っており、公共交通を維持・確保していくために、利用者の増加に繋がるよう通勤・通学に利用しやすい運行時間帯への見直しや住民等への周知などを検討する。		
		(4)玉名市街地循環線		A	B			

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日

九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
津奈木町地域公共交通会議	むつみ交通(株)	津奈木町内全域及び水俣市内の特定施設間を運行	<ul style="list-style-type: none"> ・回数券の発行 町内行き回数券3,000円(300円券11枚綴り)、町外行き回数券8,000円(800円券11枚綴り)の販売を引き続き行い、利用促進及び利便性の向上を図った。 ・無料町外行き乗車券の配布 町外行き回数券を購入した場合に、さらに3回分の無料町外行き乗車券を配布するキャンペーンを期間限定で実施した。 ・免許証自主返納者特典事業 免許証の自主返納者へ、町内行きの回数券と町外行き回数券を1セットずつ配布することで、新規利用者の獲得と利用促進を図った。 ・広報活動 つなぎタクシーの利用方法等について町広報誌に年1回掲載し、住民へのつなぎタクシーの周知と利用促進を図った。 	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ・運転免許証の自主返納者に対する特典事業を引き続き実施するとともに、新たな特典事業を展開し、新規利用者の掘り起こしを行う。 ・利用方法等の制度周知の強化を図り、新規利用者の増加を図る。 ・路線バス及び鉄道との結節(乗継)を維持し、相互の利用者数の増加、利便性の向上を図る。 ・アンケート調査をもとに、現在の停留所や便の時間帯変更など運行内容の見直しを検討する。 ・町地域公共交通会議にて町外利用料金の改定を行い、更なる利用促進を図る。 ・「津奈木町地域公共交通ネットワーク計画」の期限を迎えるため、令和5年度に「津奈木町地域公共交通計画」を策定し、従来の地域公共交通体系の見直しを行う。 	<p>評価の指標は、公共交通カバー率及び1日当たり利用者数。</p> <p>利用者のニーズの把握に努め、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることを期待します。</p> <p>今後、協議会において市町村等が主体となり、関係者との協議を経つつ、地域の公共交通のマスタープランとして地域公共交通計画を策定されることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日

九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
八代市地域公共交通会議	八代市地域公共交通会議	東町線(区域)の運行	<p>○利用方法、運転免許返納者割引事業等についての周知・情報提供に関する取組を実施した。</p> <p>○鏡町線の利用促進策の一環として、社会福祉協議会と連携した試乗会の開催、地域の方々と協働した周知カレンダーの作成・配布を行った。</p> <p>○沿線地域へのヒアリング結果をもとに運行内容の見直しを行い、新規利用者の開拓及び利便性の向上を図った。また、運行ダイヤ・運行範囲等の見直しについて、利用者の声に対し柔軟に対応を行った。</p> <p>【見直しの概要】 ・停留所の新設及び運行ルート変更(平和町線) ・停留所の新設及び移設(鏡町線) ・路線定期運行から区域運行への変更及びそれに伴う運行範囲の拡大(高田線)</p> <p>○運行内容の見直しに合わせ、公共交通マップ及び総合時刻表の更新を行い、丁寧な情報提供を行ったほか、見直しを行った地域には個別に公共交通だよりを配布し、変更内容や利用方法等の周知を図った。</p>	A	C	<p>○沿線地域や関係団体と連携し、利用実態に合わせた利用促進の取組を実施する。</p> <p>○利用方法、運転免許返納者割引事業等についての周知・情報提供に関する取組を引き続き実施し、利用者の増加へつなげていく。</p> <p>○利用者からの要望や利用状況を踏まえた運行内容の見直しを行う。</p> <p>○運行内容の見直しに合わせ、公共交通マップ及び総合時刻表の更新を行い、丁寧に情報提供を行う。</p>	<p>評価の指標は、年間利用者数及び稼働率。</p> <p>社会福祉協議会と連携した試乗会の開催や、地域と協働した周知カレンダーの作成・配布など、公共交通の利用促進の取り組みを評価します。</p> <p>目標の一部が未達成であるものの、新型コロナウイルス感染症の影響の中であることを踏まえれば、一定の評価ができると考えます。</p> <p>利用者のニーズの把握に努め、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることを期待します。</p> <p>今後も、令和2年10月に策定した地域公共交通計画に基づき、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。</p>	
		産島線(区域)の運行			C			
		平和町線(右廻り)(路線定期)の運行			B			
		平和町線(左廻り)(路線定期)の運行			C			
		日奈久～坂本線(区域)の運行			A			
		鏡町線(区域)の運行			C			
		高田線(区域)の運行			C			

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
和水町地域公共交通会議	(有)高瀬合同タクシー	菊水線	・区域乗継料金の割引を継続して実施することにより、利用促進及び利便性の向上を図った。	A	B	利用件数の増加を推進するため、既存の路線定期運行サービスとの競合を避けつつ、町外への乗り入れ実施、町内拠点の追加検討による利便性の向上を図る。	<p>評価の指標は、登録者数と年間利用件数。</p> <p>公共交通の利用促進に取り組み、概ね目標を達成されたことを評価します。</p> <p>引き続き利用者のニーズや利用実態を把握した上で、継続的な協議が進められることを期待します。</p> <p>現在策定中の地域公共交通計画に基づき、今後も持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。</p>	
	(有)三加和タクシー	三加和線	<p>・コロナ禍であったが、会議は対面方式とし、地域関係者等から多数の意見をいただき、活発的な会議となった。</p> <p>・令和4年11月～3月にかけて、和水町地域公共交通計画策定(R6.3予定)に係るニーズ調査を行うため、プロポーザル方式による契約手続き事務を行った。</p>	A	A			

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
山江村地域公共交通会議	山江村	乗合タクシーまるおか号(山田線・万江線・山江線)	広報、ケーブルテレビ、ホームページにおいて、まるおか号の利用方法、割引制度等の情報発信を行った。	A	C	山江村においては、高齢者の利用が多く、子どもや観光客の利用が少ない現状である。利用者アンケート等の実施により、利用者の満足度や課題を把握したうえで、さらに効率的で利便性が高い公共交通体系を構築する必要がある。また、新型コロナウイルス感染症対策を行い、安心してまるおか号を利用していただくよう広報等で情報発信を行い、運行実施事業者へもコロナ対策の徹底を呼び掛けていく。	評価の指標は、年間利用者数。 目標値を下回っていることから、利用者のニーズの把握に努め、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることを期待します。 また、協議会が、日々の公共交通の利用状況や関係する取組の進捗状況を関係者間で共有し、正しく認識してもらうための場として活用されることを期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
人吉・球磨地域公共交通活性化 協議会	産交バス㈱、つばめタクシー ㈱、むつみ交通㈱	・R3.10.1～R3.11.27 系統名:人吉・湯前線 運行区間:JR人吉駅前ロータリー～湯前駅前ロータ リー キロ程:往30.1Km、復30.1Km ・R3.11.28～R4.9.30 系統名:人吉・錦線(11/28～) 運行区間:JR人吉駅前ロータリー～肥後西村駅前 ロータリー キロ程:往9.1Km、復9.1Km	対象なし	A	A	令和7年度中のくま川鉄道全線運転開通を目指す方針が示されたが、引き 続きくま川鉄道の代替輸送手段として、地域の日常生活に必要な不可欠な 本事業を継続していく。 また、現行の接続ダイヤ調整や乗換情報等の充実により、利用者増や利 便性向上に向けて多角的に進める必要がある。	評価の指標は、1日平均利用者数。 公共交通の利用促進に取り組み、目標を達成さ れたことを評価します。 引き続き利用者のニーズや利用実態を把握した上 で、継続的な協議が進められることを期待します。 今後も、令和4年3月に策定した地域公共交通計 画に基づき、持続可能な旅客運送サービスが提供 されることを期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名: 地上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
佐伯市地域公共交通確保維持 改善協議会	佐伯市	佐伯市コミュニティバス 黒沢・岸河内線	・地域公共交通マップ総合時刻表の作成、全戸配布 ・ホームページ、市報によるコミュニティバスの周知 ・マイ時刻表の作成、周知文書の世帯配布	A	A	市のホームページや市報を活用し、乗り方教室の開催等啓発活動を行い、利用促進に努める。 また、引き続きマイ時刻表を作成し、利用利便を向上させるサービスを実施し利用促進に繋げる。	・評価の指標は、系統毎の輸送人員と1便当たりの輸送人員。 ・マイ時刻表の作成、市報等によるコミュニティバスの周知に取り組みれていることに評価します。 ・目標の一部が未達成となっている系統がありますが、その要因が新型コロナウイルス感染症の影響以外にないのかどうかについても分析をお願いします。 ・令和3年10月に行われた路線再編を契機に、幹線系統と連携しやすくなったことから、今後、乗り方教室の開催等を行うことにより更なる利用促進に繋がることを期待します。	
		佐伯市コミュニティバス 下笠田・青山線	・地域公共交通マップ総合時刻表の作成、全戸配布 ・ホームページ、市報によるコミュニティバスの周知 ・マイ時刻表の作成、周知文書の世帯配布	A	A	市のホームページや市報を活用し、乗り方教室の開催等啓発活動を行い、利用促進に努める。 また、引き続きマイ時刻表を作成し、利用利便を向上させるサービスを実施し利用促進に繋げる。		
		佐伯市コミュニティバス 大入島線	・地域公共交通マップ総合時刻表の作成、全戸配布 ・ホームページ、市報によるコミュニティバスの周知 ・マイ時刻表の作成、周知文書の世帯配布	B	B	市のホームページや市報を活用し、乗り方教室の開催等啓発活動を行い、利用促進に努める。 また、引き続きマイ時刻表を作成し、利用利便を向上させるサービスを実施し利用促進に繋げる。		
		佐伯市コミュニティバス 米水津・鶴見線	・地域公共交通マップ総合時刻表の作成、全戸配布 ・ホームページ、市報によるコミュニティバスの周知 ・マイ時刻表の作成、周知文書の世帯配布	A	C	市のホームページや市報を活用し、乗り方教室の開催等啓発活動を行い、利用促進に努める。 また、引き続きマイ時刻表を作成し、利用利便を向上させるサービスを実施し利用促進に繋げる。		
		佐伯市コミュニティバス 弥生デマンド線	・地域公共交通マップ総合時刻表の作成、全戸配布 ・ホームページ、市報によるコミュニティバスの周知 ・マイ時刻表の作成、周知文書の世帯配布	C	C	市のホームページや市報を活用し、乗り方教室の開催等啓発活動を行い、利用促進に努める。 また、引き続きマイ時刻表を作成し、利用利便を向上させるサービスを実施し利用促進に繋げる。		
		佐伯市コミュニティバス 本匠デマンド線	・地域公共交通マップ総合時刻表の作成、全戸配布 ・ホームページ、市報によるコミュニティバスの周知 ・マイ時刻表の作成、周知文書の世帯配布	B	B	市のホームページや市報を活用し、乗り方教室の開催等啓発活動を行い、利用促進に努める。 また、引き続きマイ時刻表を作成し、利用利便を向上させるサービスを実施し利用促進に繋げる。		
		佐伯市コミュニティバス 宇目デマンド線	・地域公共交通マップ総合時刻表の作成、全戸配布 ・ホームページ、市報によるコミュニティバスの周知 ・マイ時刻表の作成、周知文書の世帯配布	B	C	市のホームページや市報を活用し、乗り方教室の開催等啓発活動を行い、利用促進に努める。 また、引き続きマイ時刻表を作成し、利用利便を向上させるサービスを実施し利用促進に繋げる。		
		佐伯市コミュニティバス 直川デマンド線	・地域公共交通マップ総合時刻表の作成、全戸配布 ・ホームページ、市報によるコミュニティバスの周知 ・マイ時刻表の作成、周知文書の世帯配布	C	C	市のホームページや市報を活用し、乗り方教室の開催等啓発活動を行い、利用促進に努める。 また、引き続きマイ時刻表を作成し、利用利便を向上させるサービスを実施し利用促進に繋げる。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日

九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
九重町地域交通協議会	事業者名: 九重町 運行系統名: 小平谷線	小平谷～豊後中村駅～九重町役場の運行	広報等で公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図った。 また、利用者の増加に向けケーブルテレビでバス利用機会の創出などに努めている。	A	C	今後も継続して運行状況の分析や住民ニーズの把握を行うとともに利用促進の取り組みを実施していく。	・評価の指標は、系統毎の乗客数。 ・公共交通機関の維持の必要性について、町民に対し周知等されていることを評価します。 ・目標の一部が未達成となっている系統がありますが、その要因が新型コロナウイルス感染症の影響以外にないのかどうかについても分析をお願いします。 ・今後も広報誌や町HP等で乗客数増加に向けた取組を進めていただくとともに、協議会が、日々の公共交通の利用状況や関係する取組の進捗状況を関係者間で共有し、正しく認識してもらうための場として活用されることを期待します。	
	事業者名: 九重町 運行系統名: 寺床線	寺床～豊後中村駅～九重町役場の運行	広報等で公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図った。 また、利用者の増加に向けケーブルテレビでバス利用機会の創出などに努めている。	A	C	乗客数の増加に向け、広報誌や町HP、ケーブルテレビで回数券・乗り換えチケットなどのお得な情報と、車内の感染症対策等のPRを実施していく。		
	事業者名: 九重町 運行系統名: うるが線	うるが～引治駅～川西の運行	広報等で公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図った。 また、利用者の増加に向けケーブルテレビでバス利用機会の創出などに努めている。	A	A	乗客数の増加に向け、広報誌や町HP、ケーブルテレビで回数券・乗り換えチケット、車内の感染症対策などの情報と合わせてPRを実施していく。特に地元の方の利用が増えるような取り組みとして、アンケート調査を実施しダイヤ改正等について検討を行う。		
	事業者名: 九重町 運行系統名: 龍門線	野倉～恵良駅～九重町役場の運行	広報等で公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図った。 また、利用者の増加に向けケーブルテレビでバス利用機会の創出などに努めている。	A	B	乗客数の増加に向け、広報誌や町HP、ケーブルテレビで回数券・乗り換えチケットなどのお得な情報と、車内の感染症対策等のPRを実施していく。		
	事業者名: 九重町 運行系統名: 龍門野倉線	野倉～恵良駅の運行	広報等で公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図った。 また、利用者の増加に向けケーブルテレビでバス利用機会の創出などに努めている。	A	B	乗客数の増加に向け、広報誌や町HP、ケーブルテレビで回数券・乗り換えチケットなどのお得な情報と、車内の感染症対策等のPRを実施していく。 また、デマンドの利用方法の説明会等実施していく。		
	事業者名: 九重町 運行系統名: 鹿伏桐木線	豊後中村駅～鹿伏～豊後中村駅の運行	広報等で公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図った。 また、利用者の増加に向けケーブルテレビでバス利用機会の創出などに努めている。	A	A	乗客数の増加に向け、広報誌や町HP、ケーブルテレビで回数券・乗り換えチケットなどのお得な情報と、車内の感染症対策等のPRを実施していく。		
	事業者名: 九重町 運行系統名: 栗原小園線	猪牟田～九重町役場～川西の運行	広報等で公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図った。 また、利用者の増加に向けケーブルテレビでバス利用機会の創出などに努めている。	A	B	乗客数の増加に向け、広報誌や町HP、ケーブルテレビで回数券・乗り換えチケットなどのお得な情報と、車内の感染症対策等のPRを実施していく。 また、デマンドの利用方法の説明会等実施していく。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日

九州運輸局

評価対象事業名：路上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
九重町地域交通協議会	事業者名：九重町 運行系統名：九重縦断線	塚脇～恵良駅～飯田交流センターの運行	広報等で公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図った。 また、利用者の増加に向けケーブルテレビでバス利用機会の創出などに努めている。	A	A	引き続き乗客数の増加に向け、広報誌や町HP、ケーブルテレビで回数券・乗り換えチケット、車内の感染症対策などの情報と合わせてPRを実施していく。特に地元の方の利用が増えるような取り組みを行う。		
		飯田交流センター～豊後中村駅～九重ICの運行	広報等で公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図った。 また、利用者の増加に向けケーブルテレビでバス利用機会の創出などに努めている。	A	B	乗客数の増加に向け、広報誌や町HP、ケーブルテレビで回数券・乗り換えチケット、車内の感染症対策などの情報と合わせてPRを実施していく。特に地元の方の利用が増えるような取り組みとして、アンケート調査を実施しダイヤ改正等について検討を行う。		
		牧ノ戸峠～豊後中村駅～九重ICの運行	広報等で公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図った。 また、利用者の増加に向けケーブルテレビでバス利用機会の創出などに努めている。	A	B	乗客数の増加に向け、広報誌や町HP、ケーブルテレビで回数券・乗り換えチケット、車内の感染症対策などの情報と合わせてPRを実施していく。特に地元の方の利用が増えるような取り組みとして、アンケート調査を実施しダイヤ改正等について検討を行う。		
		牧ノ戸峠～豊後中村駅～九重ICの運行	広報等で公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図った。 また、利用者の増加に向けケーブルテレビでバス利用機会の創出などに努めている。	A	B	乗客数の増加に向け、広報誌や町HP、ケーブルテレビで回数券・乗り換えチケット、車内の感染症対策などの情報と合わせてPRを実施していく。特に地元の方の利用が増えるような取り組みとして、アンケート調査を実施しダイヤ改正等について検討を行う。		
		九重登山口花山峠～豊後中村駅～塚脇の運行	広報等で公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図った。 また、利用者の増加に向けケーブルテレビでバス利用機会の創出などに努めている。	A	B	乗客数の増加に向け、広報誌や町HP、ケーブルテレビで回数券・乗り換えチケット、車内の感染症対策などの情報と合わせてPRを実施していく。特に地元の方の利用が増えるような取り組みとして、アンケート調査を実施しダイヤ改正等について検討を行う。		
		九重登山口みやま～豊後中村駅～塚脇の運行	広報等で公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図った。 また、利用者の増加に向けケーブルテレビでバス利用機会の創出などに努めている。	A	B	乗客数の増加に向け、広報誌や町HP、ケーブルテレビで回数券・乗り換えチケット、車内の感染症対策などの情報と合わせてPRを実施していく。特に地元の方の利用が増えるような取り組みとして、アンケート調査を実施しダイヤ改正等について検討を行う。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
津久見市地域公共交通活性化 協議会	津久見タクシー(株) 光タクシー(株)	中央病院～津久見駅線の運行	離島航路・保戸島航路の時刻変更に伴い、令和4年10月1日から1便の時刻を変更した。市報や連絡帳での周知、バス停への掲示を行った。変更のお知らせではあったが、市民からの問い合わせもあり、乗合タクシーの広報活動にもつながった。	A	B	今後の状況を注視し、新型コロナウイルス感染症の影響により開催できなかった体験試乗会等を行い、乗降者数の調査、利用者の声を聞きながら、引き続き、利用促進の取組みを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の指標は、利用者数と運行率。 ・落の浦～大浜線について、アンケート調査を行い、利用者の声を聞かれたことに評価します。 ・目標すべてが未達成となったものの、その要因が新型コロナウイルス感染症の影響以外にないのかどうかについても分析をお願いします。 ・今後は体験乗車会の実施等により、新規利用者を増やしていくとともに、既存利用者の声を聞きながら、最適な運行方法やサービスが模索されていくことを期待します。 	
	津久見タクシー(株)	落の浦～大浜線	アンケート調査を行い、利用者の声を聞いた。また、地区の代表者から乗合タクシーの現状について意見を聞いた。調査結果や意見を参考に今後の路線のあり方について検討を行っていく。	A	B	乗合タクシーの利用方法など路線周辺の住民への利用促進につながるような働きかけを行っていく。また、路線のより効率的な運送サービスの方法を検討していく。		
	津久見タクシー(株) 光タクシー(株)	畑～津久見駅線の運行	年末年始の運行ダイヤについて全戸回覧を行い、バス停に掲示するなど運行に関する周知を行った。	A	B	運行日等、利用者の声を聴きながら、地区の住民や登録者への説明を行い、利用回数が増えるよう働きかけていく。		
	臼津交通(株)	路線バス17系統の運行	時刻表の作成を行い、市内全戸に配布した。	A	B	乗降調査や乗降者数の調査、利用者の声を聴くなどにより現状を把握し、利用促進や路線の運行方法等について検討を行っていく。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日

九州運輸局

評価対象事業名: 路上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
日田市地域公共交通確保維持協議会	日田バス(株) ひたはしり号 Aコース	日田～玉川～中ノ島～竹田新町～日田の循環コースを運行	日田市が日田バスに委託して市内中心部を循環運行するコミュニティバスひたはしり号は、近年、運行エリアに近い地域住民からコースの延伸を希望する声が多いため、利用者数の増及利便性のさらなる向上を目指して、令和3年度から運行内容の見直し検討を開始し、今年度協議が調ったことから、令和5年2月に運行ルート及び時刻表を再編したダイヤ改正を実施する予定である。 なお、今年度は3年振りに、公共交通利用促進の目的で9/23に『バスの日イベント』を日田バスと共催。日田駅前広場で初開催し「ひたはしり号1日無料乗車体験」や「高速バスと綱引き対決」等のイベントを行うなど、多くの人出でにぎわった。	A	B	コミュニティバスひたはしり号は、H28.6の運賃100円開始以降認知度が高まり、さらにH30.7.1にダイヤ改正及びコース延伸を行った結果、利用者数は下記のとおり、底上げとなった。 【H27】71,868人【H28】76,181人【H29】88,235人【H30】83,489人【R1】85,499人 しかしR2年度、R3年度にかけてはコロナの影響で大きく減少した。R4年度については過去2か年よりは若干増えたものの、依然としてコロナ前と比較するとかなり少ない状況にある。 【R2】71,075人【R3】68,469人【R4】71,783人 R4年度の全体利用者数はコロナ前のR1年度と比較して84%であったが、その中においても、Dコースのように利用者数がコロナ前と比較して増加した系統もあることから、R5.2月に実施する再編(ルート変更、ダイヤ改正)を契機に、地域からの乗入要望や利用者の需要を日田バスと連携して把握の上、利用者数の増及利便性のさらなる向上を図っていく。	・評価の指標は、年間利用者数、R1年度比。 ・「バスの日イベント」を3年ぶりに開催し、市民に公共交通への関心を高めたことに対し評価します。 ・目標すべてが未達成となったものの、その要因が新型コロナウイルス感染症の影響以外にないのかどうかについても分析をお願いします。 ・R5.2月に再編した「ひたはしり号1」の利用状況を把握・分析することによって、効率的な利用促進が実施されることを期待します。	
	日田バス(株) ひたはしり号 Bコース	日田～城内団地～市役所前～日田の循環コースを運行						
	日田バス(株) ひたはしり号 Cコース	日田～玉川～石井～誠和町～日田の循環コースを運行						
	日田バス(株) ひたはしり号 Dコース	日田～豆田町～朝日町～清岸寺町～城町～日田の循環コースを運行						
	日田バス(株) 五馬線	日田～小淵～花香～近原～中村～五馬入口のコースを運行						日田バスが日田バスターミナルから日田市天瀬町五馬地区までを運行する五馬線は、H31.4.1にダイヤ改正を行い、現在平日1日2.5往復、土曜日1日2往復の運行を実施中である。 令和3年度は、送迎・輸送に関する地域座談会(勉強会)を五馬地区住民と市が一緒になって開催し、当該地区を運行する公共交通(五馬線・乗合デマンドタクシー)や地域主体による運送を実施するための条件等について話し合いを行ったが、今年度については地区住民と日程調整ができず開催できなかった。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日

九州運輸局

評価対象事業名: 路上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
臼杵市地域公共交通活性化協議会	臼津交通㈱ 臼杵タクシー㈱ 富士タクシー㈱	コミュニティバス利用者数 【城崎線、白岩線、上松線、佐志生線、東神野線、西神野線、市内循環線、南野津・東谷線】	効果的なコミュニティバスの運行のための路線見直しや利用促進を図るための協議を運行事業者及び地元住民と行った。	B	C	引き続きジャンボタクシー路線の見直し及び中型バス路線の車両の小型化を行う。また、定期券の発行や公共交通の安全性を訴える等、利用者増にむけた取り組みを行う。	・評価の指標は、利用者数、利用率。 ・運行事業者と利用促進について随時検討を行っていることに対して評価します。 ・目指すべき地域の交通体系の実現に向け、設定している目標値の水準が適切か等の検討が行われることを期待します。 ・今後も利用者増に向けたモビリティマネジメントの取組や、地域住民の意向を反映した路線の見直し等を検討することによって、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。	
		コミュニティバス利用率	効果的なコミュニティバスの運行のための路線見直しや利用促進を図るための協議を運行事業者及び地元住民と行った。	B	C	引き続きジャンボタクシー路線の見直し及び中型バス路線の車両の小型化を行う。また、定期券の発行や公共交通の安全性を訴える等、利用者増にむけた取り組みを行う。		
	臼津交通㈱	民間路線バス利用者数 【中津浦線、泊ヶ内線、割後場線】	バス事業者と利用促進について随時検討を行った。また路線毎の路線図、時刻表を市のホームページに掲載し、市の窓口にて配布するなどの取り組みを行った。	B	C	引き続きバス事業者と利用促進について検討をしていくとともに地域説明会でも意見聴取を行い、路線の見直しの検討を行う。また、公共交通の安全性を訴える等、利用者増にむけたモビリティマネジメントを行う。		
		民間路線バス利用率	バス事業者と利用促進について随時検討を行った。また路線毎の路線図、時刻表を市のホームページに掲載し、市の窓口にて配布するなどの取り組みを行った。	B	C	引き続きバス事業者と利用促進について検討をしていくとともに地域説明会でも意見聴取を行い、路線の見直しの検討を行う。また、公共交通の安全性を訴える等、利用者増にむけたモビリティマネジメントを行う。		
	臼杵タクシー㈱ 富士タクシー㈱	デマンドタクシー利用者数	運行事業者と利用促進について随時検討を行った。また、市報や市のホームページで公共交通情報を発信し公共交通の利用を促した。	B	C	引き続き運行事業者と利用促進について検討をしていくとともに地域説明会でも意見聴取を行い、見直しの検討を行う。また、車を持っていても公共交通を利用する機運を高めるためのモビリティマネジメントを行う。		
		デマンドタクシー利用率	運行事業者と利用促進について随時検討を行った。また、市報や市のホームページで公共交通情報を発信し公共交通の利用を促した。	B	C	引き続き運行事業者と利用促進について検討をしていくとともに地域説明会でも意見聴取を行い、見直しの検討を行う。また、車を持っていても公共交通を利用する機運を高めるためのモビリティマネジメントを行う。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日

九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
玖珠町地域公共交通活性化協議会	系統名: まちなか循環バス 事業者名: 玖珠観光バス(株)	わらべの館を起点として、市街地の主要施設(役場、商店、医療機関、金融機関等々)を循環 1日8便(西回り4便 東回り4便)運行	利用促進のため、総合時刻表を町内の住民に全戸配布を実施し、町内の公共施設等にも配布した。	A	B	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、外出自粛の影響もあつたが概ね目標値に近い実績があつた。平成30年度に策定した玖珠町地域公共交通網計画の進捗管理を行いながら、計画の目標達成に向け今後も、事業を継続していきたい。	・評価の指標は、利用者数。 ・利用促進のため、総合時刻表を町民に全戸配布されていることに対し評価します。 ・目標の一部が未達成となっている系統がありますが、その要因が新型コロナウイルス感染症の影響以外にないのかどうかについても分析をお願いいたします。 ・引き続き、利便性向上や利用促進に取り組んでいただくことで、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。	
	系統名: 小型乗合バス (岩室線) 事業者名: 大交タクシー(有)	書曲三から下長野間の運行 (毎週水曜日に運行)	利用促進のため、総合時刻表を町内の住民に全戸配布を実施し、町内の公共施設等にも配布した。	A	B	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、外出自粛の影響もあつたが概ね目標値に近い実績があつた。路線の距離が長い為、バス停の乗降者数を把握し、ルートの最適化を図っていく。また、バス停や路線の見直しを検討する。		
	系統名: ふれあい福祉バス (伐株線) 事業者名: 玖珠町	唐杉から福祉センター間の運行(毎週火曜日の運行)	利用促進のため、総合時刻表を町内の住民に全戸配布を実施し、町内の公共施設等にも配布した。	A	C	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、外出自粛の影響もあつたが、目標を達成できなかった。要因として、固定客の減少があげられる。また、比較的市街地に近いことから、自家用車を含めた他の移動手段を利用することが多いことも目標値を達成できなかった要因のひとつである。バス停や路線の見直しを検討する。		
	系統名: ふれあい福祉バス (小田線) 事業者名: 玖珠町	小田小学校入口から福祉センター間の運行 (毎週金曜日の運行)	利用促進のため、総合時刻表を町内の住民に全戸配布を実施し、町内の公共施設等にも配布した。	A	C	新型コロナウイルスの影響はさほど受けていないが目標値を大幅に下回っている。固定客の減少が顕著となっている。また、比較的市街地に近いことから、自家用車を含めた他の移動手段の利用が多いことも要因の一つである。バス停や他の路線との統合等も踏まえ路線の見直しを検討する。		
	系統名: ふれあい福祉バス (山浦線通学便) 事業者名: 玖珠町	古園からJR豊後森駅間の運行 (平日運行)	利用促進のため、総合時刻表を町内の住民に全戸配布を実施し、町内の公共施設等にも配布した。	A	A	新型コロナウイルス感染症の影響は3月から5月にあり、外出自粛の影響もあつたが、小学生の利用が定期的にあつたため、目標値を大幅に達成することができた。 今後は、小学生が減少していくことも推測されるため、高齢者を含めた一般の方も利用できるよう検討を行い、乗客の増員に努めていく。		
	系統名: ふれあい福祉バス (山浦線ふれあい便) 事業者名: 玖珠町	古園から福祉センター間の運行(毎週火・金曜日の運行)	利用促進のため、総合時刻表を町内の住民に全戸配布を実施し、町内の公共施設等にも配布した。	A	B	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、外出自粛の影響もあつたが、おおむね目標値に近い実績を達成することができた。 固定客が増えるなど、当路線沿いは利用者が多いため路線を継続していきたい。		
	系統名: ふれあい福祉バス (日出生線通学便) 事業者名: 玖珠町	日出生公民館前から豊後森駅間の運行 (平日運行)	利用促進のため、総合時刻表を町内の住民に全戸配布を実施し、町内の公共施設等にも配布した。	A	B	新型コロナウイルス感染症の影響が特に3月~4月にあつた。外出自粛の影響もあつたが、小学生や高校生の利用が定期的にあつたため、目標値を達成することができた。 今後は、小学生や高校生が減少していくことも推測されるため、高齢者を含めた一般の方の活用についても検討していく。		
	系統名: ふれあい福祉バス (日出生線ふれあい便) 事業者名: 玖珠町	尾内公民館から福祉センター間の運行 (毎週水曜日の運行)	利用促進のため、総合時刻表を町内の住民に全戸配布を実施し、町内の公共施設等にも配布した。	A	C	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、外出自粛の影響もあつたと思われが目標値を達成できなかった。 水曜日は診療所に先生がくるため、市街地の医療機関に行く必要がないとの意見もあり、曜日の変更や他路線との統合についても検討する。		
	系統名: ふれあい福祉バス (小野原線) 事業者名: 玖珠町	小野原給水施設前から福祉センター間を運行 (毎週水曜日の運行)	利用促進のため、総合時刻表を町内の住民に全戸配布を実施し、町内の公共施設等にも配布した。	A	C	新型コロナウイルス感染症の影響による、外出自粛の影響もあり、目標値を達成できなかった。 固定客の減少や、集落全体の人口の減少、学生の利用が少なくなったことが要因。 路線の変更や、他の路線との統合について検討する。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日

九州運輸局

評価対象事業名: 地上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フリーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
杵築市地域公共交通活性化協議会	三光タクシー(南)	八坂線	市ホームページに掲載し市内外に周知を行った。 また、自治会の会議に出向き乗合タクシーの利用促進のお願いを行うと共に、高齢者の身近にいるケアマネージャーや地域のサロン責任者に、乗合タクシーへの登録の声掛けをお願いした。 免許返納者に対しても乗合タクシーへの登録をお願いした。	A	A	目標値を達成することはできたが、達成できていない月も存在するため、さらなる利用者の増加を目指し、ホームページ、ケーブルテレビ等を活用し利用促進の周知に努めたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の指標は、1便あたりの利用者数。 ・地域の関係者に乗合タクシーの利用登録の声掛けを行っている取組に対し評価します。 ・目標の一部が未達成となっている系統がありますが、その要因が新型コロナウイルス感染症の影響以外にないのかどうかについても分析をお願いします。 ・ホームページやケーブルテレビ等を活用した市民への周知により、更なる利用促進に繋がることを期待します。 	
		北杵築線		A	C	目標値を達成することはできなかったが人口減少が進む地域であって、コロナ禍でも稼働率と利用者は伸びているため、着実に乗合タクシーが周知されつつあると思われる。さらなる利用者の増加を目指し、ホームページ、ケーブルテレビ等を活用し利用促進の周知を行い目標値2.5人/便を達成できるように努めたい。		
	杵築国東合同タクシー(株)	東線		A	B	目標値達成は叶わなかったが、人口減少が進む地域であって、コロナ禍で利用者は伸びているため、着実に乗合タクシーが周知されつつあると思われる。さらなる利用者の増加を目指し、ホームページ、ケーブルテレビ等を活用し利用促進の周知を行い目標値2.0人/便を達成できるように努めたい。		
		大内線		A	A	目標値を達成することはできたが、達成できていない月も存在するため、さらなる利用者の増加を目指し、ホームページ、ケーブルテレビ等を活用し利用促進の周知に努めたい。		
	杵築市	大田線		A	A	目標値を達成することはできたが、達成できていない月も存在するため、さらなる利用者の増加を目指し、ホームページ、ケーブルテレビ等を活用し利用促進の周知に努めたい。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名: 地上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
豊後大野市地域公共交通 活性化協議会	豊後大野市	(コミュニティバスの運行) <三重町> 山田線、小坂線、菅尾線、川辺・向野線、内田線の 運行	地元自治会からの要望に伴うルート変更、停留所の 新設及び発車時刻の変更などを行い、利用促進に努 めた。	A	B	アフターコロナを見据え、自治会等と連携したバスの利用促進策につ いて、大分大学と連携し取組む。 また、利用が長い間ほとんどない区間、バス停等については、トリガー制 度に基づく区間廃止、バス停廃止、運行形態の変更(デマンドへの移行) 等を地元との協議・合意の上、検討・推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の指標は、1人当たり運行コスト、利用者満 足度、利用者数。 ・地元自治体からの要望を反映し、利用促進に取り 組まれていることを評価します。 ・目標の一部が未達成となっている系統がありま すが、その要因が新型コロナウイルス感染症の影響 以外にないのかどうかについても分析をお願いします。 ・R4.11に実施された関係者との連携・協働の取組 を更に深め、地域の諸課題が解決に繋がっていく ことを期待します。 	
		(コミュニティバスの運行) <清川町> 通学東小線、通学西小線、清川・市民病院線の運行						
		(コミュニティバスの運行) <緒方町> 小富士線、上緒方・小富士線、上緒方線、長谷川・ 南部線、長谷川線、南部東線、南部西線の運行						
		(コミュニティバスの運行) <朝地町> 朝地・市民病院線、近地・普光寺線、北部幹線、鳥 屋線、綿田線、臼木線、小川野・志屋線、梨原線、南 部幹線、田夫時線の運行						
		(コミュニティバスの運行) <大野町> 貴原線、岩衫線、古殿線、藤浪線、沢田線、牧原・広 戸線、木浦畑線、田中・市民病院線の運行						
		(コミュニティバスの運行) <千歳町> 下山・前田線、高柴線、石田・大高線、船田線の運 行						
		(コミュニティバスの運行) <犬飼町> 宇津尾木線、高津原線、西寒田線、田原・戸上線の 運行						

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点		
国東市地域公共交通確保維持協議会	国東観光バス㈱ 岐部線 [申請番号1]	伊美～上岐部 (国見中経由)	地域協働推進事業(計画期間:平成25～27年度)の一環である利用助成券制度が好評であったため、取り組みを引き続き実施し、平成31年4月からは利用可能な事業者を拡大した。 また、市内路線図と時刻表が一体となった総合時刻表を作成・配布したり、市の広報誌やホームページで市内の交通施策に関する広報活動を繰り返し行った。 一部地域を対象にアンケート調査も実施した。	A	C	生徒だけでなく、地域住民の利用を促すため、事業者と連携し、助成券などの広報周知をより一層図っていく。	・評価の指標は、年間輸送人員。 ・総合時刻表の作成・配布や広報活動を繰り返し実施されたことに対し評価します。 ・目標値を大きく下回った部分については目標値の水準が適切か等の検討が行われることを期待します。 ・今後も利用状況の把握・分析を行うことにより、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。	
	国東観光バス㈱ 竹田津線 [申請番号2]	国東～竹田津港 (伊美経由)		A	A	児童、生徒だけでなく、地域住民の利用を促すため、事業者と連携し、助成券などの広報周知をより一層図っていく。		
	国東観光バス㈱ 竹田津線 [申請番号3]	国東～伊美 (国見中経由)		A	C	児童、生徒だけでなく、地域住民の利用を促すため、事業者と連携し、助成券などの広報周知をより一層図っていく。		
	国東観光バス㈱ 竹田津線 [申請番号4]	国東～伊美 (小原経由)		A	C	利用者のニーズを調査するなどし、ダイヤ調整を事業者と協議検討する。 地域住民の利用を促すため、事業者と連携し、助成券などの広報周知をより一層図っていく。		
	国東観光バス㈱ 竹田津線 [申請番号5]	国東～伊美 (伊美港経由)		A	C	児童、生徒だけでなく、地域住民の利用を促すため、事業者と連携し、助成券などの広報周知をより一層図っていく。		
	国東観光バス㈱ 赤根線 [申請番号6]	伊美～赤根 (国見中町経由)		A	C	児童、生徒だけでなく、地域住民の利用を促すため、事業者と連携し、助成券などの広報周知をより一層図っていく。		
	国東観光バス㈱ 豊崎線 [申請番号7]	国東～福川 (国中・小原経由)		A	A	児童、生徒だけでなく、地域住民の利用を促すため、事業者と連携し、助成券などの広報周知をより一層図っていく。		
	国東観光バス㈱ 豊崎線 [申請番号8]	国東～福川 (小原経由)		A	C	地域住民の利用を促すため、事業者と連携し、助成券などの広報周知をより一層図っていく。		
	国東観光バス㈱ 文珠線 [申請番号9]	国東～文珠 (小原経由)		A	A	児童、生徒だけでなく、地域住民の利用を促すため、事業者と連携し、助成券などの広報周知をより一層図っていく。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
国東市地域公共交通確保維持協議会	国東観光バス㈱ 文珠線 [申請番号10]	国東～文珠 (国中・小原経由)		A	A	児童、生徒だけでなく、地域住民の利用を促すため、事業者と連携し、助成券などの広報周知をより一層図っていく。		
	国東観光バス㈱ 岩戸寺線 [申請番号11]	国東～岩戸寺上 (国中・小原経由)		A	C	児童、生徒だけでなく、地域住民の利用を促すため、事業者と連携し、助成券などの広報周知をより一層図っていく。		
	国東観光バス㈱ 岩戸寺線 [申請番号12]	国東～岩戸寺上 (小原経由)		A	C	児童、生徒だけでなく、地域住民の利用を促すため、事業者と連携し、助成券などの広報周知をより一層図っていく。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日

九州運輸局

評価対象事業名: 路上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
日出町生活交通確保維持協議会	日出町	南端線	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の指標は、引き続き1便当たりの利用者数。 ・ニーズ調査、利用実態調査については、コロナ禍で通常通りできていない部分もあるが、可能な範囲で実施している。引き続き、利用者の声、町民の声を反映した交通体系を維持していきたい。 ・目標については、今期も未達成となってしまった。コロナ禍から回復した際には達成できるよう、改善策を実施していきたい。 	A	C	新型コロナウイルス感染症の流行以後、利用者が減少している。感染症収束後は元の水準以上の利用にさせるよう、利用状況の把握・分析や周知活動を行っていくとともに、地域公共交通計画の策定とあわせて、より地域の実情に沿った交通体系の整備についても検討する。	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の指標は、1便当たりの乗車人数。 ・ニーズ調査や利用実態調査について、可能な範囲で実施されていることに対し評価します。 ・目標すべてが未達成となったものの、その要因が新型コロナウイルス感染症の影響以外にないのかどうかについても分析をお願いします。 ・RS.10→予定の町全域デマンド交通において、利用状況の把握・分析が定期的の実施され、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。 	
		豊岡線		A	B	新型コロナウイルス感染症の流行以後、利用者が減少している。感染症収束後は元の水準以上の利用にさせるよう、利用状況の把握・分析や周知活動を行っていくとともに、地域公共交通計画の策定とあわせて、より地域の実情に沿った交通体系の整備についても検討する。		
		川崎線		A	C	新型コロナウイルス感染症の流行以後、利用者が減少している。感染症収束後は元の水準以上の利用にさせるよう、利用状況の把握・分析や周知活動を行っていくとともに、地域公共交通計画の策定とあわせて、より地域の実情に沿った交通体系の整備についても検討する。		
	日出町	大神線		A	C	新型コロナウイルス感染症の流行以後、利用者が減少している。感染症収束後は元の水準以上の利用にさせるよう、利用状況の把握・分析や周知活動を行っていくとともに、地域公共交通計画の策定とあわせて、より地域の実情に沿った交通体系の整備についても検討する。		
		藤原一北線		A	C	新型コロナウイルス感染症の流行以後、利用者が減少している。感染症収束後は元の水準以上の利用にさせるよう、利用状況の把握・分析や周知活動を行っていくとともに、地域公共交通計画の策定とあわせて、より地域の実情に沿った交通体系の整備についても検討する。		
		藤原赤松線		A	C	新型コロナウイルス感染症の流行以後、利用者が減少している。感染症収束後は元の水準以上の利用にさせるよう、利用状況の把握・分析や周知活動を行っていくとともに、地域公共交通計画の策定とあわせて、より地域の実情に沿った交通体系の整備についても検討する。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日

九州運輸局

評価対象事業者名: 地上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持改善国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
大分市地域公共交通協議会	大分はとタクシー株式会社 大分シティタクシー株式会社 (1)弓立ルート(通常便:戸次)	弓立～戸次の運行	<p>(令和2年度の事業評価結果) 評価の指標は、 ①年間利用者数 ②稼働率 ③地域検討会の開催状況 ④検討会等への参加者数 毎年、実際に利用している利用者が参加する「地域検討会」を路線ごとに開催し、利用状況の確認及び運行日・時刻の見直しを行い、また、バス事業者とのワーキング会議などをもとに、利用者数の増加に向け沿線住民を対象とした、バス乗り方教室や時刻表の配布を実施し、幹線との乗り継ぎ時刻の調整を図るなど、利用促進に取り組まれていることを評価します。 ①年間利用者数、②目標稼働率の目標が、新型コロナウイルス感染症の影響で達成できなかったため事業評価はBとなっているが、他の目標値(③地域検討会の開催状況、④検討会等への参加者数)は目標を達成している。 今後について、With/Afterコロナを見据えた対策が検討されることを期待します。 また、引き続き利用者のニーズ、利用実態を把握し、継続的に協議を進めて行くことにより持続可能な旅客運送サービスの提供の確保がなされることを期待します。</p> <p>(反映状況) 利用者ニーズや利用実態の把握のために、引き続き地域検討会を開催し、利用者から出た意見や要望に基づき、運行ルート・運行時刻表の見直しを行い</p>	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ●引き続き、ルートごとに毎年開催する「地域検討会」を継続する中で、地域の実情や利用者ニーズの変化に対応した見直しを行いながら、利用者・交通事業者・行政の協働で、以下の事項に取り組む。 <ul style="list-style-type: none"> ・利用実績の評価及び検証 ・地域住民の利用ニーズの把握 ・次年度の運行計画の検討 ・利用促進 ●市内の新型コロナウイルス感染状況を見ながら、自治会と協議の上「運行説明会」の再開を検討するとし、新規利用者の拡大を図るため、事業内容や利用方法等について、登録者だけでなく地区全体への周知に努める。 ●引き続き、停留所に標柱・ベンチの設置を進め、利用環境の向上を図る。 ●引き続き、制度紹介チラシや利用状況報告のチラシを回覧するほか、自治会と連携し、地域への制度説明会を開催する等、広報活動を行うことで、地域全体への周知を図り、新規利用者の拡大に繋げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の指標は、①年間利用者数、②稼働率、③地域検討会の開催状況、④検討会等への参加者数 ・実際の利用者が参加する「地域検討会」を路線ごとに開催するなど、利用促進に取り組まれていることに対し評価します。 ・目標の一部が未達成となっている系統がありますが、その要因が新型コロナウイルス感染症の影響以外にないのかどうかについても分析をお願いします。 ・今後はWithコロナを前提として、可能な取組が実施されることで、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。 	
	大分はとタクシー株式会社 大分シティタクシー株式会社 (2)弓立ルート(通学便:戸次)	弓立～戸次の運行						
	大分はとタクシー株式会社 大分シティタクシー株式会社 (3)弓立ルート(通常便:判田)	弓立～判田局前の運行						
	オーケーはとタクシー株式会社 大分タクシー株式会社 (4)赤仁田ルート	赤仁田～判田局前の運行						
	大分タクシー株式会社 オーケーはとタクシー株式会社 (5)椋原ルート	椋原～判田局前の運行						
	大分タクシー株式会社 オーケーはとタクシー株式会社 (6)中野ルート	中野～戸次の運行						
	野津原タクシー有限公司 (7)上石合ルート	屋形木～野津原支所の運行						
	大分シティタクシー株式会社 (8)延命寺ルート	延命寺～坂ノ市の運行						
	クリスタルシティタクシー株式会社 (9)市尾ルート	木田南部～坂ノ市の運行						
	クリスタルシティタクシー株式会社 (10)屋山ルート	屋山～坂ノ市の運行						
	クリスタルシティタクシー株式会社 (11)折立ルート	折立～坂の市小学校前の運行						
	クリスタルシティタクシー株式会社 (12)道尻ルート	道尻～坂の市小学校前の運行						

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
大分市地域公共交通協議会	クリスタルシティタクシー株式会社 (13)一木ルート	一木～浜入口の運行						
	ワーカーズコープタクシー有限公司 (14)木佐上ルート(馬場:往路)	木佐上～馬場の運行						
	ワーカーズコープタクシー有限公司 (15)木佐上ルート(馬場:復路)	木佐上～馬場の運行						
	ワーカーズコープタクシー有限公司 (16)木佐上ルート(神崎中学校前:往路)	木佐上～神崎中学校前の運行						
	ワーカーズコープタクシー有限公司 (17)木佐上ルート(神崎中学校前:復路)	木佐上～神崎中学校前の運行						
	ワーカーズコープタクシー有限公司 (18)大志生木ルート	大志生木1～大志生木の運行						
	クリスタルシティタクシー株式会社 (19)大黒ルート	大黒～佐賀間の運行						
	臼津交通株式会社 (20)臼関線	佐賀間～臼杵 (補助対象:大分市内のみ)	<p>(令和2年度の事業評価結果) 同上</p> <p>(反映状況) 新たに沿線住民との意見交換会を開催し、路線維持のためのバス利用の意識づけを行った。また、沿線住民へバス時刻表を回覧、配付し、住民の利便性向上や周知を行った。</p>	A	A	<p>●沿線住民への意識づけ 意見交換会開催後の利用状況の変化について効果検証を行う。利用状況やバス時刻表を回覧配布し、路線維持のためのバス利用の意識づけを行う。</p> <p>●沿線施設との連携、利便性向上 バス利用を促進するため沿線施設(商業施設や病院)にバス時刻表を常備する。</p>		
	臼津交通株式会社 (21)臼関線	佐賀間～下浦						
	大分交通株式会社 (22)机張原線	5号地大交車庫前～田室町 ～机張原						
大分交通株式会社 (23)杵原線	5号地大交車庫前～田室町 ～杵原							

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
大分市地域公共交通協議会	大分交通株式会社 (24)机張原線	5号地大交車庫前～西春日町 ～机張原						
	大分交通株式会社 (25)柞原線	5号地大交車庫前～西春日町 ～柞原						
	大分交通株式会社 (26)大分市内線	大分駅前～新川～中大山						
	大分交通株式会社 (27)大分市内線	大分駅前～西春日町～下坂本						

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日

九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
中津市公共交通会議	大交北部バス(株)	申請番号1 路線バス事業 【永添線】 中津駅前～万田～大貞車庫前	市報やHP等を利用したPRやマイ時刻表の作成を行い利用者へのバス利用環境の改善を図った。	A	C	バスの乗り方教室やマイ時刻表の作成などの利用促進を行っていくが、伸び悩む場合は、路線の見直し等を事業者とともに検討する。	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の指標は、系統毎の輸送人員。 ・市報によるPRやマイ時刻表の作成を行うなどして、バスの利用環境改善を図った取組に対し評価します。 ・目標値を大きく下回った部分については目標値の水準が適切か等の検討が行われることを期待します。 ・今後もバスの乗り方教室の実施や必要な路線の見直しを検討するなどして、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。 	
		申請番号2 路線バス事業 【耶馬溪線】 中津駅前～沖代町～野路	市報やHP等を利用したPRやマイ時刻表の作成を行い利用者へのバス利用環境の改善を図った。	A	A	バスの乗り方教室やマイ時刻表の作成などの利用促進を行い、事業者とともに維持に努めていく。		
		申請番号3 路線バス事業 【耶馬溪線】 中津駅前～沖代町～大貞車庫前	市報やHP等を利用したPRやマイ時刻表の作成を行い利用者へのバス利用環境の改善を図った。	A	C	バスの乗り方教室やマイ時刻表の作成などの利用促進を行い、事業者とともに維持に努めていく。		
		申請番号4 路線バス事業 【耶馬溪線】 中津駅前～中津北高～大貞車庫前	市報やHP等を利用したPRやマイ時刻表の作成を行い利用者へのバス利用環境の改善を図った。	A	A	バスの乗り方教室やマイ時刻表の作成などの利用促進を行い、事業者とともに維持に努めていく。		
		申請番号5 路線バス事業 【深秣線】 中津駅～アメニティタウンかみまくさ	市報やHP等を利用したPRやマイ時刻表の作成を行い利用者へのバス利用環境の改善を図った。乗込調査を行い、実際の利用者の声を聴く取組を行った。	A	A	バスの乗り方教室やマイ時刻表の作成などの利用促進を行い、事業者とともに維持に努めていく。		
		申請番号6 路線バス事業 【海岸中高線】 さ原前～鍋島～中津駅前	市報やHP等を利用したPRやマイ時刻表の作成を行い利用者へのバス利用環境の改善を図った。乗込調査を行い、実際の利用者の声を聴く取組を行った。	A	B	来年度は新規バス停を商業施設駐車場内に設置予定であり、利便性を向上させ、利用者の増加を目指す。また引き続きバスの乗り方教室やマイ時刻表の作成などの利用促進を行う。		
		申請番号7 路線バス事業 【田口線】 中津駅前～イオン～八面山荘前	市報やHP等を利用したPRやマイ時刻表の作成を行い利用者へのバス利用環境の改善を図った。乗込調査を行い、実際の利用者の声を聴く取組を行った。	A	B	バスの乗り方教室やマイ時刻表の作成などの利用促進を行っていくが、伸び悩む場合は、路線の見直し等を事業者とともに検討する		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
中津市公共交通会議	大交北部バス(株)	申請番号8 コミュニティバス 【城井線】 旬菜館～本中氏宅前～旬菜館	市報やHP等のPRや乗り方教室などの住民へ周知や乗降調査を行い利用者の意見の収集をした。	A	A	利用促進のPRや沿線住民の利便性向上に即した路線の見直し等を定期的に行っていく。		
		申請番号9 コミュニティバス 【城井線】 平田診療所～本中氏宅前～平田診療所	市報やHP等のPRや乗り方教室などの住民へ周知や乗降調査を行い利用者の意見の収集をした。	A	A	利用促進のPRや沿線住民の利便性向上に即した路線の見直し等を定期的に行っていく。		
		申請番号10 コミュニティバス 【川原口線】 旬菜館～津民診療所～旬菜館	市報やHP等のPRや乗り方教室などの住民へ周知や乗降調査を行い利用者の意見の収集をした。	A	A	利用促進のPRや沿線住民の利便性向上に即した路線の見直し等を定期的に行っていく。		
		申請番号11 コミュニティバス 【上ノ川内榎木線】 旬菜館～津民診療所～旬菜館	市報やHP等のPRや乗り方教室などの住民へ周知や乗降調査を行い利用者の意見の収集をした。	A	B	沿線住民で利用されていない方へPRやニーズの調査を行い、利用促進を図っていく。		
	大交北部バス(株)	申請番号12 コミュニティバス 【大島台金吉線】 耶馬溪支所～下郷診療所～耶馬溪支所	市報やHP等のPRや乗り方教室などの住民へ周知や乗降調査を行い利用者の意見の収集をした。	A	B	沿線住民で利用されていない方へPRやニーズの調査を行い、利用促進を図っていく。		
		申請番号13 コミュニティバス 【大島伊福線】 耶馬溪支所～下郷診療所～耶馬溪支所	市報やHP等のPRや乗り方教室などの住民へ周知や乗降調査を行い利用者の意見の収集をした。	A	C	運行日での診療再開の目処が立っていないため利用者や沿線住民への聞き取りを行い、路線及び運行日の見直し等を事業者とも検討する。		
	耶馬溪交通(有)	申請番号14 コミュニティバス 【榎山路線城線】 耶馬溪支所～下郷診療所～耶馬溪支所	市報やHP等のPRや乗り方教室などの住民へ周知や乗降調査を行い利用者の意見の収集をした。	A	C	運行日での診療再開の目処が立っていないため利用者や沿線住民への聞き取りを行い、路線及び運行日の見直し等を事業者とも検討する。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日

九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
宇佐市地域公共交通会議	大交北部バス網	路線バス (1)乙女	利用者や地域の要望等について、可能な範囲で反映させ、利便性の向上をはかるように努めた。また、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向け取り組んだ。	A	B	有効な対策・施策を積極的にを行いながら地域の公共交通を発展に努めているところであるが、依然として新型コロナウイルスの影響は大きく、利用者数の回復は難しい状況にある。新型コロナウイルスの収束に対して十分に見極めながら、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向けた取り組みを行っていききたい。	<p>・評価の指標は、利用者数。 ・路線図や時刻表の配布などにより、利用者の増加に向けた取組をされたことに対し評価します。 ・目標の一部が未達成となっている系統がありますが、その要因が新型コロナウイルス感染症の影響以外にないかどうかについても分析をお願いします。 ・今後も利用状況の把握・分析を行うことにより、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。</p>	
		路線バス (2)豊州	利用者や地域の要望等について、可能な範囲で反映させ、利便性の向上をはかるように努めた。また、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向け取り組んだ。	A	B	有効な対策・施策を積極的にを行いながら、地域の公共交通を発展に努めているところであるが、依然として新型コロナウイルスの影響は大きい。新型コロナウイルスの収束について十分に見極めながら、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向けた取り組みを行っていききたい。		
		路線バス (3)津房	利用者や地域の要望等について、可能な範囲で反映させ、利便性の向上をはかるように努めた。また、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向け取り組んだ。	A	B	有効な対策・施策を積極的にを行いながら、地域の公共交通を発展に努めているところであるが、依然として新型コロナウイルスの影響は大きい。新型コロナウイルスの収束について十分に見極めながら、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向けた取り組みを行っていききたい。		
		路線バス (4)明治	利用者や地域の要望等について、可能な範囲で反映させ、利便性の向上をはかるように努めた。また、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向け取り組んだ。	A	A	新型コロナウイルスの影響を受けながらも安定した利用者があり、またHPその他による利用促進の効果が実を結び、目標を上回ることができたと思われる。新型コロナウイルスの収束について十分に見極めながら、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の更なる増加に向けた取り組みを行っていききたい。		
		路線バス (5)宇佐参宮	利用者や地域の要望等について、可能な範囲で反映させ、利便性の向上をはかるように努めた。また、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向け取り組んだ。	A	B	有効な対策・施策を積極的にを行いながら、地域の公共交通を発展に努めているところであるが、依然として新型コロナウイルスの影響は大きい。新型コロナウイルスの収束について十分に見極めながら、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向けた取り組みを行っていききたい。		
		コミュニティバス (6)中山・新貝	利用者や地域の要望等について、可能な範囲で反映させ、利便性の向上をはかるように努めた。また、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向け取り組んだ。	A	B	有効な対策・施策を積極的にを行いながら、地域の公共交通を発展に努めているところであるが、依然として新型コロナウイルスの影響は大きい。新型コロナウイルスの収束について十分に見極めながら、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向けた取り組みを行っていききたい。		
		コミュニティバス (7)大内・広谷	利用者や地域の要望等について、可能な範囲で反映させ、利便性の向上をはかるように努めた。また、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向け取り組んだ。	A	A	新型コロナウイルスの影響を受けながらも安定した利用者があり、またHPその他による利用促進の効果が実を結び、目標を上回ることができたと思われる。新型コロナウイルスの収束について十分に見極めながら、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の更なる増加に向けた取り組みを行っていききたい。		
		コミュニティバス (8)長洲・金屋	利用者や地域の要望等について、可能な範囲で反映させ、利便性の向上をはかるように努めた。また、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向け取り組んだ。	A	B	有効な対策・施策を積極的にを行いながら、地域の公共交通を発展に努めているところであるが、依然として新型コロナウイルスの影響は大きい。新型コロナウイルスの収束について十分に見極めながら、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向けた取り組みを行っていききたい。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名: 地上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	二次評価結果	
宇佐市地域公共交通会議	清瀬タクシー(有) 中津太陽交通㈱	コミュニティバス (9)上麻生	利用者や地域の要望等について、可能な範囲で反映させ、利便性の向上をはかるように努めた。また、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向け取り組んだ。	A	B	有効な対策・施策を積極的にを行いながら、地域の公共交通を発展に努めているところであるが、依然として新型コロナウイルスの影響は大きい。新型コロナウイルスの収束について十分に見極めながら、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向けた取り組みを行っていききたい。		
		コミュニティバス (10)麻生・横山	利用者や地域の要望等について、可能な範囲で反映させ、利便性の向上をはかるように努めた。また、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向け取り組んだ。	A	B	有効な対策・施策を積極的にを行いながら、地域の公共交通を発展に努めているところであるが、依然として新型コロナウイルスの影響は大きい。新型コロナウイルスの収束について十分に見極めながら、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向けた取り組みを行っていききたい。		
		コミュニティバス (11)高家・天津	利用者や地域の要望等について、可能な範囲で反映させ、利便性の向上をはかるように努めた。また、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向け取り組んだ。	A	B	有効な対策・施策を積極的にを行いながら、地域の公共交通を発展に努めているところであるが、依然として新型コロナウイルスの影響は大きい。新型コロナウイルスの収束について十分に見極めながら、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向けた取り組みを行っていききたい。		
		コミュニティバス (12)西馬城	利用者や地域の要望等について、可能な範囲で反映させ、利便性の向上をはかるように努めた。また、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向け取り組んだ。	A	B	有効な対策・施策を積極的にを行いながら、地域の公共交通を発展に努めているところであるが、依然として新型コロナウイルスの影響は大きい。新型コロナウイルスの収束について十分に見極めながら、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向けた取り組みを行っていききたい。		
		コミュニティバス (13)柳ヶ浦	利用者や地域の要望等について、可能な範囲で反映させ、利便性の向上をはかるように努めた。また、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向け取り組んだ。	A	A	新型コロナウイルスの影響を受けながらも安定した利用者があり、またHPその他による利用促進の効果が実を結び、目標を上回ることができたと思われる。新型コロナウイルスの収束について十分に見極めながら、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の更なる増加に向けた取り組みを行っていききたい。		
	院内タクシー(有)	コミュニティバス (14)南毛	利用者や地域の要望等について、可能な範囲で反映させ、利便性の向上をはかるように努めた。また、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向け取り組んだ。	A	B	有効な対策・施策を積極的にを行いながら、地域の公共交通を発展に努めているところであるが、依然として新型コロナウイルスの影響は大きい。新型コロナウイルスの収束について十分に見極めながら、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向けた取り組みを行っていききたい。		
		コミュニティバス (15)古川・平ヶ倉	利用者や地域の要望等について、可能な範囲で反映させ、利便性の向上をはかるように努めた。また、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向け取り組んだ。	A	B	有効な対策・施策を積極的にを行いながら、地域の公共交通を発展に努めているところであるが、依然として新型コロナウイルスの影響は大きい。新型コロナウイルスの収束について十分に見極めながら、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向けた取り組みを行っていききたい。		
		コミュニティバス (16)大見尾・熊	利用者や地域の要望等について、可能な範囲で反映させ、利便性の向上をはかるように努めた。また、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向け取り組んだ。	A	A	新型コロナウイルスの影響を受けながらも安定した利用者があり、またHPその他による利用促進の効果が実を結び、目標を上回ることができたと思われる。新型コロナウイルスの収束について十分に見極めながら、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の更なる増加に向けた取り組みを行っていききたい。		
		コミュニティバス (17)福貴野・上内河野	利用者や地域の要望等について、可能な範囲で反映させ、利便性の向上をはかるように努めた。また、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向け取り組んだ。	A	A	新型コロナウイルスの影響を受けながらも安定した利用者があり、またHPその他による利用促進の効果が実を結び、目標を上回ることができたと思われる。新型コロナウイルスの収束について十分に見極めながら、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の更なる増加に向けた取り組みを行っていききたい。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名: 地上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
宇佐市地域公共交通会議	院内タクシー(有)	コミュニティバス (18) 萱籠・釜ノ口 (23) 萱籠・釜ノ口(2)	利用者や地域の要望等について、可能な範囲で反映させ、利便性の向上をはかるように努めた。また、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向け取り組んだ。	A	B	有効な対策・施策を積極的に行いながら、地域の公共交通を発展に努めているところであるが、依然として新型コロナウイルスの影響は大きい。新型コロナウイルスの収束について十分に見極めながら、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向けた取り組みを行っていききたい。		
		コミュニティバス (19) 松本・上ノ原 (24) 松本・上ノ原(2)	利用者や地域の要望等について、可能な範囲で反映させ、利便性の向上をはかるように努めた。また、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向け取り組んだ。	A	B	有効な対策・施策を積極的に行いながら、地域の公共交通を発展に努めているところであるが、依然として新型コロナウイルスの影響は大きい。新型コロナウイルスの収束について十分に見極めながら、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向けた取り組みを行っていききたい。		
		コミュニティバス (20) 高並	利用者や地域の要望等について、可能な範囲で反映させ、利便性の向上をはかるように努めた。また、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向け取り組んだ。	A	B	有効な対策・施策を積極的に行いながら、地域の公共交通を発展に努めているところであるが、依然として新型コロナウイルスの影響は大きい。新型コロナウイルスの収束について十分に見極めながら、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向けた取り組みを行っていききたい。		
		コミュニティバス (21) 田所	利用者や地域の要望等について、可能な範囲で反映させ、利便性の向上をはかるように努めた。また、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向け取り組んだ。	A	B	有効な対策・施策を積極的に行いながら、地域の公共交通を発展に努めているところであるが、依然として新型コロナウイルスの影響は大きい。新型コロナウイルスの収束について十分に見極めながら、路線図や時刻表の配布や、HPでの啓発など、利用者の増加に向けた取り組みを行っていききたい。		
	大交北部バス㈱	コミュニティバス (22) 和気・佐野	主な利用者である高校生の安定した利用のため、高校とも連携しながら、利用者の更なる増加に向け、周知等に取り組んだ。	A	A	高校生の安定した利用があること、また高校側も積極的に周知してくれていることから目標を上回ることができた。新型コロナウイルスの収束について十分に見極め、高校とも連携しながら、利用者の更なる増加に向けた取り組みを行っていききたい。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日

九州運輸局

評価対象事業名: 地上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
豊後高田市地域公共交通会議	宇佐参宮タクシー(有) (株)KCタクシー大分 中津太陽交通(株)	上野線 上野～健康交流センター花いろ～商工会議所	<ul style="list-style-type: none"> ・運行事業者と協力し、便別、停留所別の乗降調査を実施した。 ・市民乗合タクシー時刻表や乗り方の情報を市民向けに配信した。 ・個人向けの乗継ダイヤを掲載したマイ時刻表を作成し、利用率向上に努めた。 ・利用促進を図るために、市報、ホームページ、ケーブルテレビ等の市の広報媒体を活用した情報発信を行った。 	A	C	医療機関の送迎サービスが普及した地域であり、利用者数は減少傾向である。	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の指標は、1便当たりの利用者数。 ・①便別、停留所別の乗降調査の実施 ②市民乗合タクシーの時刻表や乗り方情報を市民に配信 ③乗継ダイヤを掲載したマイ時刻表の作成 ④市報等の広報媒体を使い利用促進を図る の取組をされたことに対し評価します。 ・目標の一部が未達成となっている系統がありますが、その要因が新型コロナウイルス感染症の影響以外にないのかどうかについても分析をお願いします。 ・今後も利用状況の把握・分析を行うことにより、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。 	
		並石線 大日大橋～健康交流センター花いろ～商工会議所		A	B	利用者数が多い路線であるが、新型コロナの影響もあり、利用率は目標値を下回った。今後も地域住民の意見を反映しながら、さらなる利用拡大と効果的な運行に努める。		
		長岩屋線 三畑公民館～健康交流センター花いろ～商工会議所		A	B	人口減が進んでいる地域であるが、運転免許を持たない高齢者の貴重な生活交通手段となっている。利用実態の把握に努めるとともに、利用者の意向調査等を行い効果的な運行を検討していく。		
		草地線 長添～スーパーあさの～商工会議所		A	A	利用者数は減少傾向にあるが、運転免許を持たない高齢者の生活に欠かせない交通手段であるため、利用実態の把握に努め、効果的な運行を検討していく。また、路線バスと接続を考慮した運行となるよう調整していく。		
		黒土線 小河内～スバランド真玉～スーパーまたま		A	B	利用者数は減少傾向にあるが、高齢者の生活に欠かせない交通手段である。今後も地域住民の意見を聞き取り反映しながら、効率的な運行に努める。		
		臼野線 山畑～臼野公民館～スーパーまたま		A	A	目標値を達成できた。市中心部へ移動する路線バスへの乗り継ぎも多く、今後も利用促進に努める。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名: 地上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
豊後高田市地域公共交通会議	香国タクシー	熊野線 田楽平野～健康交流センター花いろ～商工会議所		A	A	利用者が多い路線であるが、コロナ禍の影響を受けた昨年度までと比較し、一定程度回復することができた。今後も地域住民の意見を反映しながら、さらなる利用拡大と効果的な運行に努める。		
		夷線 夷谷温泉～西夷公民館～10-1構造改善センター	・運行事業者と協力し、便別、停留所別の乗降調査を実施した。 ・市民乗合タクシー時刻表や乗り方の情報を市民向けに配信した。 ・個人向けの乗継ダイヤを掲載したマイ時刻表を作成し、利用率向上に努めた。	A	B	温泉施設の利用者減の影響もあり、利用者が減少した。人口の少ない地域であるが、市中心部へ移動する路線バスへの乗り継ぎや温泉施設への利用等に必要な系統であるため、今後も利用促進に努める。		
		小畑線 夷谷温泉～三浦郵便局～サンクリニック	・利用促進を図るために、市報、ホームページ、ケーブルテレビ等の市の広報媒体を活用した情報発信を行った。	A	C	昨年は回復基調にあったものの、温泉施設の利用者減の影響もあり、利用者が減少した。人口の少ない地域であるが、市中心部へ移動する路線バスへの乗り継ぎや温泉施設への利用等に必要な系統であるため、今後も利用促進に努める。		
		羽根線 夷谷温泉～羽根上公民館～サンクリニック		A	A	前年を上回る利用があり、一人あたりの財政負担額も減少した。人口の少ない地域であるが、市中心部へ移動する路線バスへの乗り継ぎや温泉施設への利用等に必要な系統であるため、今後も利用促進に努める。		
	宇佐参宮タクシー(有) (株)KCタクシー大分 中津太陽交通(株)	呉崎線(デマンド型) 呉崎11・12～呉崎地域～商工会議所	・運行事業者と協力し、便別、停留所別の乗降調査を実施した。 ・市民乗合タクシー時刻表や乗り方の情報を市民向けに配信した。 ・個人向けの乗継ダイヤを掲載したマイ時刻表を作成し、利用率向上に努めた。	A	C	利用者数の減少により路線定期運行からデマンド運行に移行した系統である。 他の区域運行路線とあわせ、運行制度を変更し、利用促進を図る。		
		西真玉線(デマンド型) 湯原上～西真玉地域～スーパーまたま	・利用促進を図るために、市報、ホームページ、ケーブルテレビ等の市の広報媒体を活用した情報発信を行った。	A	B	利用者数の減少により路線定期運行からデマンド運行に移行した系統である。 利用者はわずかであるため、運行効率を考慮し、運行方法の見直しを行う。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日

九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	
由布市地域公共交通活性化 協議会	大分バス株式会社	阿蘇野コース	本系統の利用地域は地元商店もなく、高齢化率が60%弱と高齢化が進行している地域である。地域の足を確保維持するために利用促進のための周知や利便性向上のための検討を行った。	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の指標は、年間輸送人員。 ・水中運動利用者に対する無料乗車券の交付など、利用促進について取り組まれていることに対し評価します。 ・目標が未達成であったものの、その要因が新型コロナウイルス感染症の影響以外にないのかどうかについても分析をお願いします。 ・協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることによって、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。 	
		シャトル (大学病院⇄庄内庁舎)	シャトルについては、毎週水曜日の水中運動利用者へ無料乗車券の交付を行うことで利用促進を行った。	A	B		
		スクールバス阿蘇野コース	スクールバスについては、入学予定の児童へ利用に関するお知らせを各小学校で行うことで利用の呼びかけを行った。	A	B		
		スクールバス大津留コース	スクールバスについては、入学予定の児童へ利用に関するお知らせを各小学校で行うことで利用の呼びかけを行った。	A	B		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名: 路上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	
竹田市地域公共交通確保維持協議会	大野竹田バス株式会社	高伏・上町線	アフターコロナを見据えてJR九州・阿蘇市との連携事業で二次交通に関する実証運行を行い、合わせて市内路線バスの利用促進を行った。引き続き、観光との連携を検討しながら路線維持、利用促進に取り組む。	A	C	市の主要観光地である長湯温泉に最短で接続する路線である。アフターコロナを見据えた利用促進を検討するとともに、観光事業者と協力して路線維持に向け協力する取り組みを検討する。	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の指標は、輸送人員。 ・アフターコロナを見据えた観光との連携、ケアマネジャーの会議などを利用したカモシカ号の利用促進の取組に対し評価します。 ・目標の一部が未達成であった系統があるものの、新型コロナウイルス感染症の影響の中であることを踏まえれば、一定の評価ができると考えます。 ・今後もアフターコロナを見据えた利用促進策を検討することで、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。
		甘檫線	依然としてコロナの影響はあるが、休校はなく通学の足として安定して運行することができた。沿線小学校の統廃合が検討されており、それに合わせスクールバスへの切り替えが予定されている。引き続き他路線との複線化を含め検討を進める。	A	A	市内の主要商業施設へ接続する路線であり、枝線となっている渡瀬線との複線化を含めて、ダイヤ、経路の見直しを検討する。アフターコロナを見据えた利用促進を検討するとともに、都市間の循環についても検討する。	
	中央タクシー株式会社 竹田合同タクシー株式会社	姫岳コース・宮砥コース	自治会を訪問しての説明は新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み中止したが、ケアマネジャーの会議などを利用し、カモシカ号の説明や利用促進を行った。乗降データについて、分析を行い事業に反映した。	B	C	アフターコロナを見据えた利用促進を検討する。新型コロナウイルス感染症の状況次第ではあるが、自治会単位や地域単位での説明会を検討する。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
別府市公共交通活性化協議会	大分交通株式会社	関の江田地線 亀川駅～亀川新川～関の江車庫前	運行ルートやダイヤの見直し、便数の増減に向けて検討した。 また、利用者のニーズ把握のため乗降調査、乗込み調査を実施した。	B	C	市民・交通事業者・行政の連携でニーズに沿った路線として導入された当初に比べ、利用が減少しているため、乗降調査等の結果を踏まえ、生活圏のニーズに対応するサービス内容を再検証する。	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の指標は、年間輸送人員。 ・利用者のニーズ把握のために、乗降調査及び乗込調査を実施されたことに対し評価します。 ・目標が未達成であったものの、その要因が新型コロナウイルス感染症の影響以外にないのかどうかについても分析をお願いします。 ・協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることによって、持続可能な公共交通体系が構築されることを期待します。 	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名: 地上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
都市地域公共交通会議	有限会社 銀星タクシー	○運行区間: 都市市山之口町 北東部⇄中心部 ○運行日: 火・金曜日 ○運行回数 1日往復3.5回※デマンド運行	○ 定期運賃の導入、宮交路線バスの一部区間の廃止に伴う温泉便の創設で、利用者が増加している。また、様々な地域の会合等で、非利用者への周知を図り、更なる新規利用者の開拓を進めた。	A	A	○ 新規利用者開拓のため、市と社会福祉協議会等が連携し、移動支援が必要な人に直接PRする。 ○ 来年度予定している地域公共交通計画を策定する際に、地域内のニーズ等を調査・分析し、利用者増に繋がる施策を検討する。	・評価指標は、路線毎の1便当たりの利用者数。 ・地域住民への利用促進活動のほか、温泉施設への接続や商業施設との連携を模索するなど新規利用者の獲得に向け取り組まれていることを評価します。 ・目標の一部が未達成であるものの、新型コロナウイルス感染症の影響の中であることを踏まえれば、一定の評価が出来ると考えています。今後は、新型コロナウイルス感染症以外の影響についても分析を行い、対応策に反映されることを期待します。 ・今後も利用状況の把握・分析を行うことにより、効率的な利用促進が実施されることを期待します。	
		○運行区間: 都市市山之口町 南部⇄中心部 ○運行日: 月・水・木曜日 ○運行回数: 1日往復3回※デマンド運行	○ 定期運賃の導入、宮交路線バスの一部区間の廃止に伴う温泉便の創設で、利用者が増加している。また、様々な地域の会合等で、非利用者への周知を図り、更なる新規利用者の開拓を進めた。	A	A	○ 新規利用者開拓のため、市と社会福祉協議会等が連携し、移動支援が必要な人に直接PRする。 ○ 来年度予定している地域公共交通計画を策定する際に、地域内のニーズ等を調査・分析し、利用者増に繋がる施策を検討する。		
	都市市	○運行区間: 都市市庄内地区 東西町平田乙房線 ○運行日: 月・火・木・金曜日 ○運行回数: 1日往復2回 ※路線定期	○ 新規利用者開拓のため、地域の社会福祉協議会と連携し、商業施設と運動した企画便(買物ツアー)を実施予定。 ○ 地域の包括支援センターと連携し、高齢者への周知(営業)活動を実施した。	A	B	○ 新規利用者開拓のため、市と社会福祉協議会等が連携し、移動支援が必要な人に直接PRする。 ○ 来年度予定している地域公共交通計画を策定する際に、地域内のニーズ等を調査・分析し、利用者増に繋がる施策を検討する。		
	都市市	○運行区間: 都市市庄内地区 関之尾川崎栗子野線 ○運行日: 月・火・木・金曜日 ○運行回数: 1日往復2回 ※路線定期	○ 新規利用者開拓のため、地域の社会福祉協議会と連携し、商業施設と運動した企画便(買物ツアー)を実施予定。 ○ 地域の包括支援センターと連携し、高齢者への周知(営業)活動を実施した。	A	A	○ 新規利用者開拓のため、市と社会福祉協議会等が連携し、移動支援が必要な人に直接PRする。 ○ 来年度予定している地域公共交通計画を策定する際に、地域内のニーズ等を調査・分析し、利用者増に繋がる施策を検討する。		
	都市市	○運行区間: 都市市夏尾町及び山田町 Aコース ○運行日: 月・水・金曜日 ○運行回数: 1日往復2.5回※デマンド運行	○ 「こけないからだづり講座」の9会場にて、アンケート調査やヒアリング調査を実施した。 ○ 温泉施設、商業施設と運動した企画便の運行を検討中。	A	B	○ 新規利用者開拓のため、市と社会福祉協議会等が連携し、移動支援が必要な人に直接PRする。 ○ 来年度予定している地域公共交通計画を策定する際に、地域内のニーズ等を調査・分析し、利用者増に繋がる施策を検討する。		
	都市市	○運行区間: 都市市山田町 Bコース ○運行日: 火・木・土曜日 ○運行回数: 1日往復2.5回※デマンド運行	○ 「こけないからだづり講座」の9会場にて、アンケート調査やヒアリング調査を実施した。 ○ 温泉施設、商業施設と運動した企画便の運行を検討中。	A	B	○ 新規利用者開拓のため、市と社会福祉協議会等が連携し、移動支援が必要な人に直接PRする。 ○ 来年度予定している地域公共交通計画を策定する際に、地域内のニーズ等を調査・分析し、利用者増に繋がる施策を検討する。		
	都市市	○運行区間: 都市市山田町 Cコース ○運行日: 水・金曜日 ○運行回数: 1日往復2.5回※デマンド運行	○ 「こけないからだづり講座」の9会場にて、アンケート調査やヒアリング調査を実施した。 ○ 温泉施設、商業施設と運動した企画便を検討中。	A	C	○ まずは利用してもらうために、上記路線と同様の対策を実施しながら、運行内容の見直しを検討する。 ○ 放課後児童クラブの課外活動等と連携し、利用促進を図る。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名: 路上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
延岡市地域公共交通活性化協議会	(株)あさひ観光バス ○北方線9系統	①美々地線	・協議会で検討し、承認を受けた生活交通確保維持改善計画どおりに乗合タクシーの運行を実施し、路線の維持・確保を図った。	A	B	・利用が低迷している路線においては、利用者へのアンケートや意見交換会等を実施し、より使い勝手の良い経路・時刻表に見直しを行っていく。 ・市の福祉部門が実施する、公共交通を活用した介護予防事業(高齢者が路線バス、コミュニティバス等を利用して通うことができる場所で介護予防に関するプログラムを実施することで、運転免許証を返納した方も参加することができる。また、路線バス、コミュニティバス等の待ち時間を活用して買い物等の生活機能全般の維持向上を目指す。)により利用を促す。 ・令和5年度に地域公共交通計画の策定を計画しており、その動きに合わせて今一度、現状等の整理や評価を実施し、最適な路線の構築を検討していく。	・評価の指標は、路線毎の1便当たりの利用者数。 ・地域住民の意見を踏まえた路線見直し・ダイヤ改正に取り組みされていることを評価します。 ・自己評価については、新型コロナウイルス感染症以外の影響を含め利用の増・減要因を分析し、そこから対応策につなげていくこともご検討願います。 ・今後も、平成31年3月に策定した地域公共交通計画(旧・地域公共交通網形成計画)に基づき、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。	
		②鹿川線			C			
		③二股線			C			
		④猿渡線			B			
		⑤三ヶ村線			A			
		⑥大保下線			B			
		⑦下崎・笠下黒原線			C			
		⑧片内・菅原線			A			
		⑨上中尾線			C			
	〈共同運行〉 宮崎第一交通(株) 延岡グリーンタクシー(株) 宮交タクシー(株) (株)扇興タクシー ○北浦線3系統 ○旧延岡線4系統	⑩下塚線	・協議会で検討し、承認を受けた生活交通確保維持改善計画どおりに乗合タクシーの運行を実施し、路線の維持・確保を図った。 ⑬、⑭、⑮、⑯においては、地域住民からの要望を基に、令和4年4月から経路変更を行った。	A	C	・特に利用が低迷している路線において、利用者を集めた意見交換会(新型コロナウイルスの状況によりアンケート)を実施し、より使い勝手の良い経路・時刻表に見直しを行っていく。 ・路線⑬、⑯は令和4年11月に地域住民との意見交換会を実施し、移動需要の把握を行った。令和5年2月から経路・時刻表の見直しを行う予定。 ・市の福祉部門が実施する、公共交通を活用した介護予防事業(高齢者が路線バス、コミュニティバス等を利用して通うことができる場所で介護予防に関するプログラムを実施することで、運転免許証を返納した方も参加することができる。また、路線バス、コミュニティバス等の待ち時間を活用して買い物等の生活機能全般の維持向上を目指す。)により利用を促す。 ・令和5年度に地域公共交通計画の策定を計画しており、その動きに合わせて今一度、現状等の整理や評価を実施し、最適な路線の構築を検討していく。		
		⑪市尾内線			A			
		⑫三川内線			A			
		⑬上三輪・貝の畑～祇園線			B			
		⑭安井・神戸～レーヨン線			A			
		⑮須佐～大武線			A			
		⑯小川、平田～祇園線			C			

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
延岡市地域公共交通活性化協議会	延岡市 ※自家用有償旅客運送 ○北川線4系統	⑰上赤線	・協議会で検討し、承認を受けた生活交通確保維持改善計画どおりにコミュニティバスの運行を実施し、路線の維持・確保を図った。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・特に利用が低迷している路線において、利用者を集めた意見交換会(新型コロナウイルスの状況によりアンケート)を実施し、より使い勝手の良い経路・時刻表に見直しを行っていく。 ・路線⑱は地域住民の要望により令和5年以降に経路の見直しを行う予定。 ・市の福祉部門が実施する、公共交通を活用した介護予防事業(高齢者が路線バス、コミュニティバス等を利用して通うことができる場所で介護予防に関するプログラムを実施することで、運転免許証を返納した方も参加することができる。また、路線バス、コミュニティバス等の待ち時間を活用して買い物等の生活機能全般の維持向上を目指す。)により利用を促す。 ・令和5年度に地域公共交通計画の策定を計画しており、その動きに合わせて今一度、現状等の整理や評価を実施し、最適な路線の構築を検討していく。 		
		⑱下塚線			B			
⑲瀬口線		A						
⑳家田線		C						
	宮崎交通㈱ ○1系統	㉑まちなか循環バス	<ul style="list-style-type: none"> ・協議会で検討し、承認を受けた生活交通確保維持改善計画どおりにまちなか循環バスの運行を実施し、路線の維持・確保を図った。 ・8月の小学生運賃無料期間に合わせて、乗車するとプレゼントが当たるキャンペーンを実施した。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生の運賃無料期間に合わせてキャンペーンを引き続き実施する。 ・自治会、高齢者クラブ等を対象としたバスでの「お出かけ企画」にてまちなか循環バスを活用する。 ・路線バスの観光モデルコースを掲載したガイドブックにまちなか循環バスの沿線店舗や施設を掲載しPRする。 ・市の福祉部門が実施する、公共交通を活用した介護予防事業(高齢者が路線バス、コミュニティバス等を利用して通うことができる場所で介護予防に関するプログラムを実施することで、運転免許証を返納した方も参加することができる。また、路線バス、コミュニティバス等の待ち時間を活用して買い物等の生活機能全般の維持向上を目指す。)により利用を促す。 ・令和5年度に地域公共交通計画の策定を計画しており、その動きに合わせて今一度、現状等の整理や評価を実施し、最適な路線の構築を検討していく。 		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名: 路上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
小林市地域公共交通活性化協議会	小林市	小林－上九瀬線	様々な機会において、利用促進を図った。	A	A	須木区域唯一の路線であり、通学で利用している利用者がいるため、維持・存続が不可欠である。区域住民と連携して新規利用者の開拓を図り、引き続き利用者増加に向けた取組を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の指標は、路線毎の年間利用者数。 ・広報紙等を活用し利用促進に取り組みられていることを評価します。 ・自己評価については、新型コロナウイルス感染症以外の影響を含め月毎の利用の増・減要因を分析し、そこから対応策につなげていくことも検討願います。 ・今後も、令和4年3月に策定した地域公共交通計画に基づき、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。 	
		小林－鶴野循環線		A	C	運行経路の見直しやダイヤ改正等により、地域のニーズに沿った路線への転換を図る。		
		小林－岡原循環線		A	B	時刻表の配布やイベント時のPR活動、広報紙を活用した意識啓発活動によって利用促進を図る。		
		小林－種畜牧場線		A	C	運行経路の見直しやダイヤ改正等により、地域のニーズに沿った路線への転換を図る。		
		小林－南ヶ丘線		A	B	時刻表の配布やイベント時のPR活動、広報紙を活用した意識啓発活動によって利用促進を図る。		
		小林－環野－千歳線		A	B	時刻表の配布やイベント時のPR活動、広報紙を活用した意識啓発活動によって利用促進を図る。		
		小林－運動公園循環線		A	C	運行経路の見直しやダイヤ改正等により、地域のニーズに沿った路線への転換を図る。		
		小林－深草循環線		A	C	運行経路の見直しやダイヤ改正等により、地域のニーズに沿った路線への転換を図る。		
		小林－大出水循環線		A	A	様々な機会において、利用促進を図ったことにより目標値を達成した。引き続き、地域のニーズ把握に努め、利用促進を図る。		
		小林－三松循環線		A	A	複数の病院や商業施設を経由する路線であり、主要施設を循環するバスとして維持・存続が不可欠である。引き続き、イベント時のPR活動、広報紙を活用した意識啓発活動によって利用促進を図る。		
小林－上原循環線	A	A	運行日の見直し等を実施したことにより目標値を達成した。引き続き、地域のニーズ把握に努め、利用促進を図る。					

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フリーゲート系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
日向市地域公共交通会議	日向市	東1コース (イオンタウン日向・櫛の山)	・後期高齢者医療保険証送付時に市民バスの照会チラシを同封し周知を図った。	A	B	・高齢者向けスマホ教室等に出向き、市民バスの周知や無料乗車券の配布により体験乗車をさせていただくことで、新規利用者の獲得を図る。 ・運転免許の自主返納者に対して市民バス利用を促す。 ・利用促進を図るために、ダイヤや路線の見直しを検討する。	・評価の指標は、路線毎の年間利用者数。 ・地域住民に対する事業の認知度向上、利用促進や新型コロナウイルスの感染防止対策の徹底などの利用環境の改善に取り組まれていることを評価します。	
		東2コース1(イオンタウン日向・水ヶ浦公園・幡浦) 東2コース2(イオンタウン日向・幡浦)	・出前教室や、スマホ教室に出向き、市民バス紹介チラシや、体験乗車ができるよう無料乗車券を配布し新規利用者の獲得を図った。					
		西1コース1 (比良町・小原)	・南部ぶらっとバスについて、市民の要望により経路変更の試験運行をおこない、R4.10.1からの本格運行につなげた。					
		西1コース1 (比良町・奥野)	・車載モニターにて感染防止啓発内容を放映し、空気浄化装置や消毒液の設置、座席の消毒、換気を行い、安心して利用できる環境づくりに努めた。					
		西2コース (本谷・新財市)						
		南1コース1 (比良町・向洋台)						
		南2コース (長江団地入口・往還)						
		北1コース (花ヶ丘・日向台・亀崎)						
		北2コース (大王谷・梶木)						
美々津日向市駅線コース1 美々津日向市駅線コース2 美々津日向市駅線コース3			A	A				

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名: 地上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
日向市地域公共交通会議	日向市	田野羽坂線		A	A	・高齢者向けスマホ教室等に出向き、市民バスの周知や無料乗車券の配布により体験乗車をしていただくことで、新規利用者の獲得を図る。 ・運転免許の自主返納者に対して市民バス利用を促す。 ・利用促進を図るために、ダイヤや路線の見直しを検討する。		
		仲深坪谷越表線	・後期高齢者医療保険証送付時に市民バスの照会チラシを同封し周知を図った。 ・出前教室や、スマホ教室に出向き、市民バス紹介チラシや、体験乗車ができるよう無料乗車券を配布し新規利用者の獲得を図った。	A	A			
		福瀬小野田線	・まちづくり協議会と連携し、地区別時刻表の全戸配布を行った。	A	A			
		仲深坪谷線	・車両を更新し、安全性の向上と利用機運の醸成を図った。 ・空気浄化装置を設置し、安心して利用できる環境づくりに努めた。	A	B			
		鶴野内迫野内八重原線		A	A			
		寺迫庭田線	・後期高齢者医療保険証送付時に市民バスの照会チラシを同封し周知を図った。	A	A			
		飯谷田の原線	・出前教室や、スマホ教室に出向き、市民バス紹介チラシや、体験乗車ができるよう無料乗車券を配布し新規利用者の獲得を図った。	A	C			
		鶯毛羽木線	・空気浄化装置を設置し、安心して利用できる環境づくりに努めた。	A	A			

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日

九州運輸局

評価対象事業名: 地上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
西都市地域公共交通会議	三和交通株式会社	(1)平野・石尾線 西都ショッピングセンター～石尾	利用者の意見を踏まえ、R3.10月より運行日を変更するとともに、一部のダイヤについてAコープ経由へ経路変更を行った。	A	B	前年度より運行日が1日減ったが、1便当たりの利用者は増加し、効率化が図られた。今後も定期的に意見聴取を行い状況を見ながら、継続的に見直しを検討する。	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の指標は、路線毎の年間利用者数。 ・利用者の意見を踏まえた路線の見直しやダイヤ改正など利便性向上に取り組みられていることを評価します。 ・自己評価については、新型コロナウイルス感染症以外の影響を含め月毎の利用の増・減要因を分析し、そこから対応策につなげていくことも検討願います。 ・今後も利用状況の把握・分析を行うことにより、効率的な利用促進が実施されることを期待します。 	
		(2)長谷線 西都ショッピングセンター～上長谷	利用者の意見を踏まえ、R3.10月より運行日を変更するとともに、一部のダイヤについてAコープ経由へ経路変更を行った。	A	C	前年度より運行日が1日増え、利便性は向上し、昨年度より利用者も増加している。今後も定期的に意見聴取を行い状況を見ながら、継続的に見直しを検討する。		
		(3)山田・上沖線 西都ショッピングセンター～中山	利用者の声を受けてR3.10月より、一部のダイヤについてAコープ経由へ経路変更を行った。	A	B	利用者の声を受けて今年度から一部の便について商業施設を経由するよう経路を変更した。定期的に意見聴取を行い、下校利用等の状況を見ながら、継続的に見直しを検討する。		
		(4)岩爪線 西都ショッピングセンター～岩爪	利用者の声を受けてR3.10月より、一部のダイヤについてAコープ経由へ経路変更を行った。	A	B	利用者の声を受けて今年度から一部の便について商業施設を経由するよう経路を変更した。定期的に意見聴取を行い、下校利用等の状況を見ながら、継続的に見直しを検討する。		
		(5)長園線 西都ショッピングセンター～長園	利用者の声を受けてR3.10月より、一部のダイヤについてAコープ経由へ経路変更を行った。	A	B	利用者の声を受けて今年度から一部の便について商業施設を経由するよう経路を変更した。定期的に意見聴取を行い、下校利用等の状況を見ながら、継続的に見直しを検討する。		
		(6)岩井谷・並木線 並木～西都ショッピングセンター	見直しに向けて検討を行ったが、特段の変更は行っていない。	A	A	定期的に意見聴取を行い状況を見ながら、継続的に見直しを検討する。		
		(7)穂北線 西都ショッピングセンター～尾吐	利用状況に合わせて、R3.10月より、運行日を週6日から週4日に変更し、効率化を図った。	A	B	今年度から利用状況に合わせて運行日を変更し、路線の効率化を図ったが、粟米良地区での利用が減少しているため、利用状況に応じて見直しを検討する。		
	宮崎タクシー株式会社	(9)竹尾・平原線 平原公民館～西都バスセンター	利用者の意見を受けR3.10月より、利用の少なかったダイヤを見直し、利便性の向上を図っている。	A	B	今年度から利用の少なかったダイヤを見直し、利便性の向上が図られた。定期的に意見聴取を行い状況を見ながら、継続的に見直しを検討する。		
		(10)加勢・小豆野線 小豆野～西都バスセンター	利用者の意見を受けR3.10月より、利用の少なかったダイヤを見直し、利便性の向上を図っている。	A	B	今年度から利用の少なかったダイヤを見直し、利便性の向上が図られた。定期的に意見聴取を行い状況を見ながら、継続的に見直しを検討する。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日

九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
高原町地域公共交通会議	宮交タクシー株式会社	不定期路線運行: 小久保線 [月・木・金] 8:30から11:47まで	利用者・事業者への意見聴取内容を踏まえ定時運行から予約による運行へと変更を行うとともに、金曜日の運行を追加し、利用者の利便性の向上、定着に努めた。住民に対し、運行状況等の説明、利用の呼びかけを行った。	A	A	<p>利便性の向上を目指し運行形態の変更等を行っているが、令和3年度と比べてA評価の路線が減る結果となった。</p> <p>今後一層、利用状況の把握、利用者や事業者等への意見聴取を継続的にしながら、必要に応じた、ルート・ダイヤ等の見直し、検討を進めていく必要がある。</p> <p>また、公共交通に対する町民への関心を高めるため、広報紙への情報掲載(利用実績等)も継続して行っていく。</p> <p>一方で、改良後も効果が見られず、利用者数が著しく低い路線は、大幅なルート改善及び休廃止等も含めて運行形態の見直しを検討していくこととする。</p>	<p>・評価の指標は、路線毎の年間利用者数。</p> <p>・利用者等の意見や利用実態を踏まえた運行形態へ見直すなど運行の効率化、利便性向上に取り組みられていることを評価します。</p> <p>・自己評価については、新型コロナウイルス感染症以外の影響を含め月毎の利用の増・減要因を分析し、そこから対応策につなげていくこともご検討願います。</p> <p>・今後も、令和元年9月に策定した地域公共交通計画(旧・地域公共交通網形成計画)に基づき、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。</p>	
	宮交タクシー株式会社	定期路線運行: 後川内線 [火・金・土] 8:15から15:25まで	利用者・事業者への意見聴取内容を踏まえたダイヤ・ルートによる運行を継続し、利用者の利便性の向上、定着に努めた。住民に対し、運行状況等の説明、利用の呼びかけを行った。	A	B			
		定期路線運行: 湯之元蒲牟田線 [水・土] 8:20から11:58まで	利用者・事業者への意見聴取内容や現状の利用状況を踏まえて、不定期路線として運行を継続した。住民に対し、運行状況等の説明、利用の呼びかけを行った。	A	C			
		不定期路線運行: 常盤台線 [月・木] 8:29から11:43まで	利用者・事業者への意見聴取内容や現状の利用状況を踏まえて、不定期路線として運行を継続した。住民に対し、運行状況等の説明、利用の呼びかけを行った。	A	C			

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日

九州運輸局

評価対象事業名: 路上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
高鍋町地域公共交通会議	宮交タクシー株式会社	竹嶋線 (竹嶋～めいりんの湯)	公共交通マップの更新や、町のお知らせ文書やホームページでの運行状況の周知を継続して実施した。例年取り組んでいるバスの乗り方教室については計画をするも新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を受け実施することができなかった。	A	A	新規利用者の増加を目指し、令和4年10月よりデマンド交通(乗合タクシー)へ運行形態を変更。町広報やホームページ等を利用して周知の強化を図る。また、バスの乗り方教室や出前講座といったモビリティマネジメントを行い、公共交通の利用促進を図る。デマンド交通への運行形態変更後も、住民の利用ニーズに即した運行方法や情報の周知等を検討していく。	・評価の指標は、路線毎の年間利用者数。 ・広報誌やホームページを活用し事業の認知度向上や利用促進に取り組まれていることを評価します。 ・目標の一部が未達成であるものの、新型コロナウイルス感染症の影響の中であることを踏まえれば、一定の評価が出来ると考えます。今後は、新型コロナウイルス感染症以外の影響についても分析を行い対応策に反映されることを期待します。 ・引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることを期待します。また、今後、協議会において自治体等が主体となり、関係者との協議を経つつ、地域の公共交通計画を策定されることを期待します。	
		老瀬線 (老瀬～めいりんの湯)		A	B			
		蚊口浜線 (蚊口浜～めいりんの湯)		A	C			
		堀の内団地線 (堀の内団地～めいりんの湯)		A	A			

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日

九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	
川南町地域公共交通会議	三和交通株式会社	(1)(2)定期路線運行: 尾鈴通浜線 (運行時間7:30~8:30) R03. 10~R04. 9	バス停へ設置していた時刻表の更新を行った。 町立小中学校(4校)に対し、トロンバスを活用した利用方法等の説明を行った。 長寿会へトロンバスの運行態様の説明を行った。	A	C	医療機関1院の廃院及び新型コロナウイルスの影響を受け、利用者が減少した。今後は、利用者へウイルス感染防止対策を実施してもらった上で、利用者の利用状況や意見を継続的に検討を行い、ダイヤ等の見直し・検討を行うとともに、利用促進や定着にむけた取組を行っていく。	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の指標は、路線定期運行全体での月間利用者数、区域運行全体での利用登録者数及び月間利用者数。 ・出前講座を実施しコミュニティバスの利用方法等を周知するなどの利用促進に取り組まれていることを評価します。 ・自己評価については、新型コロナウイルス感染症以外の影響を含め利用の増・減要因を分析し、そこから対応策につなげていくこともご検討願います。 ・今後も利用状況の把握・分析を行うことにより、効率的な利用促進が実施されることを期待します。 ・今後、協議会において自治体が主体となり、関係者との協議を経つつ、地域の公共交通のマスタープランとして地域公共交通計画を策定されることを期待します。
		(3)オンデマンド運行: 町内全域 (運行時間8:40~18:00) R03. 10~R04. 9	町立小中学校(4校)に対し、トロンバスを活用した利用方法等の説明を行った。 長寿会へトロンバスの運行態様の説明を行った。	A	B		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
門川町地域公共交通会議	宮崎県タクシー協会 日向支部	①牧山線	町の公式LINEアカウントにガイドブックを掲載することで、利用促進を図った。 停留所の時刻表の張替えを行い、利用環境の改善を図った。	A	A	他の路線と比べ利用者が多いが、昨年度より利用者が減少した。新型コロナウイルス感染症の影響もあると思うが、周知活動を積極的に行っていく。	・評価の指標は、路線毎の1便当たりの利用者数及び路線毎の収支率。 ・SNSを活用し事業の認知度向上や利用促進等に組み込まれていることを評価します。 ・自己評価については、新型コロナウイルス感染症以外の影響を含め利用の増・減要因を分析し、そこから対応策につなげていくことも検討願います。 ・今後も利用状況の把握・分析を行うことにより、効率的な利用促進が実施されることを期待します。	
		②大迫・鹿川線		A	B	利用者が多い便と少ない便が明確に分かれているため、広報誌や地区の回覧板等を活用した周知活動を行い、新規利用者を増やす。		
		③竹名・中村線		A	B	一定の利用者は定着しているが、新規利用者を増やすため広報誌や地区の回覧板等を活用し、広く周知活動を行う。		
		④中山・五十鈴線		A	B	昨年度と比べ利用者数は増加しており、一定の利用者は定着しているが、新規利用者を増やすため広報誌や地区の回覧板等を活用し、広く周知活動を行う。		
	宮崎県タクシー協会 日向支部	⑤大池・中山線		A	B	昨年度と比べ利用者数は増加していたが、利用者の少ない便があるため、新規利用者を増やすための周知活動を行う。		
		⑥本町巡回線		A	B	利用者が多い便と少ない便が明確に分かれているため、広報誌や地区の回覧板等を活用した周知活動を行い、新規利用者を増やす。		
		⑦三ヶ瀬線(町内行きコース)		C	C	予約制の路線であり、現状では利用はないが、将来的には利用が見込まれる。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名: 路上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
木城町地域公共交通会議	エムアール交通 株式会社	<p>○デマンド型乗合タクシー「あおぼと号」</p> <p>事業者名: エムアール交通株式会社</p> <p>運行区域: 木城町全域</p> <p>運行日: 月・水・金(祝日及び年末年始運休) ※大字中之又区域については、隔週水曜日</p> <p>運行時間: 8時～18時</p> <p>運行車両: セガン型車両</p> <p>運賃: 1乗車200円(小学生以下100円、未就学児無料)</p> <p>※令和元年10月～試験運行 令和2年10月～本格運行</p>	<p>○登録者を増やすための施策としては、広報誌等でのPRを継続。また、福祉・交通安全担当部署と連携することで交通弱者に対する積極的なアプローチを図った。</p> <p>○利用登録者全員を対象にしたアンケート等は実施できていないが、運行事業者へのヒアリング等を実施することで、利用者のニーズの把握に努めた。</p> <p>○中之又地区については、地区住民との意見交換を実施。制度の周知が不十分であるとの意見をいただいたことから、利用促進のチラシを作成し全世帯に配布。また、地域内での積極的な声掛けを依頼するなど、利用促進に努めた。</p>	A	A	<p>広報誌やSNS、新聞媒体を活用した広報活動、福祉・交通安全担当部署との連携強化については引き続き実施しながら、高齢者集会等での利用登録推進のための取組を更に強化する。</p>	<p>・評価の指標は、利用登録者数・実利用者数・月平均利用者数。</p> <p>・町広報誌等により事業の認知度向上、利用促進に取り組みられていることを評価します。</p> <p>・公共交通の利用促進に取り組み、目標を達成されたことを評価します。</p> <p>・今後も利用状況の把握・分析を行うことにより、効率的な利用促進が実施されることを期待します。</p>	
					A	<p>利用登録者(実利用者含む)を対象に、アンケート等を実施し利用促進に向けたニーズの把握を行う。特に、利用件数の伸びに伴いサービスの低下を招くことがないよう、運行日を増やすなど柔軟な対応についても検討を進める必要がある。</p>		
					A	<p>比較的利用の少ない午後の便について、小学生などの利用促進を図るなど制度の利用を全世代に広く周知を行う。</p> <p>中之又地区については、利用促進のための意見交換やチラシでの広報等を行ったが実際の利用にはつながっていない。今後、更なる利用促進のための広報又は系統の存続や他の交通支援へのシフトも含めて検討を進める必要がある。</p>		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日

九州運輸局

評価対象事業名: 地上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	
串間市地域公共交通会議	串間市	①道の駅くしま～北方～ニシムタ～市役所～道の駅くしま ②道の駅くしま～ニシムタ～串間保育園～道の駅くしま ③道の駅くしま～マリンタウン1～マリンタウン2～市役所～道の駅くしま ④道の駅くしま～マリンタウン1～マリンタウン2～イルカランド～道の駅くしま ⑤道の駅くしま～マリンタウン1～マリンタウン2～市役所～串間保育園～道の駅くしま ⑥道の駅くしま～イルカランド ⑦道の駅くしま～有明～イルカランド ⑧道の駅くしま～上田口～古竹 ⑨道の駅くしま～上田口～奴久見～古竹 ⑩道の駅くしま～市役所～下平～都井岬 ⑪道の駅くしま～黒仁田～黒井～名谷 ⑫道の駅くしま～名谷 ⑬道の駅くしま～谷ノ口～鯛取 ⑭道の駅くしま～霧島～射場地野 ⑮道の駅くしま～射場地野 ⑯道の駅くしま～徳間～仲別府～奈留 ⑰道の駅くしま～奈留 ⑱道の駅くしま～三幸ヶ野～上大矢取 ⑲道の駅くしま～上大矢取 ⑳道の駅くしま～胡桃ヶ野～大平～風野 ㉑道の駅くしま～中千野～串間温泉～永田 ㉒串間駅～永田 ㉓道の駅くしま～香社～串間温泉～上瀬保ヶ野 ㉔串間駅～上瀬保ヶ野 ㉕道の駅くしま～幸島～夫婦浦 ㉖串間駅～郡司部～幸島 ㉗道の駅くしま～串間温泉～郡司部～幸島 ㉘道の駅くしま～串間温泉～石原～幸島	新型コロナウイルス感染症の感染拡大による新しい生活様式となる中で、その影響を考慮した目標値に変更した。また、乗り込みアンケートにより把握した利用者ニーズを把握の反映及び鉄道との接続性の確保を考慮したダイヤ改正の検討を行った。 (ダイヤ改正は、R5バス事業年度R4.10.1より実施。) 高低差等の地理的要因により実質的な交通不便地域が多く存在する大東地区において、地元タクシー事業者と連携したデマンド型運行への転換の検討・準備を行った。 (R5バス事業年度R4.10.3より実施。) A	C	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響等により、利用者数が低下しているため、利用者の目標値を見直すとともに、利用者の増加に繋がる事業を検討していく必要がある。そのため、利用者ニーズを把握しながら、運行形態や運行水準の見直しを引き続き検討し、効率的かつ持続可能な路線の構築を目指していく。 また、乗り方教室を継続しつつ、観光施設等との連携を図り、よかバス利用者に特典付与する等の利用促進事業を検討していく。	・評価の指標は、路線毎の年間利用者数。 ・乗り込み調査を実施し、利用者ニーズに即したダイヤ改正や運行形態への転換の検討を行うなど、利便性向上に取り組まれていることを評価します。 ・新型コロナウイルス感染症の影響が目標を大きく下回った原因とされていることから、アフターコロナを見据えた対策が検討されることを期待します。 ・今後も令和5年3月に策定した利便増進実施計画に基づく再編や利便の増進により、更なる利用者利便の増進と持続可能な旅客運送サービスの提供の確保がなされることを期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名: 路上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
薩摩川内市地域公共交通活性化協議会	南国交通(株) 鹿児島交通(株)	那答院～川内駅 (市内横断シャトルバス)	・市HP等で高齢者の運転免許証自主返納者への割引制度や、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の提示者及び同行する介護人証の提示者への割引制度、バス乗車ICカードの案内を行い、利用促進を図った。	A	B	昨年度の利用人数と比較して那答院～川内駅は0.7人、いむた清風～川内駅は0.2人の減となった。 今後の利用人数の増加に向け、引き続き出前講座や市HP等で、高齢者の運転免許証自主返納者に対する運賃割引制度や沿線案内をからめた路線紹介等、利用啓発・利用促進により一層努めていくことで新型コロナウイルス感染症拡大により落ち込んでしまった需要の回復を図る。 また、沿線の人口減少や新型コロナウイルス感染症による減少率を踏まえた適切な量的目標の設定に努める。	・評価の指標は、路線ごとの1便当たりの利用者数。 ・市HP等で高齢者の運転免許証自主返納者への割引制度等の啓発、バス乗車ICカードの案内を行い、利用促進を図ったことを評価します。 ・目標の一部が未達成であるものの、新型コロナウイルス感染症の影響であるものを踏まえれば、一定の評価ができると考えます。 ・引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に改善されることを期待します。	
	鹿児島交通(株)	外輪山北口～川内駅 (市内横断シャトルバス)	・各地区コミュニティ協議会や公共施設へバスの時刻表等を定期的に配布し、積極的なコミュニティ交通の利用を促した。	A	C			
	南国交通(株)	湯田・西方循環線(西回り) (北部循環バス)	・市HP等で高齢者の運転免許証自主返納者への割引制度や、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の提示者及び同行する介護人証の提示者への割引制度、バス乗車ICカードの案内を行い、利用促進を図った。	A	C	昨年度の利用人数と比較して湯田・西方循環線(西回り)は1.7人、湯田・西方循環線(東回り)は1.9人、城上・吉川線(西回り)は0.2人、城上・吉川線(東回り)は0.5人の減となり全ての系統で目標値を下回る形となった。 今後の利用人数の増加に向け、引き続き市HP等で高齢者の運転免許証自主返納者に対する運賃割引制度や沿線案内をからめた路線紹介等、利用啓発・利用促進により一層努めていくことで新型コロナウイルス感染症拡大により落ち込んだ需要の回復を図る。 また、沿線の人口減少や新型コロナウイルス感染症による減少率を踏まえた適切な量的目標の設定に努める。		
	南国交通(株)	湯田・西方循環線(東回り) (北部循環バス)	・各地区コミュニティ協議会や公共施設へバスの時刻表等を定期的に配布し、積極的なコミュニティ交通の利用を促した。	A	C			
	南国交通(株)	城上・吉川循環線(西回り) (北部循環バス)	・ダイヤ改正に併せて沿線地域の世帯へ時刻表の配布を行った。	A	B	昨年度の利用人数と比較して、国道周りは2.3人、県道周りは0.5人の減となった。 特に国道回りにおいて5月の利用人数は高速船船島の運休もあり前年比25%と大幅に減少し、以後戻りつつあるものの9月の利用人数は前年比88%の利用にとどまっている。 今後も他の交通機関との接続を考慮し、経路検索事業者へのデータ提供を行うとともに、新たな利用者(観光客等)増と地域住民の利用者増に向け、更なる利用啓発・利用促進に努める。 また新型コロナウイルス感染症による減少率を踏まえた量的目標の設定に努める。		
	南国交通(株)	城上・吉川循環線(東回り) (北部循環バス)	・市HP等で高齢者の運転免許証自主返納者への割引制度や、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の提示者及び同行する介護人証の提示者への割引制度、バス乗車ICカードの案内を行い、利用促進を図った。	A	B			
	南国交通(株)	川内駅～川内港ターミナル(国道回り) (川内港シャトルバス)	・各地区コミュニティ協議会や公共施設へバスの時刻表等を定期的に配布し、積極的なコミュニティ交通の利用を促した。	A	B	昨年度の利用人数と比較して、国道周りは2.3人、県道周りは0.5人の減となった。 特に国道回りにおいて5月の利用人数は高速船船島の運休もあり前年比25%と大幅に減少し、以後戻りつつあるものの9月の利用人数は前年比88%の利用にとどまっている。 今後も他の交通機関との接続を考慮し、経路検索事業者へのデータ提供を行うとともに、新たな利用者(観光客等)増と地域住民の利用者増に向け、更なる利用啓発・利用促進に努める。 また新型コロナウイルス感染症による減少率を踏まえた量的目標の設定に努める。		
	南国交通(株)	川内駅～川内港ターミナル(県道回り) (川内港シャトルバス)	・川内港シャトルバスと高速船船島のダイヤ等についてGTFS-JPの作成及び経路検索事業者へのデータ提供を引き続き実施した。	A	B			

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名: 路上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
霧島市地域公共交通会議	南国交通(株)	溝辺地区におけるふれあいバスの運行 (1) 竹子・三穂・横川線 (2) 麓線 (3) 空港崎森線	①住民座談会を開催し、霧島市の公共交通の現状等の情報共有や、地域における公共交通のあり方等についての意見交換を行った。 ②地域の方の要望に応じ、運行ルートや時刻の一部変更を行った。	A	A	■数値目標の達成に向けて、霧島市地域公共交通計画に掲げる事業を着実に実施する。 また、持続可能な運行に向け、令和5年10月から運賃の見直しを実施する。 <主な事業> ・フィーダー系統とJRや幹線との乗継時間の適正化の推進 ・バス待ち環境の改善 ・バスマップ(紙媒体)の更新や「私の時刻表」の作成支援 ・地域座談会の開催を通じた運行ニーズの把握	・評価指標は、路線毎の便あたりの乗車人数。 ・住民座談会を開催し、霧島市の公共交通の現状等の情報共有や、地域における公共交通のあり方等についての意見交換を実施されていることを評価します。 ・目標の一部が未達成であるものの、新型コロナウイルス感染症の影響の中であることを踏まえれば、一定の評価ができると考えます。 ・引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることを期待します。	
				A	C			
	鹿児島交通(株)	福山地区におけるふれあいの運行 (1) 福地・池之谷 (2) 比曾木野線 (3) 福地線(スクール対応)登校便 (4) 福地線(スクール対応)下校便 (5) 福沢線(スクール対応)登校便 (6) 福沢線(スクール対応)下校便		A	A			
				A	C			
				A	A			
				A	C			
				A	C			
				A	C			
	(株)有村観光	霧島地区永水・向田地域における デマンド交通の運行 (1) 永水・向田線		A	C			
		隼人地区におけるはやと循環ワゴンの運行 (1) はやと循環ワゴン		A	C			
	(有)中村タクシー	福山地区佳例川地域・福山地域におけるデマンド交通の運行 (1) 佳例川線 (2) 福山線		A	A			
		隼人地区におけるはやと循環ワゴンの運行 (1) はやと循環ワゴン		A	C			
	第一交通(株)	霧島地区狭名田・野上地域におけるデマンド交通の運行 (1) 狭名田・野上線		A	A			
	旭交通(株)	福山地区福沢地域におけるデマンド交通の運行 (1) 福沢線		A	C			
(株)タクシー国際	横川地区山ノロ・今村植村地域及び牧園万膳・川影地域におけるデマンド交通の運行 (1) 山ノロ・今村植村 (2) 万膳・川影線	A	C					
		A	C					

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日

九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
鹿児島市地域公共交通会議	鹿児島交通(株)	谷山地域あいばすの運行	<ul style="list-style-type: none"> 市ホームページ等により、引き続き、運行ルートやダイヤ等についての周知広報を行っている。 路線沿線の町内会に対し、誰でも利用できることなどを記載した利用案内チラシの回覧を実施した。 ツイッターやフェイスブックを利用し、利用促進のための広報を行った。 地域の利用者等から寄せられた意見や要望については、現場確認や事業者との情報共有を行い、令和4年3月1日付けで、運行計画の見直しを行った。 	A	B	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き地域の利用者の意見や要望を聞きながら、需要に応じた運行計画づくりに努める。 潜在的な利用者の掘り起こしのための分かりやすい情報提供に努める。 令和4年12月に導入したバスロケーションシステムの周知広報に取り組むことで、利用者の利便性向上と利用促進を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 評価の指標は、路線毎の一日あたりの利用者数。 市のHP等により運行ルートやダイヤ等について周知広報を行ったこと、利用案内チラシを町内会で回覧するなど、利用促進に取り組まれていることを評価します。 目標の一部が未達成であるものの、新型コロナウイルス感染症の影響の中であることを踏まえれば、一定の評価ができると考えます。 今後も、令和3年度に策定した地域公共交通計画に基づき、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。 	
		喜入地域あいばすの運行	<ul style="list-style-type: none"> 市ホームページ等により、引き続き、運行ルートやダイヤ等についての周知広報を行っている。 路線沿線の町内会に対し、誰でも利用できることなどを記載した利用案内チラシの回覧を実施した。 ツイッターやフェイスブックを利用し、利用促進のための広報を行った。 地域の利用者等から寄せられた意見や要望については、現場確認や事業者との情報共有を行い、令和4年2月1日付けで、運行計画の見直しを行った。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き地域の利用者の意見や要望を聞きながら、需要に応じた運行計画づくりに努める。 潜在的な利用者の掘り起こしのための分かりやすい情報提供に努める。 令和4年12月に導入したバスロケーションシステムの周知広報に取り組むことで、利用者の利便性向上と利用促進を図る。 		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
南種子町地域公共交通活性化再生協議会	種子島・屋久島交通(株)	浜田入口～河内温泉の運行(平山線)	町広報紙や町ホームページ、公共施設等での周知や情報提供を行った。 また、役場企画課で無料券の発行業務を行ったほか、各地区の地域支え合い推進委員へ無料券申請書の受付業務の協力を依頼した。	A	A	町広報紙や町ホームページ、公共施設等での周知に加え、各地区地域支え合い推進委員へ周知の協力を依頼し、新規利用者確保に向けた取り組みを進める。 また、運行形態についても、引き続き検討を進める。	・評価の指標は、路線毎の利用者数。 ・町の広報紙やホームページ、公共施設等での周知や情報提供を実施し、利用促進に取り組みを進める。 ・目標値を大きく下回っていることから、利用者のニーズの把握に努め、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることを期待します。	
		Aコープ前～河内温泉の運行(基永線)	町広報紙や町ホームページ、公共施設等での周知や情報提供を行った。 また、役場企画課で無料券の発行業務を行ったほか、各地区の地域支え合い推進委員へ無料券申請書の受付業務の協力を依頼した。	A	C	町広報紙や町ホームページ、公共施設等での周知に加え、各地区地域支え合い推進委員へ周知の協力を依頼し、新規利用者確保に向けた取り組みを進める。 また、運行形態についても、引き続き検討を進める。		
		役場～河内温泉の運行(西之線)	町広報紙や町ホームページ、公共施設等での周知や情報提供を行った。 また、役場企画課で無料券の発行業務を行ったほか、各地区の地域支え合い推進委員へ無料券申請書の受付業務の協力を依頼した。	A	C	町広報紙や町ホームページ、公共施設等での周知に加え、各地区地域支え合い推進委員へ周知の協力を依頼し、新規利用者確保に向けた取り組みを進める。 また、運行形態についても、引き続き検討を進める。		
		牛野～河内温泉の運行(島間線)	町広報紙や町ホームページ、公共施設等での周知や情報提供を行った。 また、役場企画課で無料券の発行業務を行ったほか、各地区の地域支え合い推進委員へ無料券申請書の受付業務の協力を依頼した。	A	C	町広報紙や町ホームページ、公共施設等での周知に加え、各地区地域支え合い推進委員へ周知の協力を依頼し、新規利用者確保に向けた取り組みを進める。 また、運行形態についても、引き続き検討を進める。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フリーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
南九州市地域公共交通協議会	鹿児島交通(株)	拠点間バス 須賀・川辺線(須賀～霜出～川辺)	市ホームページでの周知の他、経路検索サービスへの掲載を実施した。また利用者等へのアンケート調査を実施した。	A	B	今後も継続した運行を行うと共に、2便(8:24川辺文化会館発)・5便(13:04須賀図書館発)の利用が少ないなど、便ごとに利用状況が異なることから、それらを精査し、必要に応じて運行計画の変更を検討する。	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の指標は、路線毎の平均乗車人数。 ・目標の一部が未達成であるものの、新型コロナウイルス感染症の影響の中であることを踏まえれば、一定の評価ができると考えます。 ・今後も、令和4年度に策定した地域公共交通計画に基づき、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。 	
		拠点間バス 番所鼻公園・知覧線(番所鼻公園～霜出～知覧)		A	B	今後も継続した運行を行うと共に、2便(8:31知覧発)・7便(16:42番所鼻公園発)の利用が少ないなど、便ごとに利用状況が異なることから、それらを精査し、必要に応じて運行計画の変更を検討する。		
		川辺系統①瀬戸山・下里線(瀬戸山～下里～文化会館)		A	B	今後も継続した運行を行うと共に、アンケート調査に基づく運行計画見直しの検討や、広報周知を進め、新規利用者の獲得を目指す。		
		川辺系統⑥東木場・大久保線(屋敷平～本別府大久保～文化会館)		A	B	今後も継続した運行を行うと共に、アンケート調査に基づく運行計画見直しの検討や、広報周知を進め、新規利用者の獲得を目指す。		
		川辺系統⑦田の頭・勝目西線(田の頭～勝目西～文化会館)		A	B	今後も継続した運行を行うと共に、アンケート調査に基づく運行計画見直しの検討や、広報周知を進め、新規利用者の獲得を目指す。		
		川辺系統⑧君野・下山田東線(君野西～大山入口～文化会館)		A	B	今後も継続した運行を行うと共に、アンケート調査に基づく運行計画見直しの検討や、広報周知を進め、新規利用者の獲得を目指す。		
		川辺系統⑨打木谷・大谷線(打木谷～上之口～文化会館)		A	B	今後も継続した運行を行うと共に、広報周知を進め、更なる新規利用者の掘り起こしを図る。		
		川辺系統⑭市街地周回線(文化会館～病院前～文化会館)		A	B	今後も継続した運行を行うと共に、アンケート調査等を基にニーズの高い場所をルートに加える等の変更を検討する。		
		知覧系統②後岳・手叢線(栉川三叉路～市役所～保健センター)		A	B	今後も継続した運行を行うと共に、広報周知を進め、更なる新規利用者の掘り起こしを図る。		
		知覧系統⑧加治佐・松村線(加治佐～保健センター～知覧)		A	B	今後も継続した運行を行うと共に、広報周知を進め、更なる新規利用者の掘り起こしを図る。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
南九州市地域公共交通協議会	(株)宇都自動車商会	川辺系統②市崎野・野間大久保線(市崎野～横手町～文化会館)	市ホームページでの周知の他、経路検索サービスへの掲載を実施した。また利用者等へのアンケート調査を実施した。	A	A	今後も継続した運行を行うと共に、アンケート調査に基づく運行計画見直しの検討や、広報周知を進め、新規利用者の獲得を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の指標は、路線毎の1便当たりの平均利用者数。 ・市のホームページやスマホアプリに運行ルートやダイヤ等を掲載し、情報発信に努めたことは評価します。 ・自己評価については、利用者の増加・減少の要因を分析し、そこから対応策に繋げていくことをご検討願います。 ・今後も、令和3年度に策定した地域公共交通計画に基づき、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。 	
		川辺系統③八瀬尾・野崎線(滝の前～野崎公民館～文化会館)		A	B			
		川辺系統④山添・六T線(山添～平山六T～文化会館)		A	B			
		川辺系統⑤西の原・高田線(西の原～高田下～文化会館)		A	B			
		川辺系統⑩馬立・神殿線(火之河原～中服良～文化会館)		A	B			
		川辺系統⑪松尾城・野間里線(松尾城橋～野間里～文化会館)		A	B			
		川辺系統⑫荒多・越原線(荒多～越原～文化会館)		A	A			
		川辺系統⑬本別府・宮線(川原～宮～文化会館)		A	B			
		知覧系統①木床・上郡上線(木床～上郡上～保健センター)		A	B			
		知覧系統③厚地・河上線(寺園～河上～保健センター)		A	B			
		知覧系統④下郡・打出口線(小金園～打越～保健センター)		A	B			
		知覧系統⑤峯苦・平久保線(峯苦～平久保～知覧)		A	B			
		知覧系統⑥二ツ谷・堤之原線(二ツ谷～堤之原～知覧)		A	A	対象地域住民への広報周知を強化して、新規利用者の獲得を目指すと共に、利便性の向上について検討する。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名: 路上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	二次評価結果	
南九州市地域公共交通協議会	(株)宇都自動車商会	知覧系統⑦高星・林川線(高星～林川～知覧)		A	B	今後も継続した運行を行うと共に、アンケート調査に基づく運行計画見直しの検討や、広報周知を進め、新規利用者の獲得を目指す。		
		知覧系統⑨飯野・横峯線(高吉～中福良～知覧)		A	B	対象地域住民への広報周知を強化して、新規利用者の獲得を目指すと共に、利便性の向上について検討する。		
		知覧系統⑩大隅・松久保線(大隅南～松久保～霜出げんき館)		A	B	今後も継続した運行を行うと共に、アンケート調査に基づく運行計画見直しの検討や、広報周知を進め、新規利用者の獲得を目指す。		
		知覧系統⑪竹迫・立山線(竹迫北～立山～霜出げんき館)		A	B	今後も継続した運行を行うと共に、地域住民への広報周知や、アンケート等によるニーズ調査を行い、必要に応じた見直しを検討する。		
		知覧系統⑫中渡瀬・木原線(中渡瀬～上木原～松山)		A	B	現在の運行が、住民のニーズに適していないことも考えられるため、運行形態やルート等の見直しを検討する。		
	(株)南九州あづま交通	頭姪系統②浦芝原・麓線(浦芝原～麓南～頭姪図書館)	市ホームページでの周知の他、経路検索サービスへの掲載を実施した。また利用者等へのアンケート調査を実施した。	A	B	今後も継続した運行を行うと共に、広報周知を進め、更なる新規利用者の掘り起こしを図る。		
		頭姪系統④佃・奥園線(佃～奥園～頭姪図書館)		A	B	今後も継続した運行を行うと共に、アンケート調査に基づく運行計画見直しの検討や、広報周知を進め、新規利用者の獲得を目指す。		
		頭姪系統⑥矢越・山下線(矢越～御領山下～頭姪図書館)		A	B	広報周知を進めるとともに、運行計画の見直しを行うなどの利便性向上を検討して、新規利用者の獲得を目指す。		
		頭姪系統⑦蓮子・水成川線(蓮子～水成川～頭姪図書館)		A	B	今後も継続した運行を行うと共に、アンケート調査に基づく運行計画見直しの検討や、広報周知を進め、新規利用者の獲得を目指す。		
		頭姪系統⑧青戸・福留線(青戸農村公園～福留～頭姪図書館)		数年に渡り利用が少ない状況であったため、令和3年10月より、自宅と市街地バス停間を運行する予約型乗合タクシーへ変更した。	A	B		対象地域住民への広報周知を強化して、新規利用者の獲得を目指すと共に、利便性の向上について検討する。
		頭姪系統⑨源川・小原線(加治佐～小原～頭姪図書館)		市ホームページでの周知の他、経路検索サービスへの掲載を実施した。また利用者等へのアンケート調査を実施した。	A	B		今後も継続した運行を行うと共に、広報周知を進め、更なる新規利用者の掘り起こしを図る。
		頭姪系統⑩曲谷・赤崎線(曲谷～赤崎～頭姪図書館)			A	B		今後も継続した運行を行うと共に、アンケート調査に基づく運行計画見直しの検討や、広報周知を進め、新規利用者の獲得を目指す。
		頭姪系統⑪種子尾・一氏線(種子尾～一氏～頭姪図書館)			A	B		
		頭姪系統⑬源川・耳原線(加治佐～耳原～別府温泉)			A	B		
		頭姪系統⑭青戸・石垣線(青戸農村公園～石垣～別府温泉)			A	B		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
南九州市地域公共交通協議会	(有)池田観光	顔娃系統①長崎・前原線(長崎～前原～顔娃図書館)	市ホームページでの周知のほか、利用者等へのアンケート調査を実施した。	A	B	今後も継続した運行を行うと共に、広報周知を進め、更なる新規利用者の掘り起こしを図る。		
		顔娃系統③永谷・春向線(永谷～春向～顔娃図書館)	市ホームページでの周知のほか、利用者等へのアンケート調査を実施した。	A	B	広報周知を進めるとともに、運行計画の見直しを行うなどの利便性向上を検討して新規利用者の獲得を目指す。		
		顔娃系統⑤下出・木之元線(下出～木之元～顔娃図書館)	市ホームページでの周知のほか、利用者等へのアンケート調査を実施した。	A	B	今後も継続した運行を行うと共に、広報周知を進め、更なる新規利用者の掘り起こしを図る。		
		顔娃系統⑬熊ヶ谷・栴山線(熊ヶ谷～栴山～顔娃図書館)	令和3年10月より利用のない区間を廃止し、また1日15往復だったものを2往復に変更した。	A	B	今後も継続した運行を行うと共に、広報周知を進め、更なる新規利用者の掘り起こしを図る。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名: 路上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
鹿屋市地域公共交通活性化協議会	鹿児島交通(株)	<p>輝北地区ぐるりんバス 西ルート (市成出張所～歌丸～輝北総合支所)</p>	<p>・小中高校生向けのキャンペーンを実施し、バスに乗るきっかけづくりと利用促進を行った。 ・運転免許返納者に限り運賃無料としている。(R2.4～R5.3) ・市ホームページやスマートフォンアプリに、運行ルートやダイヤ等を掲載し情報発信に努めた。</p>	A	C	<p>・目標及び前年を下回り、かつ国庫補助要件を下回る極めて厳しい利用状況であり、デマンド交通への移行も視野に、利用者ニーズに対応した持続可能な運行形態を検討する。</p>	<p>・評価の指標は、路線毎の1便当たりの平均利用者数。 ・市のホームページやスマホアプリに運行ルートやダイヤ等を掲載し、情報発信に努めたことは評価します。 ・自己評価については、利用者の増加・減少の要因を分析し、そこから対応策に繋げていくことをご検討願います。 ・今後も、令和3年度に策定した地域公共交通計画に基づき、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。</p>	
		<p>輝北地区ぐるりんバス 東ルート (飯屋多目的交流センター～中平房～輝北総合支所)</p>	<p>・ルート見直し(高尾地区)を行い、交通不便地域の利便性向上を図った。(R4.7) ・小中高校生向けのキャンペーンを実施し、バスに乗るきっかけづくりと利用促進を行った。 ・運転免許返納者に限り運賃無料としている。(R2.4～R5.3) ・市ホームページやスマートフォンアプリに、運行ルートやダイヤ等を掲載し情報発信に努めた。</p>	A	C	<p>・目標及び前年を下回る厳しい利用状況であり、デマンド交通への移行も視野に、利用者ニーズに対応した持続可能な運行形態を検討する。</p>		
		<p>輝北地区ぐるりんバス 中央ルート (輝北ふれあいセンター～百引～輝北ふれあいセンター)</p>	<p>・小中高校生向けのキャンペーンを実施し、バスに乗るきっかけづくりと利用促進を行った。 ・運転免許返納者に限り運賃無料としている。(R2.4～R5.3) ・市ホームページやスマートフォンアプリに、運行ルートやダイヤ等を掲載し情報発信に努めた。</p>	A	C	<p>・目標及び前年を下回り、かつ国庫補助要件を下回る極めて厳しい利用状況であり、デマンド交通への移行も視野に、利用者ニーズに対応した持続可能な運行形態を検討する。</p>		
		<p>輝北地区ぐるりんバス 堂平ルート (荒平橋～百引～輝北ふれあいセンター)</p>		A	C	<p>・目標及び前年を下回る厳しい利用状況であり、デマンド交通への移行も視野に、利用者ニーズに対応した持続可能な運行形態を検討する。</p>		
		<p>吾平地区ぐるりんバス 東ルート (吾平振興会館～湯遊ランドあいら永野牧～吾平振興会館)</p>		A	A	<p>・目標及び前年を上回ったものの、依然国庫補助要件を下回る極めて厳しい利用状況であり、デマンド交通への移行も視野に、利用者ニーズに対応した持続可能な運行形態を検討する。</p>		
		<p>吾平地区ぐるりんバス 西ルート (真戸原～坂元湯遊ランドあいら～吾平振興会館)</p>		A	A	<p>・目標及び前年を上回ったものの依然厳しい利用状況であり、デマンド交通への移行も視野に、利用者ニーズに対応した持続可能な運行形態を検討する。</p>		
		<p>かのやくるりんバス(市街地巡回バス) (鹿屋～西原寿中央～鹿屋) ・西まわり ・東まわり</p>		A	B	<p>・更なる利便性向上のため、利用者や地域のニーズに見合った運行内容の見直しを検討する。</p>		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フリーダイヤル系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
鹿屋市地域公共交通活性化協議会	鹿児島交通(株)	串良地区ぐるりんバス 馬掛ルート (馬掛公民館～永和～串良さくら温泉)		A	C	・目標及び前年を下回り、かつ国庫補助要件を下回る極めて厳しい利用状況であり、デマンド交通への移行も視野に、利用者ニーズに対応した持続可能な運行形態を検討する。		
		串良地区ぐるりんバス 新堀ルート (新堀公民館～永和～串良さくら温泉)		A	B	・目標を下回るなど依然厳しい利用状況であり、デマンド交通への移行も視野に、利用者ニーズに対応した持続可能な運行形態を検討する。		
		串良地区ぐるりんバス 市街地・堅田ルート (串良さくら温泉～堅田永和～串良さくら温泉) ・上り ・下り		A	C	・目標を下回り、かつ国庫補助要件を大きく下回る極めて厳しい利用状況であり、デマンド交通への移行も視野に、利用者ニーズに対応した持続可能な運行形態を検討する。		
		串良地区ぐるりんバス 市街地ルート (串良さくら温泉～永和～串良さくら温泉)		A	C	・目標を下回り、かつ国庫補助要件を大きく下回る極めて厳しい利用状況であり、デマンド交通への移行も視野に、利用者ニーズに対応した持続可能な運行形態を検討する。		
		かのやくりんバス(市街地巡回バス・北ルート) (鹿屋～茅場旭原～鹿屋) ・右まわり ・左まわり		A	A	・更なる利便性向上のため、利用者や地域のニーズに見合った運行内容の見直しを検討する。		
		大始良地区ぐるりんバス (鹿屋～川西南～鹿屋) ・右まわり ・左まわり		A	A	・更なる利便性向上のため、利用者や地域のニーズに見合った運行内容の見直しを検討する。		
	鹿児島第一交通㈱ 鹿屋営業所	かのや市乗合タクシー (区域運行) 天神・船間～花岡・西原	・市ホームページや町内会を通し、運行ルートやダイヤ等について周知広報を行い、また利用者ニーズや要望等の収集に努めた。 ・新規で6名の利用者登録あった。	A	A	・利用者が高齢固定客であるため、町内会や地域の活動での利用を促すなど、新たな利用者の掘り起こしを行う。 ・更なる利便性向上のため、運行日・日数・エリアの拡充を検討する。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
垂水市地域公共交通活性化協議会	小森 勇(協和タクシー)	事前予約型乗合タクシー運行 (市木地区 ~ 中央地区)	・利用者数の更なる増加を図るため、広報誌による乗合タクシー制度等を周知 ・乗合タクシー制度に対する意見や要望等を収集するため、対象地区全世帯を対象としたアンケート調査を実施 ・利用状況やアンケート調査結果を踏まえ、運行時間・便数・運行区域を検討するため運行事業者会議を2回開催	A	A	令和2年10月からの増便及び時間変更が目標達成につながったと考えられる。 利用状況やアンケート調査結果、運行事業者会議での協議内容を踏まえ、利便性の向上に努め、持続可能な運行を目指す。	・評価の指標は、路線毎の利用者数。 ・利用者数増加に向けて増便や時間変更を実施したことは評価します。 ・公共交通の利用促進に取り組み、目標を達成されたことを評価します。来年度以降は、単年度での目標の設定(達成)に加え、長期的な視点での目標も設定(達成)されることを期待します。 ・引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることを期待します。	
	(有)オダ	事前予約型乗合タクシー運行 (大野地区 ~ 中央地区)	・利用者数の更なる増加を図るため、広報誌による乗合タクシー制度等を周知 ・乗合タクシー制度に対する意見や要望等を収集するため、対象地区全世帯を対象としたアンケート調査を実施 ・利用状況やアンケート調査結果を踏まえ、運行時間・便数・運行区域を検討するため運行事業者会議を2回開催	A	A	令和2年10月からの増便及び時間変更が目標達成につながったと考えられる。 利用状況やアンケート調査結果、運行事業者会議での協議内容を踏まえ、利便性の向上に努め、持続可能な運行を目指す。		
	南海交通(株)	事前予約型乗合タクシー運行 (水之上地区 ~ 中央地区) ※内ノ野ルート	・利用者数の更なる増加を図るため、広報誌による乗合タクシー制度等を周知 ・乗合タクシー制度に対する意見や要望等を収集するため、対象地区全世帯を対象としたアンケート調査を実施 ・利用状況やアンケート調査結果を踏まえ、運行時間・便数・運行区域を検討するため運行事業者会議を2回開催	A	A	令和2年10月からの増便及び時間変更が目標達成につながったと考えられる。 利用状況やアンケート調査結果、運行事業者会議での協議内容を踏まえ、利便性の向上に努め、持続可能な運行を目指す。		
	南海交通(株)	事前予約型乗合タクシー運行 (水之上地区 ~ 中央地区) ※小谷ルート	・利用者数の更なる増加を図るため、広報誌による乗合タクシー制度等を周知 ・乗合タクシー制度に対する意見や要望等を収集するため、対象地区全世帯を対象としたアンケート調査を実施 ・利用状況やアンケート調査結果を踏まえ、運行時間・便数・運行区域を検討するため運行事業者会議を2回開催	A	C	目標未達の要因として、対象地域75歳以上の人口が令和2年度末より8人減少しており、免許証返納割引利用者が令和2年度より518人減少していることから、自然減や施設入所等が考えられる。 利用状況やアンケート調査結果、運行事業者会議での協議内容を踏まえ、地域状況に合わせた運行を検討したい。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日

九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フリーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
沖永良部地域公共交通活性化 協議会	沖永良部バス企業団	知名～沖永良部空港間の路線バスの運行	航空便のダイヤに接続するため発着時刻の改正を行い、利用者の利便性を向上させた。	A	B	目標には達していないが、車両の更新、役場や病院、大型商業施設への乗り入れなど、利便性向上の取り組みを継続し、島内公共交通の基幹路線として他の路線との接続や航空ダイヤとの接続に配慮した運行ダイヤ設定について、利用者アンケート調査等を実施して検討する。	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の指標は、路線毎の利用者数。 ・観光客やビジネス客などの利便性向上のためのホームページ開設やバスロケーションシステムの導入については評価します。 ・自己評価については、利用者の増加・減少の要因を分析し、そこから対応策に繋げていくことをご検討願います。 ・引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることを期待します。 	
		知名～国頭間の路線定期バスの運行	観光客やビジネス客などの利便性向上のためホームページの開設やバスロケーションシステムを導入した	A	B	目標には達していないが、車両の更新、役場や病院、大型商業施設への乗り入れなど、利便性向上の取り組みを継続し、他の路線との接続に配慮した運行ダイヤ設定について検討する。また、真冬混載の実証実験を引き続き実施し、本格導入に向けた事業手法について検討する。		
		知名～永嶺～和泊間の路線定期バスの運行	観光客やビジネス客などの利便性向上のためホームページの開設やバスロケーションシステムを導入した	A	B	利用者が減少傾向にあることから、利用者アンケート調査等を実施し、利用者ニーズに合った全体的な路線の統廃合について検討する必要がある。		
		知名～後蘭～和泊間の路線定期バスの運行	観光客やビジネス客などの利便性向上のためホームページの開設やバスロケーションシステムを導入した	A	B	利用者が減少傾向にあることから、利用者アンケート調査等を実施し、利用者ニーズに合った全体的な路線の統廃合について検討する必要がある。		
		知名～下平川～和泊間の路線定期バスの運行	観光客やビジネス客などの利便性向上のためホームページの開設やバスロケーションシステムを導入した	A	B	利用者が減少傾向にあるが、総合病院への乗り入れなどの利便性向上の取り組みを行っている。利用者アンケート調査等を実施し、運行ダイヤの見直しや路線の統廃合を検討する。		
		和泊～伊延港間、和泊～和泊港・伊延港間、知名～知名港間の路線不定期バスの運行	船内へのポスターの掲示や船内アナウンスなどを行い、船便利用者に対する周知を行った。	A	A	港までの移動手段のない高齢者や障害者、観光客等にとっては必要な路線であることから、今後も確保維持していくことが重要である。島民のみならず観光客等への路線の周知を図るため、町HPやおまのえらぶ島観光協会HP、沖永良部バス企業団HPなどを利用した情報発信を強化する。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名: 地上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
伊佐市地域公共交通活性化協議会	伊佐交通観光(株)	曾木バス停～川西地区の運行	市広報誌への記事掲載、警察署並びに市庁舎及び公共施設等の窓口で、市内公共交通時刻表の配布、福祉関係者等への周知等で、認知度向上及び利用促進に取り組んだ。	A	C	路線エリアの人口減少等を分析しつつ、運行エリアの見直しも視野に入れながら、利用方法を福祉関係者を中心に継続周知し、利用者発掘に努める。	・評価の指標は、路線毎の運行回数。 ・自己評価については、利用者の増加・減少の要因を分析し、そこから対応策に繋げていくことをご検討願います。 ・引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることを期待します。	
		針持バス停～西山地区の運行		A	C			
		針持バス停～田原地区の運行		A	C			
		針持バス停～高塚地区の運行		A	C	路線エリアの人口減少等を分析しつつ、公共交通の利用方法を福祉関係者を中心に継続周知し、新たな利用者発掘に努める。		
		菱刈中心地～市山花北地区の運行		A	B			
		菱刈中心地～田中重留地区の運行		A	B			
		菱刈中心地～永池楠原地区の運行		A	A			
		菱刈中心地～野池小川添地区の運行		A	A	公共交通の利用方法を福祉関係者を中心に継続周知し、新たな利用者発掘に努める。		
		菱刈中心地～荒田地区の運行		A	A			
	(有)下小園タクシー	山野中心地～布計地区の運行	A	A	路線エリアの人口減少等を分析しつつ、運行エリアの見直しも視野に入れながら、利用方法を福祉関係者を中心に継続周知し、利用者発掘に努める。			
		山野中心地～小川内地区の運行	A	C				
		山野中心地～平出水地区の運行	A	A				
		菱刈中心地～五色徳辺下地区の運行	A	A				
		菱刈中心地～山田徳辺地区の運行	A	A				
		菱刈中心地～下手地区の運行	A	C				
		菱刈中心地～湯之尾地区の運行	A	B				
	南国交通(株)	大口中心地～青木藤原地区循環運行	A	A	公共交通の利用方法を福祉関係者を中心に継続周知し、新たな利用者発掘に努める。			

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名: 路上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
さつま町地域公共交通活性化 協議会	(有)鶴田タクシー	神子線(乗合タクシー) 大野～旧宮之城駅の運行	出前講座を活用した利用啓発活動に取り組んだ。説明会の地域を発着地とした。具体的な利用例や地域間幹線系統への乗り継ぎ例なども示し、乗合タクシーだけでなく交通政策全体の啓発活動に努めた。	A	B	引き続き、地域サロンなどの個別団体への啓発活動を継続していく。住民同士で買い物グループを作るなどの例を示しながら、1便あたりの乗人数及び利用者数の増を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の指標は、各路線毎の利用者数。 ・地域サロンなどの団体への啓発活動を行っていることを評価します。 ・自己評価については、利用者の増加・減少の要因を分析し、そこから対応策に繋げていくことをご検討願います。 ・引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることを期待します。 	
		鶴田線(乗合タクシー) 上場～旧宮之城駅の運行	出前講座を活用した利用啓発活動に取り組んだ。説明会の地域を発着地とした。具体的な利用例や地域間幹線系統への乗り継ぎ例なども示し、乗合タクシーだけでなく交通政策全体の啓発活動に努めた。	A	B	引き続き、地域サロンなどの個別団体への啓発活動を継続していく。住民同士で買い物グループを作るなどの例を示しながら、1便あたりの乗人数及び利用者数の増を図る。		
		上狩宿・熊田線(乗合タクシー) 上狩宿～旧宮之城駅の運行	出前講座を活用した利用啓発活動に取り組んだ。説明会の地域を発着地とした。具体的な利用例や地域間幹線系統への乗り継ぎ例なども示し、乗合タクシーだけでなく交通政策全体の啓発活動に努めた。	A	B	引き続き、地域サロンなどの個別団体への啓発活動を継続していく。住民同士で買い物グループを作るなどの例を示しながら、1便あたりの乗人数及び利用者数の増を図る。		
		段・薬師線(乗合タクシー) 段～旧宮之城駅の運行	出前講座を活用した利用啓発活動に取り組んだ。説明会の地域を発着地とした。具体的な利用例や地域間幹線系統への乗り継ぎ例なども示し、乗合タクシーだけでなく交通政策全体の啓発活動に努めた。	A	B	引き続き、地域サロンなどの個別団体への啓発活動を継続していく。住民同士で買い物グループを作るなどの例を示しながら、1便あたりの乗人数及び利用者数の増を図る。		
	(株)宮都タクシー	金山線(乗合タクシー) 金山～旧宮之城駅の運行	出前講座を活用した利用啓発活動に取り組んだ。説明会の地域を発着地とした。具体的な利用例や地域間幹線系統への乗り継ぎ例なども示し、乗合タクシーだけでなく交通政策全体の啓発活動に努めた。	A	A	引き続き、地域サロンなどの個別団体への啓発活動を継続していく。		
		中津川・白猿線(乗合タクシー) 中津川～旧宮之城駅の運行	出前講座を活用した利用啓発活動に取り組んだ。説明会の地域を発着地とした。具体的な利用例や地域間幹線系統への乗り継ぎ例なども示し、乗合タクシーだけでなく交通政策全体の啓発活動に努めた。	A	B	引き続き、地域サロンなどの個別団体への啓発活動を継続していく。住民同士で買い物グループを作るなどの例を示しながら、1便あたりの乗人数及び利用者数の増を図る。		
		治野・白男川線(乗合タクシー) 治野～旧宮之城駅の運行	出前講座を活用した利用啓発活動に取り組んだ。説明会の地域を発着地とした。具体的な利用例や地域間幹線系統への乗り継ぎ例なども示し、乗合タクシーだけでなく交通政策全体の啓発活動に努めた。	A	B	引き続き、地域サロンなどの個別団体への啓発活動を継続していく。住民同士で買い物グループを作るなどの例を示しながら、1便あたりの乗人数及び利用者数の増を図る。		
	(株)神園サービス	山崎線(乗合タクシー) 山崎～旧宮之城駅の運行	出前講座を活用した利用啓発活動に取り組んだ。説明会の地域を発着地とした。具体的な利用例や地域間幹線系統への乗り継ぎ例なども示し、乗合タクシーだけでなく交通政策全体の啓発活動に努めた。	A	B	引き続き、地域サロンなどの個別団体への啓発活動を継続していく。住民同士で買い物グループを作るなどの例を示しながら、1便あたりの乗人数及び利用者数の増を図る。		
		登尾線(乗合タクシー) 登尾～旧宮之城駅の運行	出前講座を活用した利用啓発活動に取り組んだ。説明会の地域を発着地とした。具体的な利用例や地域間幹線系統への乗り継ぎ例なども示し、乗合タクシーだけでなく交通政策全体の啓発活動に努めた。	A	A	引き続き、地域サロンなどの個別団体への啓発活動を継続していく。		
		椋野・紫尾線(乗合タクシー) 椋野～旧宮之城駅の運行	出前講座を活用した利用啓発活動に取り組んだ。説明会の地域を発着地とした。具体的な利用例や地域間幹線系統への乗り継ぎ例なども示し、乗合タクシーだけでなく交通政策全体の啓発活動に努めた。	A	A	引き続き、地域サロンなどの個別団体への啓発活動を継続していく。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日

九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
さつま町地域公共交通活性化 協議会	(株)神園サービス	登尾線(コミュニティバス) 登尾～屋地仲町の運行	安全対策検討対象バス停に関して、具体的な対応には至らなかった。地域サロンなどの個別団体へ本線の活用を呼びかけた。	A	A	一般利用者(大人)が少ない。引き続き、地域サロンなどの個別団体へコミュニティバスの運行時間帯での活用例を示し、一般(大人)利用の普及に努めていく。鹿児島県バス停留所安全性確保合同検討会による安全対策検討対象となっているバス停に停車することから、指導事項等を注視し、適切な対応により利用者の安全確保に努める。		
		柘野・紫尾線(コミュニティバス) 市野～屋地仲町の運行	安全対策検討対象バス停に関して、具体的な対応には至らなかった。地域サロンなどの個別団体へ本線の活用を呼びかけた。	A	A	一般利用者(大人)が少ない。引き続き、地域サロンなどの個別団体へコミュニティバスの運行時間帯での活用例を示し、一般(大人)利用の普及に努めていく。鹿児島県バス停留所安全性確保合同検討会による安全対策検討対象となっているバス停に停車することから、指導事項等を注視し、適切な対応により利用者の安全確保に努める。		
		北原線(コミュニティバス) 牧之峰～屋地仲町の運行	安全対策検討対象バス停に関して、具体的な対応には至らなかった。地域サロンなどの個別団体へ本線の活用を呼びかけた。	A	B	一般利用者(大人)が少ない。引き続き、地域サロンなどの個別団体へコミュニティバスの運行時間帯での活用例を示し、一般(大人)利用の普及に努めていく。鹿児島県バス停留所安全性確保合同検討会による安全対策検討対象となっているバス停に停車することから、指導事項等を注視し、適切な対応により利用者の安全確保に努める。		
	(有)鶴田タクシー	栗野線(コミュニティバス) あじさい団地入口～屋地仲町の運行	安全対策検討対象バス停に関して、具体的な対応には至らなかった。地域サロンなどの個別団体へ本線の活用を呼びかけた。	A	A	一般利用者(大人)が少ない。引き続き、地域サロンなどの個別団体へコミュニティバスの運行時間帯での活用例を示し、一般(大人)利用の普及に努めていく。鹿児島県バス停留所安全性確保合同検討会による安全対策検討対象となっているバス停に停車することから、指導事項等を注視し、適切な対応により利用者の安全確保に努める。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
西之表市地域公共交通活性化協議会	林 辰男(はやしタクシー)	伊関～市内～西之表港	利用者の利便性を高めるべく実証運行を行った。路線途中の種子島高校、郵便局、ホームセンターで「途中下車」を行う実証。実証期間は令和2年10月～令和4年9月末。新規利用者獲得に向けて、市広報紙へ特集記事を掲載し、特に免許返納者の運賃割引について、周知を行った。公共交通へのEV車両導入による燃料費削減、CO2排出量抑制効果の実証を令和4年2月から開始しており、燃料費は約37%、CO2排出量については約45%の削減が見込まれている。また、実証運行を行う中で、車両の小型化についても検討を行っている。	A	B	どんがタクシーの利用者満足度については、「市民アンケート」により集計。※これまではアンケートの対象者を市民としていたが、R4年4月27日配布分では、実際に利用したことのある市民に限定しアンケートを実施。どんがタクシーの利用者は、令和2年4月以降、前年比を大きく下回ることが多いという状況が続いている。新型コロナウイルス感染症の影響に伴う外出機会・意欲の減少(病院・買い物等)が主な要因と考えられる。特に買い物については、地元企業が行う移動販売が定着してきており、どんがタクシー利用者が買い物のために乗車する頻度が少なくなっていると考ええる。これまで「大字に住む住民」を基本利用者としてきたが、「大字と市街地を移動したい人」として利用対象者を拡大する実証運行の結果を踏まえ、令和4年10月から本格運行を行っている。また、R4.2月からCO2排出抑制及び燃料費削減効果等を検証するEV実証を開始しており、併せて車両の小型化についても可能性を探る。今回わかさ姫への導入は見送りとなっているが、今後も引き続き導入に向けた検討を続ける。今後は、R4年度に策定予定である「種子島地域公共交通計画」と連動した利便性を高める運行体系の在り方について引き続き協議し、適切な規模でのサービス提供を目指し、安定的で持続可能な公共交通の在り方を検討していく。	・評価の指標は、路線別の収支率。 ・新規利用者獲得に向けて、市の広報紙へ特集記事を掲載し、特に免許返納者の運賃割引について周知したことは評価します。 ・目標の一部が未達成であるものの、新型コロナウイルス感染症の影響の中であることを踏まえれば、一定の評価ができると考えます。 ・引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることを期待します。	
		立山～市内～西之表港		A	B			
		中割～市内～西之表港		A	B			
	(株)市丸タクシー	国上～市内～西之表港		A	B			
		住吉～市内～西之表港		A	B			
種子島・屋久島交通(株)	西之表港～市役所・松島～西之表港	新規利用者獲得に向けて、市広報紙へ特集記事を掲載し、特に免許返納者の運賃割引について、周知を行った。公共交通へのEV車両導入による燃料費削減、CO2排出量抑制効果の実証を令和4年2月から開始しており、燃料費は約37%、CO2排出量については約45%の削減が見込まれている。引き続き運用状況等を踏まえながら実証を継続し、わかさ姫へのEV車両導入に向けた検討も行っていく。	A	B	市街地巡回バスの利用者は、令和3年は前年より微増となったものの、令和元年以前の利用者数からは減少している。理由としては、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う利用者の外出機会・意欲の減少(病院・買い物・観光・ビジネス等)が考えられる。引き続き広報紙やHP等による周知、利用者のニーズを把握し、利便性の向上に努めることで利用者数の維持、増加につなげたい。また、わかさ姫の車両についても更新時期となってきており、同車両においてもEV車の導入を検討している。しかし、安全性の問題等により導入には至っていない。車両の小型化についても検討し、適切な規模でのサービス提供を目指し、安定的で持続可能な公共交通の在り方を検討していきたい。			

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名: 路上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フリーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
阿久根市地域公共交通確保維持改善協議会	合資会社阿久根タクシー	多田・桑原城系統 丸内～市役所間の区域内運行	制度の周知を図るため、市ホームページ及び広報誌への掲載を増やした。また必要に応じたチラシ配布、介護長寿課や福祉課、社会福祉協議会との情報交換等の連携を行った。	A	C	目標達成状況が45.45%と年々実利用人数及び利用頻度の減少が見られる。利用者が固定化していること、またその利用者の多くが高齢化していることが原因であると考えられる。今後は新たな利用者確保に向け、ニーズを把握しながらの周知活動に努めたい。	・評価の指標は、路線毎の利用者数。 ・チラシの配布や関係課等との情報交換を行ったことは評価します。 ・目指すべき地域の交通体系の実現に向け、設定している目標の指標が適切か、目標値の水準が適切か等の検討が行われることを期待します。 ・引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることを期待します。	
		西目・遠見ヶ岡・倉津系統 落～市民病院間の区域内運行	制度の周知を図るため、市ホームページ及び広報誌への掲載を増やした。また必要に応じたチラシ配布、介護長寿課や福祉課、社会福祉協議会との情報交換等の連携を行った。	A	C	目標達成状況が45.77%と年々実利用人数及び利用頻度の減少が見られる。利用者が固定化していること、またその利用者の多くが高齢化していることが原因であると考えられる。今後は新たな利用者確保に向け、ニーズを把握しながらの周知活動に努めたい。		
		脇本北部系統 八郷～脇本地区公民館間の区域内運行	制度の周知を図るため、市ホームページ及び広報誌への掲載を増やした。また必要に応じたチラシ配布、介護長寿課や福祉課、社会福祉協議会との情報交換等の連携を行った。	A	C	昨年度よりも利用者が増加し、令和2年度実績値である642人に近づいていることから、利用状況はコロナ禍前に戻りつつある。しかし目標達成状況は83.07%であり、利用者が固定化していることから、今後は新たな利用者確保に力を入れて、引き続き周知活動についても努めたい。		
		脇本西部系統 深田～脇本地区公民館間の区域内運行	制度の周知を図るため、市ホームページ及び広報誌への掲載を増やした。また必要に応じたチラシ配布、介護長寿課や福祉課、社会福祉協議会との情報交換等の連携を行った。	A	C	利用がなされていないことから、利用者ニーズを把握しながら市広報をはじめ、様々な広報媒体を活用した情報提供の実施及び説明会を開催し、利用促進に努める。		
		脇本東部(瀬之浦)系統 大瀬川～脇本地区公民館間の区域内運行	制度の周知を図るため、市ホームページ及び広報誌への掲載を増やした。また必要に応じたチラシ配布、介護長寿課や福祉課、社会福祉協議会との情報交換等の連携を行った。	A	C	実利用人数及び利用頻度の減少が見られることから、利用者ニーズを把握しながら周知活動に努めたい。また、リピーター以外の利用者確保にも努めたい。		
		脇本東部(桐野)系統 桐野上～脇本地区公民館間の区域内運行	制度の周知を図るため、市ホームページ及び広報誌への掲載を増やした。また必要に応じたチラシ配布、介護長寿課や福祉課、社会福祉協議会との情報交換等の連携を行った。	A	C	実利用人数及び利用頻度の減少が見られることから、利用者ニーズを把握しながら周知活動に努めたい。また、リピーター以外の利用者確保にも努めたい。		
		山下系統 尾崎～市役所間の区域内運行	制度の周知を図るため、市ホームページ及び広報誌への掲載を増やした。また必要に応じたチラシ配布、介護長寿課や福祉課、社会福祉協議会との情報交換等の連携を行った。	A	A	目標達成状況が110.45%と、年々利用者が増加している区域である。コロナ収束後も継続して事業を利用してもらうため、事業者と協力し安全性の確保に努める。また、利用者ニーズの把握、本事業の情報提供に努める。		
	第一交通(株)	田代系統 米次～市役所間の区域内運行	制度の周知を図るため、市ホームページ及び広報誌への掲載を増やした。また必要に応じたチラシ配布、介護長寿課や福祉課、社会福祉協議会との情報交換等の連携を行った。	A	B	昨年度よりも利用者が増加し、令和2年度実績値である535人に近づいていることから、利用状況はコロナ禍前に戻りつつある。しかし目標達成状況としては86.07%であり、利用者についても固定化している現状がある。田代地区は高齢化率も高く、交通弱者に当たる方も多いため、新たな利用者確保に向けた地域住民への周知活動等に努めたい。		
		鶴川内系統 木佐木野～市役所間の区域内運行	制度の周知を図るため、市ホームページ及び広報誌への掲載を増やした。また必要に応じたチラシ配布、介護長寿課や福祉課、社会福祉協議会との情報交換等の連携を行った。	A	C	目標達成状況は54.36%と年々実利用人数及び利用頻度の減少が見られる。利用者が固定化していること、またその利用者の多くが高齢化していることが原因であると考えられる。今後は新たな利用者確保に向け、ニーズを把握しながらの周知活動に努めたい。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
いちき串木野市地域公共交通会議	第一交通(株)	いきいきタクシー 川上線の運行	前年の実績見込みを1.3人(1便当たりの利用者数)とし、人口減少はあるが、現状維持の目標値1.4人(前年比108%)以上とする。	A	B	平成30年度策定の地域公共 交通網形成計画に基づき、住民の利便性向上のため、左記の地域内フィーダー系統路線の4路線を見直しており、川上線、大里線については増便、また冠岳・生福・上名線、旭線についてはいきいきタクシーの導入などを実施してきた。しかし、長引く新型コロナウイルス感染症や人口減少の影響を受け、利用者の減少となり、目標達成ができなかった。来年度以降は、実績を基に評価を行うが、出前講座などを実施するほか、冠岳・生福・上名線については増便を行い、路線のPRや利便性の向上を図り、事業の目標設定また達成に努める。	・評価の指標は、各路線毎の1便当たりの利用者数。 ・目標の一部が未達成であるものの、新型コロナウイルス感染症の影響の中であることを踏まえれば、一定の評価ができると考えます。 ・今後も利用状況の把握・分析を行うことにより、効率的な利用促進が実施されることを期待します。	
		いきいきタクシー 大里線の運行	前年の実績見込みを1.1人(1便当たりの利用者数)とし、人口減少はあるが、現状維持の目標値1.2人(前年比109%)以上とする。	A	B			
		いきいきタクシー 冠岳・生福■上名線の運行	前年の実績見込みを1.4人(1便当たりの利用者数)とし、人口減少はあるが、現状維持の目標値1.5人(前年比108%)以上とする。	A	B			
		いきいきタクシー 旭線の運行	前年の実績見込みを1.2人(1便当たりの利用者数)とし、人口減少はあるが、現状維持の目標値1.3人(前年比108%)以上とする。	A	B			

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日

九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	
肝付町地域公共交通会議	(株)銀河タクシー	事前予約型乗合タクシー事業 辺塚～岸良～内之浦 おでかけタクシー事業 内之浦市街地	【辺塚～岸良～内之浦】 ・利用者の要望や乗務員の意見収集を実施し、対応マニュアルを作成しサービスの質向上を図った。 【内之浦市街地】 ・町広報掲載し周知を図った。 ・利用者の利便性向上のため、新たな予約方法として音声ガイド導入のための実証実験を行った。 ・利用者の要望や乗務員の意見収集を実施し、対応マニュアルを作成しサービスの質向上を図った。	A	B	現在、公共交通計画を策定中であり、住民全体と交通弱者を対象とした2種類のアンケート調査を実施している。その結果をもとに、現行の事業をより地域ニーズに沿うように協議・改善を図り、事業周知を徹底する。また、増加している利用者に対し、不足している乗務員の確保などの課題解決も併せて進めていきたい。 ・評価の指標は、各路線毎の利用者数。 ・対応マニュアルを作成し、サービスの質向上を図ったことを評価します。 ・公共交通の利用促進に取り組み、目標を達成されていることを評価します。引き続き利用者のニーズを把握した上で、子ども、学生、高齢者など公共交通を利用して欲しい方に対してアプローチされることを期待します。 ・今後も利用状況の把握・分析を行うことにより、効率的な利用促進が実施されることを期待します。	
	(有)鶴丸タクシー (有)立石タクシー	事前予約型乗合タクシー事業 岸良～高山	【岸良～高山】 ・利用者の要望や乗務員の意見収集を実施し、対応マニュアルを作成しサービスの質向上を図った。	A	A		
	(有)鶴丸タクシー (有)立石タクシー	おでかけタクシー事業 高山市街地 有明エリア 川上エリア	【高山市街地・有明・川上エリア】 ・町広報掲載し周知を図った。 ・利用者の利便性向上のため、新たな予約方法として音声ガイド導入のための実証実験を行った。 ・利用者の要望や乗務員の意見収集を実施し、対応マニュアルを作成しサービスの質向上を図った。	A	A		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
日置市地域公共交通会議	(有)吉村タクシー ひまわり交通(株) (有)伊集院タクシー	上神殿線	市文書発送による情報提供 ・公共交通マップ・総合時刻表の作成・配布3,000部 ・市広報誌での利用促進	A	B	新規利用者の獲得が必要な為、チラシや広報誌での情報提供と出前講座等を実施し啓発に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・評価指標は、各路線毎の運行回数。 ・新規利用者獲得のため、出前講座等を実施していることを評価します。 ・目標の一部が未達成であるものの、新型コロナウイルス感染症の影響の中であることを踏まえれば、一定の評価ができると考えます。 ・引き続き、協議会が設定する今後の改善点が着実に解決されることを期待します。 	
		中川・郡線	市文書発送による情報提供 ・公共交通マップ・総合時刻表の作成・配布3,000部 ・市広報誌での利用促進	A	A	新規利用者の獲得が必要な為、チラシや広報誌での情報提供と出前講座等を実施し啓発に努める。		
		竹之山・土橋線	市文書発送による情報提供 ・公共交通マップ・総合時刻表の作成・配布3,000部 ・市広報誌での利用促進	A	B	新規利用者獲得が必須のため、広報誌の掲載や出前講座等を実施し、情報啓発に努める。		
		上・下方限線	市文書発送による情報提供 ・公共交通マップ・総合時刻表の作成・配布3,000部 ・市広報誌での利用促進	A	B	新規利用者の獲得が必要な為、チラシや広報誌での情報提供と出前講座等を実施し啓発に努める。		
		恋之原線	市文書発送による情報提供 ・公共交通マップ・総合時刻表の作成・配布3,000部 ・市広報誌での利用促進	A	B	新規利用者の獲得が必要な為、チラシや広報誌での情報提供と出前講座等を実施し啓発に努める。		
		久木野々線	市文書発送による情報提供 ・公共交通マップ・総合時刻表の作成・配布3,000部 ・市広報誌での利用促進	A	B	新規利用者の獲得が必要な為、チラシや広報誌での情報提供と出前講座等を実施し啓発に努める。		
	(有)内田タクシー (有)湯の浦タクシー	平鹿倉・湯之元線	市文書発送による情報提供 ・公共交通マップ・総合時刻表の作成・配布3,000部 ・市広報誌での利用促進	A	A	新規利用者の獲得が必要な為、チラシや広報誌での情報提供と出前講座等を実施し啓発に努める。		
		日添・田之尻線	市文書発送による情報提供 ・公共交通マップ・総合時刻表の作成・配布3,000部 ・市広報誌での利用促進	A	B	さらに多い運行回数を目指し、新規利用者の獲得に向けて、チラシやマップ等の情報啓発に努める。		
		和田線	市文書発送による情報提供 ・公共交通マップ・総合時刻表の作成・配布3,000部 ・市広報誌での利用促進	A	B	新規利用者の獲得が必要な為、チラシや広報誌での情報提供と出前講座等を実施し啓発に努める。		
		藤元・野首線	市文書発送による情報提供 ・公共交通マップ・総合時刻表の作成・配布3,000部 ・市広報誌での利用促進	A	B	さらに多い運行回数を目指し、新規利用者の獲得に向けて、チラシやマップ等の情報啓発に努める。		
		坊野・田尻線	市文書発送による情報提供 ・公共交通マップ・総合時刻表の作成・配布3,000部 ・市広報誌での利用促進	A	B	さらに多い運行回数を目指し、新規利用者の獲得に向けて、チラシやマップ等の情報啓発に努める。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
日置市地域公共交通会議	(有)吉村タクシー	日新線	市文書発送による情報提供 ・公共交通マップ・総合時刻表の作成・配布3,000部 ・市広報誌での利用促進	A	C	新規利用者の獲得が必要な為、チラシや広報誌での情報提供と出前講座等を実施し啓発に努める。		
		日置線	市文書発送による情報提供 ・公共交通マップ・総合時刻表の作成・配布3,000部 ・市広報誌での利用促進	A	B	新規利用者の獲得が必要な為、チラシや広報誌での情報提供と出前講座等を実施し啓発に努める。		
	(有)吉村タクシー	吉利線	市文書発送による情報提供 ・公共交通マップ・総合時刻表の作成・配布3,000部 ・市広報誌での利用促進	A	B	新規利用者の獲得が必要な為、チラシや広報誌での情報提供と出前講座等を実施し啓発に努める。		
		扇尾線	市文書発送による情報提供 ・公共交通マップ・総合時刻表の作成・配布3,000部 ・市広報誌での利用促進	A	B	新規利用者の獲得が必要な為、チラシや広報誌での情報提供と出前講座等を実施し啓発に努める。		
		住吉線	市文書発送による情報提供 ・公共交通マップ・総合時刻表の作成・配布3,000部 ・市広報誌での利用促進	A	B	新規利用者の獲得が必要な為、チラシや広報誌での情報提供と出前講座等を実施し啓発に努める。		
	第一交通(株)	上野・皆田線	市文書発送による情報提供 ・公共交通マップ・総合時刻表の作成・配布3,000部 ・市広報誌での利用促進	A	B	さらに多い運行回数を目指し、新規利用者の獲得に向けて、チラシやマップ等の情報啓発に努める。		
		高山・上市来(東市来)線	市文書発送による情報提供 ・公共交通マップ・総合時刻表の作成・配布3,000部 ・市広報誌での利用促進	A	A	新規利用者の獲得が必要な為、チラシや広報誌での情報提供と出前講座等を実施し啓発に努める。		
(有)吉村タクシー ひまわり交通(株) (有)伊集院タクシー	高山・上市来(伊集院)線	市文書発送による情報提供 ・公共交通マップ・総合時刻表の作成・配布3,000部 ・市広報誌での利用促進	A	A	新規利用者の獲得が必要な為、チラシや広報誌での情報提供と出前講座等を実施し啓発に努める。			

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日

九州運輸局

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	
南さつま市地域公共交通協議会	鹿児島交通(株)	坊津から加世田市街地の運行 (中山線)	市内路線を含むバス時刻表を作成配布、バス時刻表のGooglemaps上検索データの更新、市HP等を活用した広報活動を通じて、コミュニティバスの現状や利便性を伝えるなど、利用の普及を図った。また、バス停留所にバスシェルターを整備し利用者の快適性に配慮した機能整備を図った。	A	B	県立薩南病院の市街地への移転に伴い、運行ルートを変更し、当該病院へ乗り入れることで、利用者の利便性向上を図り、利用者数増を目指す。乗込調査等を実施し、利用者のニーズを適切に把握し、運行内容の見直しについて必要に応じ実施していく。	<ul style="list-style-type: none"> 評価指標は、各路線毎の利用者数。 県立病院の移転に伴い、運行ルートを変更し利用者の利便性向上を図ったことを評価します。 目標の一部が未達成であるものの、新型コロナウイルス感染症の影響の中であることを踏まえれば、一定の評価ができると考えます。 今後も利用状況の把握・分析を行うことにより、効率的な利用促進が実施されることを期待します。
		池辺から加世田市街地の運行 (高橋線)	市内路線を含むバス時刻表を作成配布、バス時刻表のGooglemaps上検索データの更新、市HP等を活用した広報活動を通じて、コミュニティバスの現状や利便性を伝えるなど、利用の普及を図った。	A	B	県立薩南病院の市街地への移転に伴い、運行ルートを変更し、当該病院へ乗り入れることで、利用者の利便性向上を図り、利用者数増を目指す。乗込調査等を実施し、利用者のニーズを適切に把握し、運行内容の見直しについて必要に応じ実施していく。	
		大木場から加世田市街地の運行(大木場線)	市内路線を含むバス時刻表を作成配布、バス時刻表のGooglemaps上検索データの更新、市HP等を活用した広報活動を通じて、コミュニティバスの現状や利便性を伝えるなど、利用の普及を図った。	A	B	県立薩南病院の市街地への移転に伴い、運行ルートを変更し、当該病院へ乗り入れることで、利用者の利便性向上を図り、利用者数増を目指す。乗込調査等を実施し、利用者のニーズを適切に把握し、運行内容の見直しについて必要に応じ実施していく。	
	鹿児島交通(株)	池辺門前からゆうらくの運行 (池辺線)	市内路線を含むバス時刻表を作成配布、バス時刻表のGooglemaps上検索データの更新、市HP等を活用した広報活動を通じて、コミュニティバスの現状や利便性を伝えるなど、利用の普及を図った。	A	B	乗込調査等を実施し、利用者のニーズを適切に把握し、運行内容の見直しについて必要に応じ実施していく。	
	(株)森田タクシー	内山田から加世田市街地の運行(鉄山線)	市内路線を含むバス時刻表を作成配布、市HP等を活用した広報活動を通じて、乗合タクシーの現状や利便性を伝えるなど、利用の普及を図った。	A	B	乗込調査等を実施し、利用者のニーズを適切に把握し、運行内容の見直しについて必要に応じ実施していく。	
	南海交通(株)	白川・大田・阿多・大坂から金峰市街地の運行 (白川線)	市内路線を含むバス時刻表を作成配布、市HP等を活用した広報活動を通じて、乗合タクシーの現状や利便性を伝えるなど、利用の普及を図った。	A	B	乗込調査等を実施し、利用者のニーズを適切に把握し、運行内容の見直しについて必要に応じ実施していく。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名: 地上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
中種子町地域公共交通確保維持改善協議会	(有)和人組	上牧川～市街地～田上診療所の運行	町民への時刻表の配布、広報紙や町HPを活用した周知を行った。対象期間目標数を達成できなかったものの、総利用者数についてはほぼ横ばいと維持することができた。	A	B	引き続き地域住民に対し、広報・周知を行い利用促進を促す。また、今後は住民ニーズに対応し、バスの小型化を図る予定となり、運行事業者等と路線の見直しの協議を行いたい。	<ul style="list-style-type: none"> 評価指標は、各路線毎の利用者数。 自己評価については、月ごとの利用を分析し、利用者の実態を把握することをご検討願います。 今後も利用状況の把握・分析を行うことにより、効率的な利用促進が実施されることを期待します。 	
	(有)和人組	上牧川～上宝来～市街地～田上診療所の運行	町民への時刻表の配布、広報紙や町HPを活用した周知を行った。対象期間目標数を達成できなかったものの、総利用者数についてはほぼ横ばいと維持することができた。	A	B	引き続き地域住民に対し、広報・周知を行い利用促進を促す。また、今後は住民ニーズに対応し、バスの小型化を図る予定となり、運行事業者等と路線の見直しの協議を行いたい。		
	(有)和人組	浜津脇入口～増田～市街地～田上診療所の運行	町民への時刻表の配布、広報紙や町HPを活用した周知を行ったが、対象期間目標数を達成できず、前年度比の総利用者数も減少した。	A	B	引き続き地域住民に対し、広報・周知を行い利用促進を促す。また、今後は住民ニーズに対応し、バスの小型化を図る予定となり、運行事業者等と路線の見直しの協議を行いたい。		
	(有)和人組	今熊野～坂井～油久～市街地～田上診療所の運行	町民への時刻表の配布、広報紙や町HPを活用した周知を行った。対象期間目標数を達成できなかったものの、総利用者数についてはほぼ横ばいと維持することができた。	A	B	引き続き地域住民に対し、広報・周知を行い利用促進を促す。また、今後は住民ニーズに対応し、バスの小型化を図る予定となり、運行事業者等と路線の見直しの協議を行いたい。		
	(有)和人組	長谷～原尾～岩岡～市街地～田上診療所の運行	町民への時刻表の配布、広報紙や町HPを活用した周知を行った。対象期間目標数を達成できなかったものの、総利用者数についてはほぼ横ばいと維持することができた。	A	B	引き続き地域住民に対し、広報・周知を行い利用促進を促す。また、今後は住民ニーズに対応し、バスの小型化を図る予定となり、運行事業者等と路線の見直しの協議を行いたい。		
	林 辰男(はやしタクシー)	岩岡・南界地域～公立種子島病院の運行	利用可能な地域への配布、広報紙や町HPを活用した周知を行ったが、対象期間目標数を達成できず、総利用者数も前年度と比べ減少した。	A	B	病院受診がしやすい利用時間の設定を再検討するなどして、地域住民の利便性を最優先課題とし、また広く広報していきたい。		
	林 辰男(はやしタクシー)	三浜地区(大牟礼・伊原・下田・阿保)～市街地の運行	目標利用者数を上回ることができた。	A	A	三浜線については、毎年利用者が増えている区間となっている。引き続き、地域住民に対し、広報・周知を行い利用促進を促す。		
	(株)市丸タクシー	秋佐野・向井町・戸畑～市街地の運行	町民への時刻表の配布、広報紙や町HPを活用した周知を行った。対象期間目標数を達成できなかったものの、総利用者数については大きく増加した。	A	B	秋佐野線については、昨年度より総利用者数が伸びている。引き続き、地域住民に対し、広報・周知を行い利用促進を促す。		
	(株)市丸タクシー	女州・竹屋野～市街地の運行	利用可能な地域住民へ、広報紙や町HPを配布し周知を行った。前年度比は減少し、年間利用者目標は達成できなかった。	A	B	女州線については、数年利用がない区間はあるものの、コミュニティバスが通っていないため、廃止することは難しいと考える。広報・周知を続け、利用者の増を図り、区域を維持していきたい。		
(株)市丸タクシー	油久・南界地域～公立種子島病院の運行	利用可能な地域住民へ、広報紙や町HPを配布し周知を行った。年間利用者目標は達成できなかったものの、総利用者数は前年度と比べ増加した。	A	B	病院受診がしやすい利用時間の設定を再検討するなどして、地域住民の利便性を最優先課題とし、また広く広報していきたい。			

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月27日
九州運輸局

評価対象事業名: 路上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
始良市地域公共交通会議	(有)あいら交通	ふるさとバス蒲生・春花線(西回り)	前回は目標未達成だったが、利用促進のために、広報誌等で周知を図り、今回は目標達成できた。	A	A	今年度は目標達成できたが、引き続き利用促進のために、広報・周知を図り、更なる乗車人数の増加策に取り組む。	・評価の指標は、各路線毎の利用者数(バス)、運行収支率(タクシー)。 ・目標の一部が未達成であるものの、新型コロナウイルス感染症の影響の中であることを踏まえれば、一定の評価ができると考えます。 ・今後も、令和4年度に策定した地域公共交通計画に基づき、持続可能な旅客運送サービスが提供されることを期待します。	
		ふるさとバス蒲生・春花線(東回り)	今回は初年度となる。	A	A	今年度から、新規運行した路線で、デマンド交通との区域の棲み分けをすることで利用促進に繋がった。今後は更なる利用促進に向けた周知に取り組む。		
		永原校区予約型乗合タクシー(辺川方面)	前回は目標未達成だったが、利用促進のために、広報誌等で周知を図り、今回は目標達成できた。	A	A	今年度は目標達成できたが、引き続き利用促進のために、広報・周知を図り、更なる乗車人数の増加策に取り組む。		
	南国交通(株)	蒲生地区巡回バス(蒲生・山田・帖佐線)	前回は目標未達成だったが、利用促進のために、広報誌等で周知を図り、今回は目標達成できた。	A	A	3月に廃線になった本場線の影響で利用者増に繋がった。引き続き利用促進のために、広報・周知を図り、更なる乗車人数の増加策に取り組む。		
	鹿児島交通(株)	加治木地区循環バス	前回は目標未達成だったが、利用促進のために、広報誌等で周知を図り、今回は目標達成できた。	A	C	新型コロナウイルス感染症の影響で利用者が目標に達しなかった。利用促進のために、低床バス導入やルート見直し等を検討する。		
	第一交通(株)	新留地区予約型乗合タクシー	前回は目標未達成だったが、利用促進のために、広報誌等で周知を図り、今回は目標達成できた。	A	C	今年度は、ウィズコロナで利用者、事業者が感染対策をしながら、利用していただいた。今後は、目標達成のために広報誌等によりデマンド交通の周知を図り、利用者増に繋げていきたい。		
	第一交通(株)	大山地区予約型乗合タクシー	前回は目標未達成だったが、利用促進のために、広報誌等で周知を図り、今回は目標達成できた。	A	C	今年度は、ウィズコロナで利用者、事業者が感染対策をしながら、利用していただいた。今後は、目標達成のために広報誌等によりデマンド交通の周知を図り、利用者増に繋げていきたい。		
	第一交通㈱	久末地区高牧集落予約型乗合タクシー	前回は目標未達成だった。広報誌等により利便性の周知を図ったが今回も目標未達成だった。	A	C	目標値を達成できなかったため、今後は、利用登録者へのアンケート実施や広報誌等により乗合タクシーの利便性の周知を図り、利用者増に繋げていきたい。		
	第一交通㈱	永原校区予約型乗合タクシー(菖蒲谷■嶺方面)	前回は目標未達成だったが、利用促進のために、広報誌等で周知を図り、今回は目標達成できた。	A	A	今年度は、ウィズコロナで利用者、事業者が感染対策をしながら、利用していただき目標値を達成できた。今後も、広報誌等によりデマンド交通の周知を図り、更なる利用者増に繋げていきたい。		
	第一交通㈱	竜門校区予約型乗合タクシー(市来原■道■西浦方面)	前回は目標未達成だったが、利用促進のために、広報誌等で周知を図り、今回は目標達成できた。	A	A	今年度は、ウィズコロナで利用者、事業者が感染対策をしながら、利用していただき目標値を達成できた。今後も、広報誌等によりデマンド交通の周知を図り、更なる利用者増に繋げていきたい。		
	第一交通㈱	中野地区予約型乗合タクシー	前回は目標未達成だった。広報誌等により利便性の周知を図ったが今回も目標未達成だった。	A	C	今年度は、ウィズコロナで利用者、事業者が感染対策をしながら、利用していただいた。今後は、目標達成のために広報誌等によりデマンド交通の周知を図り、利用者増に繋げていきたい。		
	(有)安田タクシー	上名地区予約型乗合タクシー	前回は目標未達成だったが、利用促進のために、広報誌等で周知を図り、今回は目標達成できた。	A	A	今年度は、ウィズコロナで利用者、事業者が感染対策をしながら、利用していただき目標値を達成できた。今後も、広報誌等によりデマンド交通の周知を図り、更なる利用者増に繋げていきたい。		
	(有)あいら交通	北山校区(木津志方面)予約型乗合タクシー	今回は初年度となる。	A	A	運行形態の見直しで4月から新規で運行したデマンドタクシーになるが、住民説明会等を実施し、利用促進を図り、目標値を達成できた。今後は、更なるデマンド交通の周知を図り、利用者増に繋げていきたい。		
	(有)あいら交通	北山校区(木場方面)予約型乗合タクシー	今回は初年度となる。	A	A	運行形態の見直しで4月から新規で運行したデマンドタクシーになるが、住民説明会等を実施し、利用促進を図り、目標値を達成できた。今後は、更なるデマンド交通の周知を図り、利用者増に繋げていきたい。		